

令和2年度 奨学金等分科会報告書

令和3（2021）年5月

一般社団法人日本私立大学連盟
学 生 委 員 会
奨 学 金 等 分 科 会

刊行にあたって

日本私立大学連盟は、加盟大学を対象として種々の調査研究を行っているが、奨学金等に関しても、長年にわたり継続的に調査を実施している。

本書は、学生委員会に設置した奨学金等分科会が実施した「令和2年度奨学金等調査（令和元年度実績）」について、その概要と調査結果をとりまとめたものである。

言うまでもなく、私立大学は、それぞれの建学の精神に則って運営されており、学生の教育に関しても個々の理念と目的を掲げ、それらを具現するための活動を行っている。こうした教育の理念と目的に鑑み、各大学では、独自の特徴的な学内奨学金等制度を構築して、1人でも多くの学生の修学機会が確保できるよう懸命な努力を続けている。

本報告書は、このような状況下における加盟大学の学内奨学金等制度の全体像を示し、各大学での制度運用の一助となることを目的として刊行した。

本報告書が加盟各大学における学生に対する経済支援、創意工夫に溢れる戦略的支援の構築、運用に資することができれば幸いである。

令和3年5月

学 生 委 員 会
奨 学 金 等 分 科 会
担当理事 田 中 愛 治
委 員 長 千 田 憲 孝
分科会長 高 橋 豊 治

令和2年度奨学金等分科会報告書

(目 次)

刊行にあたって

I. 学生委員会奨学金等分科会の活動について	1
1. 令和2年度奨学金等調査を実施して	
2. 日本学生支援機構との懇談会について	
II. 令和2年度奨学金等調査結果の概要	5
1. 実施概要	
2. 調査結果について	
3. 記載データ	
4. データ設問	
(1) 全体集計	8
(2) グループ別集計	10
(3) 学生1人あたり支給額のグループ別比較グラフ	16
(4) 学内奨学金等支給実績推移表	17
(5) 支給人数と1人あたり平均支給額の推移	18
5. テーマ設問	22
【付録】	
調査実施要項	42
データ設問調査票	52
テーマ設問調査票	55
学生委員会委員名簿・奨学金等分科会委員名簿	56
一般社団法人日本私立大学連盟加盟大学一覧	57

○ 調査結果の電子データについて

上記「4. データ設問」、「5. テーマ設問」に関連して、私大連 web サイトの加盟大学専用ページ内の「データライブラリー」に、以下のデータを公表しています。

※「データライブラリー」を利用するにはあらかじめ利用登録が必要です。

【データ設問】

- 1) 「集計総括表（本報告書8頁の個別大学版含む）・回答調査票」【Excel 形式】
- 2) 加盟大学で令和元年度に新設された学内奨学金等制度一覧【Excel 形式】
- 3) 本報告書17頁の「学内奨学金等支給実績推移表（全体125大学）」および同推移表（グループ1～3別）【Excel 形式】
- 4) 学内奨学金等一覧（学部学生・大学院学生・受入留学生）【Excel 形式】

【テーマ設問】

- 5) 「新型コロナウイルス禍での学生への経済援助施策等に関するアンケート」

回答データ【Excel 形式】

I. 学生委員会奨学金等分科会の活動について

奨学金等分科会は、学生委員会の下部組織として設置され、奨学金等の調査の実施とその分析ならびに独立行政法人日本学生支援機構（以下、「日本学生支援機構」という）等の外部機関との協議をその主要な任務としている。令和2年度の当分科会は、加盟大学の学生支援に資するために「令和2年度奨学金等調査」を実施するとともに、国の奨学金施策の多くの部分を担う日本学生支援機構と定期的な協議を行った。

1. 令和2年度奨学金等調査を実施して

令和2年度奨学金等調査は、日本私立大学連盟の全加盟大学に対して、学内奨学金等制度の状況および「日本学生支援機構」の奨学金の受給状況を詳細に調査したものである。調査項目の詳細は【付録】の実施要項を参照されたい。

当分科会が奨学金等の調査を担当するようになって今年度で15年目となる。多くの詳細な調査項目にもかかわらずこれを終えることができたのは、関係各位のご協力の賜物であり、厚く御礼申し上げる次第である。

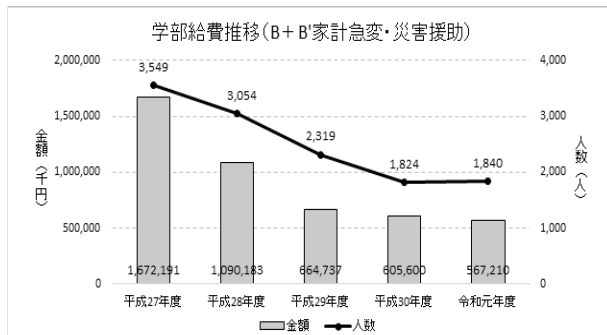
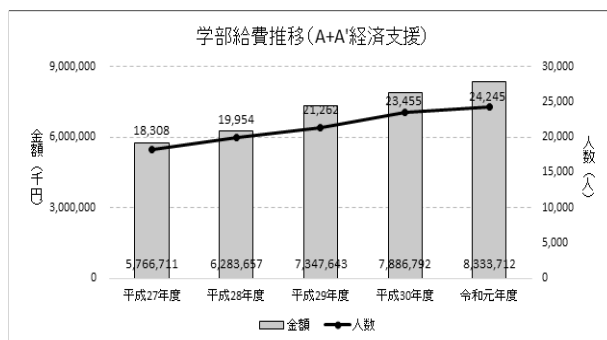
調査については、まず、前回と同様に、学部・大学院ともに、授業料等の減免制度も含む奨学金等を形態別および目的別に分類し、全体の調査結果と各グループ（グループ1：学生数1万人以上、グループ2：4千人以上1万人未満、グループ3：4千人未満の3グループ）の調査結果を前年度と対比して明示した。

調査結果から加盟大学の奨学金等について、学部学生への支給状況を中心に、特徴的な部分を取り出して概観することとする。

【学部学生「給費奨学金」（授業料等の減免制度を含む）】

「A+A' 経済支援」については、支給金額は、約83億円であり、前回（平成30年度）比約4.5億円増（約5%増）、5年前（平成27年度）との比較では約26億円増（約44%増）となっている。支給金額は学部学生「給費奨学金」全体の27%を占めており、最も高い数値となっていることから「経済支援」の充実は加盟大学における主要な政策として位置づけられていることが伺える。令和2年度より高等教育の修学支援新制度が始まったことを受け、加盟大学の経済支援制度は大きく影響を受ける可能性があるため、引き続き推移を注視していきたい。

「B+B' 家計急変・災害援助」については、支給金額は約5.7億円で、5年前と比較すると人数は約48%減、支給金額は約66%減となった。こ



これは、東日本大震災などの大規模災害の支援が一段落しつつあることによるものと推察される。一方、多くの加盟大学において新型コロナウイルス感染拡大の影響による家計急変者への支援が行われており、次年度以降のデータに影響を及ぼす可能性がある。

「C学業成績優秀」については、支給金額は約 50 億円で、前回比 9.7 億円増（約 23%増）となった。近年、支給金額は横ばい傾向が続いていたが、今回の調査では大きく増加した。

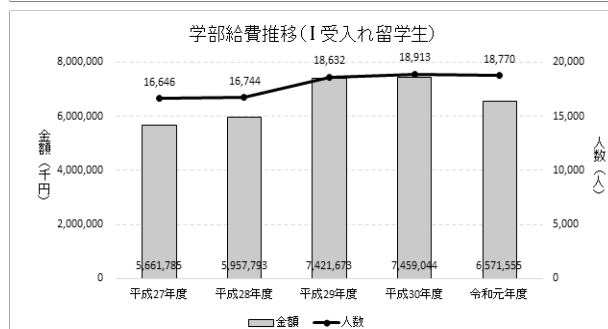
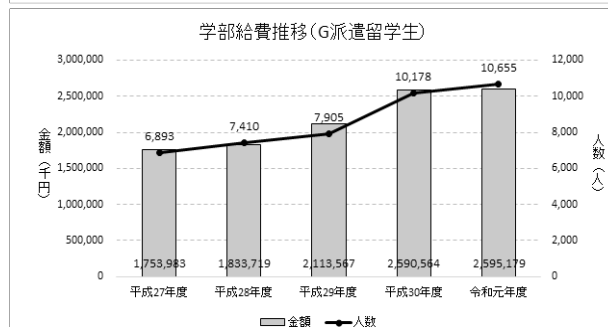
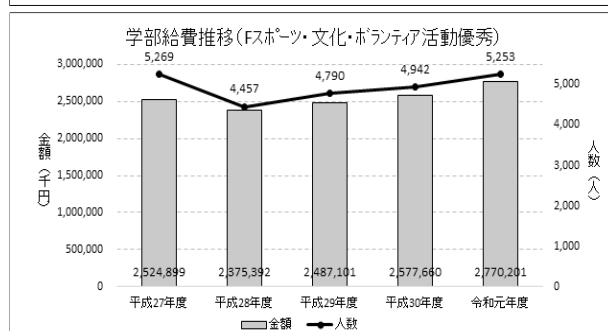
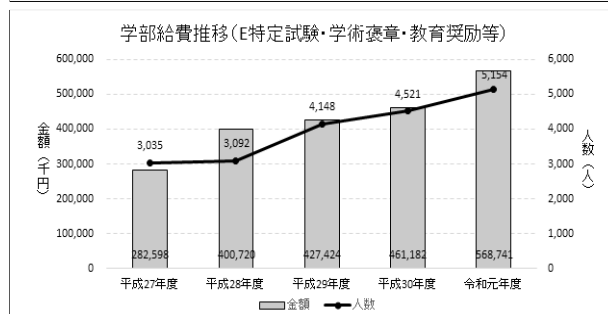
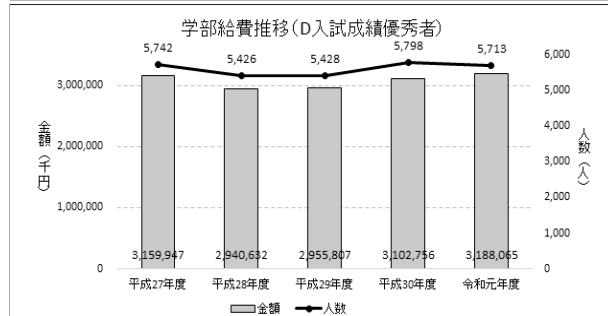
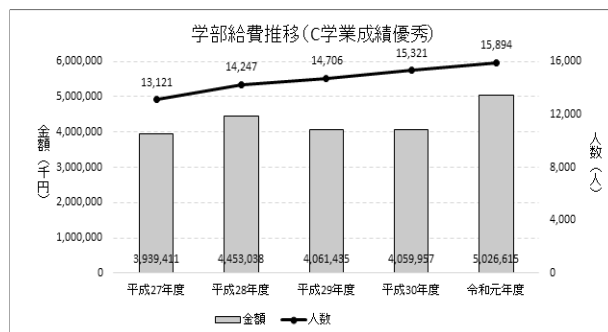
「D入試成績優秀者」については、支給金額は約 31 億円であり、5 年前と比較しても、大きな変化はない。加盟大学において、継続して成績優秀層へのインセンティブとして運用されていることが伺える。

「E特定試験・学術褒章・教育奨励等」については、支給金額は前回比約 1 億円増（約 23%増）となり大幅な増加傾向が続いているが、給費奨学金全体からみると金額はさほど大きくないため影響は限定的である。

「Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀」については、緩やかな増加傾向にあり、加盟大学の政策的要素もあり一定の支給金額規模で運用されていると伺える。

「G派遣留学生」については、支給金額は約 26 億円、人数は約 1 万人と前回と同様の数値となっている。国の施策により留学生の派遣・受入れが国際化推進の重点課題と位置づけられていることから近年は増加傾向にあったが、今回の数値で落ち着くのかどうか引き続き注視したい。

「I受入れ留学生」においては、支給金額は約 66 億円（前回比 12%減）となっており、過去 5 年間で初の減少となった。しかし、支給人数はほぼ横ばいのため、一人当たりの支給金額が少なくなったことが伺える。支給金額としては学部学生「給費奨学金」全体の 22%を占めており、「A+A' 経済支援」に次いで大きい規模となっている。



【学部学生「貸与奨学金」】

「貸与奨学金」については、貸与金額は約 13 億円（前回比 10%減）であり、引き続き減少傾向が続いているものの、前回に比べると減少幅は小さくなった。日本学生支援機構の貸与奨学金の活用と併せ、貸与型から給費型への移行は今後も続くと考えられる。

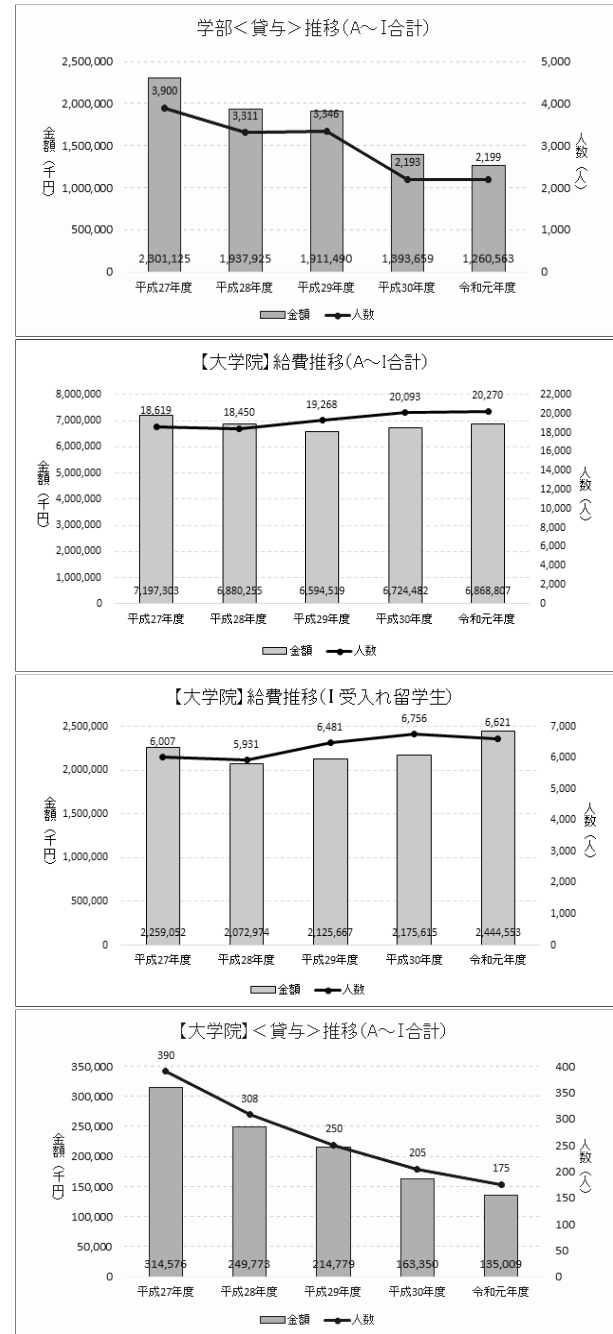
【大学院学生「給費奨学金」】

「給費奨学金」全体では支給金額・支給人数ともにほぼ横ばいとなっているが、「I 受入れ留学生」の支給金額は前回比約 2.7 億円増（約 12%増）となった。学部学生の「I 受入れ留学生」と比較すると、学生一人あたりの支給金額が学部生は前回比で 4.4 万円下がったのに対し、大学院生は 4.7 万円上がった。

【大学院学生「貸与奨学金」】

「貸与奨学金」について、貸与金額は約 1.3 億円（前回比 18%減）であり、前述の学部学生と同様に奨学金の支給方法が貸与型から給費型へ推移していることが伺える。

＜奨学金等分科会委員・分析＞



2. 日本学生支援機構との懇談会について

奨学金等分科会では日本学生支援機構との定期的な懇談会を開催しており、例年であれば年2回の実施のところであるが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から夏季の開催は見送り、令和3年1月28日（木）の1回のみZoomミーティングによるオンラインでの実施とした。感染防止のために直接会うことはできなくても、オンラインでの懇談を進めることでお互いの理解を深め、そして今後の学生支援のためにより良い制度につなげたいというねらいであった。

懇談会では、コロナ禍における給付奨学金の在り方、特に「高等教育修学支援新制度（以下「新制度」と記載する）」を中心に意見交換がなされた。奨学金等分科会からは、より良い支援を、より迅速に行う観点からの質問・提案を、学生支援機構からは運用に関する質問を中心に、質問に対する回答、意見交換を進めた。

奨学金等分科会からは審査処理迅速化、問い合わせへの対応、情報共有方法などへの要望がなされた。また特にコロナ禍への対応や、Society5.0に向けてのDXの推進についても提案と意見交換が行われた。

各大学における「新制度」への取組等に関する懇談では、新制度について、どのように運用されているかの詳細などを懇談することで制度の趣旨が十分生かされる環境にあるか、制度の修正の必要性はあるかなど、広範囲に情報交換、情報共有をすることができた。昨年度の懇談会で、今回の新制度については、これまでの給付奨学金に授業料等の減免が加わり、いわば両輪として学生を支援する新しい制度という理解が望ましい、という説明が機構から伝えられていたが、その中で、なんらかの事情により授業料減免のみを希望するケースがあったことについて、背景の情報等について、意見交換がなされた。さらに周知・募集・推薦等に係る学内スケジュールに関する懇談がなされた。

なお、これらの懇談事項の詳細については私大連のwebサイトにおいて公表しているので活用いただければ幸いである。制度の設計や運用を行う時点では想定されなかったことも生じることがあり、実際の募集や給付においては、少しでも学生のためを考えると気になることが生じることが少なくない。オンラインとはいえ、お互いの考えることを率直に交換することで、奨学金政策を担う日本学生支援機構と、実際に政策を実現する各大学の担当の間で、より良い学生支援の方向性を模索ことができるであろう。当分科会としては、今後とも機構と緊密な連携を持ち、一層充実した奨学金制度の構築に向けて、友好的な関係を維持したいと考える。

学生委員会 奨学金等分科会
分科会長 高橋豊治

Ⅱ. 令和2年度奨学金等調査結果の概要

1. 実施概要

令和2年度調査は、令和元年度調査の基本方針（加盟大学の作業負担、経年変化による分析の必要性等）を踏襲した。そのうえで、調査内容・項目について見直し作業を行い、以下のとおりデータ設問を実施した。

令和2年度奨学金等調査 実施概要

- I. 名称：令和2年度奨学金等調査
- II. 目的：加盟大学における奨学金等制度の実態、日本学生支援機構の奨学金受給状況を把握し、加盟各大学の学生経済援助施策の企画・立案に資するとともに、当連盟の各種事業活動に役立てる。
- III. 調査対象：対象大学（125大学）
- IV. 実施期間：令和2年11月6日（金）～12月11日（金）
※新型コロナウイルス感染拡大の影響から、実施時期を後ろ倒しして実施した。
- V. 回答方法：「Excelによるデータ回答」形式
- VI. 調査項目・内容
 - 1. データ設問：平成元年度実績
 - （1）学内奨学金等制度（学部学生）
 - （2）学内奨学金等制度（大学院学生）
 - （3）学内給費奨学金等制度（受入れ留学生）
 - （4）日本学生支援機構奨学金に関する調査
 - 2. テーマ設問：「新型コロナウイルス禍における学生経済援助等に関するアンケート」

2. 調査結果について

調査結果は、対象大学（125大学）の「全体集計」と、加盟大学を学部学生数別に3つのグループに分類した「グループ別集計」とに分けて掲載している。

全 体 集 計（125大学）
グループ1（学部学生数1万人以上：29大学）
グループ2（学部学生数4千人以上1万人未満：41大学）
グループ3（学部学生数4千人未満：55大学）

※学部学生数は私大連「令和元年度学生・教職員数等調査」を参照した。

グループ 1（学部学生数 1 万人以上：29 大学）

（大学名 A B C 順）

no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名
1	青山学院大学	6	福岡大学	11	関東学院大学	16	九州産業大学	21	立正大学
2	中央大学	7	法政大学	12	慶應義塾大学	17	明治大学	22	立命館大学
3	中央大学	8	上智大学	13	國學院大学	18	明治学院大学	23	龍谷大学
4	大東文化大学	9	関西大学	14	駒澤大学	19	日本大学	24	専修大学
5	同志社大学	10	関西学院大学	15	京都産業大学	20	立教大学	25	東北学院大学

グループ 2（学部学生数 4 千人以上 1 万人未満：41 大学）

（大学名 A B C 順）

no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名
1	愛知大学	8	白鷗大学	15	甲南大学	22	武蔵野大学	29	立命館アジア太平洋大学
2	亜細亜大学	9	阪南大学	16	久留米大学	23	武蔵野美術大学	30	流通経済大学
3	跡見学園女子大学	10	広島修道大学	17	共立女子大学	24	名古屋学院大学	31	成城大学
4	文教大学	11	実践女子大学	18	京都橘大学	25	南山大学	32	成蹊大学
5	獨協大学	12	城西大学	19	松山大学	26	日本女子大学	33	西南学院大学
6	同志社女子大学	13	城西国際大学	20	桃山学院大学	27	大阪学院大学	34	芝浦工業大学
7	学習院大学	14	順天堂大学	21	武蔵大学	28	追手門学院大学	35	昭和女子大学

グループ 3（学部学生数 4 千人未満：55 大学）

（大学名 A B C 順）

no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名	no	大学名
1	梅花女子大学	11	兵庫医療大学	21	国際基督教大学	31	流通科学大学	41	東北公益文科大学
2	筑紫女学院大学	12	石巻専修大学	22	京都精華大学	32	西武文理大学	42	常磐大学
3	獨協医科大学	13	金沢星稜大学	23	松山東雲女子大学	33	聖学院大学	43	東京医療保健大学
4	フェリス学院大学	14	関東学院大学	24	桃山学院教育大学	34	聖カトリック大学	44	東京情報大学
5	福岡女学院大学	15	恵泉女学院大学	25	宮城学院女子大学	35	清泉女子大学	45	東京女子医科大学
6	福岡女学院看護大学	16	敬和学院大学	26	ノートルダム清心女子大学	36	聖心女子大学	46	東京歯科大学
7	学習院女子大学	17	神戸女学院大学	27	大阪医科大学	37	仙台白百合女子大学	47	苫小牧駒澤大学
8	姫路獨協大学	18	神戸海星女子学院大学	28	大阪女学院大学	38	白百合女子大学	48	東洋英和女学院大学
9	広島女学院大学	19	皇學館大学	29	大阪薬科大学	39	園田学園女子大学	49	東洋学園大学
10	兵庫医科大学	20	国際武道大学	30	大谷大学	40	天理大学	50	豊田工業大学

※グループ構成について、令和元年度調査との変更点は以下の通り。

新規加盟校：九州産業大学（グループ 1）

退 会 校：国際大学（グループ 3）

3. 記載データ

（1）集計表（全体集計）・・・8 頁～9 頁

a. 「I. 学内奨学金支給実績総括表」

令和 2 年度学内奨学金等調査の分類別（A～I）支給実績（学部・大学院学生別）

b. 「学生 1 人あたり支給金額（全体集計）」

令和 2 年度学内奨学金等調査の分類別（学部・大学院学生別）に、
学生 1 人あたりの給費額（減免を含めた集計）・貸与額をグラフで表した。

c. 「II. 日本学生支援機構奨学金総括表」

①令和元年度新規採用実績

②令和元年度「第二種奨学金（短期留学）」新規採用実績

③奨学生総件数（令和 2 年 3 月 1 日）

（2）集計表（グループ別集計）・・・10 頁～15 頁

（3）学生 1 人あたり支給額のグループ別比較・・・16 頁

学生 1 人あたりの給費額（減免を含めた集計）・貸与額を、令和 2 年度学内奨学金等調査の分類別（学部・大学院学生別）にグラフで表し、給費・貸与ごとに、グループ間の比較ができるようまとめた。

（４）学内奨学金等支給実績推移表・・・17頁

全体集計のみ、平成27年度から令和元年度までの学内奨学金等の支給実績推移表を作成した。

グループ別は、私大連webページの加盟大学専用ページ内「データライブラリー」に掲載している。

（５）支給人数と１人あたり平均支給額の推移・・・18頁～21頁

全体集計のみ、平成27年度から令和元年度までの学内奨学金等の支給人数の推移及び学生１人あたり平均支給額の推移をグラフで表した。

【参考】学内奨学金等制度分類表

学内奨学金等制度分類表(学部学生・大学院学生)			
区分	分類	定義	補足
奨学型	A 経済支援のための奨学金等	経済的理由により修学困難な学生を対象とする奨学金等(もっぱら学費に充てることを前提としたものであるが、教育ローンにかかる利子を補助するものや入学時貸与奨学金、家賃補助等を含む)	奨学生の選考にあたり、経済的要因を学業成績に優先して選考する奨学金
	A' 経済支援のための奨学金等【うち予約採用制度の奨学金】	分類Aのうち、入学手続き前の予約採用制度を取る奨学金等	※上記「A」には含めず「A'」として回答ください。
	B 家計急変や災害援助等のための奨学金等	家計支持者の失業・死亡等による家計急変や、火災・風水害・地震などの自然災害により修学困難になった学生を対象とする奨学金等	家計急変を主たる事由として奨学生を選考する奨学金等
	B' 家計急変や災害援助等のための奨学金等【うち自然災害等の被災者への対応】	分類Bのうち、家計支持者が「自然災害等」に被災したことにより修学困難になった学生を対象とする奨学金等(校友会等や教育後援会等からの寄付金収入等を原資とする被災学生への見舞金を含む)	※東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応を含む ※上記「B」には含めず「B'」として回答ください。
育英型	C 学業成績優秀者を対象とした奨学金等	学業成績が特に優れた学生を対象とする奨学金等	奨学生の選考にあたり、学業成績を経済的要因に優先して選考する奨学金等
	D 入試成績の優秀者を対象とした奨学金等	各種入学試験の合格者の中で、特に優れた成績を修めた学生を対象とする奨学金等	奨学生の選考にあたり、入学試験成績を他の要件に優先して選考する奨学金等
	E 特定の試験・研修の受験・受講者を対象とする奨学金や、学術実習・教育研究奨励を目的とする奨学金等	大学が指定・認定する国家試験・研修等への受験者・受講者、当該試験の合格者、または大学内外において研究成果を認められた者に対して、その活動を支援するための奨学金等	特定試験の受験を条件とする奨学金、または学業面で特に優れた成果をあげ学内外で表彰等を受けたことを選考の要件とする奨学金等
	F スポーツ・文化・ボランティア活動の優秀者を対象とした奨学金等	大学内外において、スポーツ・文化・ボランティア活動等の分野で顕著な成果をあげ、または貢献をした学生を対象とする奨学金等	スポーツ・文化・ボランティア活動等において顕著な成果をあげ、または貢献したことを、選考条件とする奨学金等
	G 派遣留学生に関する奨学金等	海外の大学に交換留学生等として派遣される学生を対象とする奨学金等(当該留学において取組んだ単位が認定されるものに限る)	留学生として派遣されることを要件とする奨学金等
その他	H その他の奨学金等	上記区分の「奨学型」と「育英型」のどちらにも該当しない奨学金等	(1)一つの制度に奨学と育英両方の基準があり、その基準別に対象学生を選入し、奨学金を支給する場合は、同一の名称で奨学型の分類と育英型の分類とに分けて回答してください。 (2)1人の学生に支給する奨学金で、奨学型と育英型両方の要因が含まれる場合は、支給事由の強い方の区分からA～Gいずれかの分類を選択してください。

【注】
1. 経済支援のための奨学金等のうち、予約採用制度によるものについては、「A」には含めず「A'」として回答してください。
2. 家計急変や災害援助等のための奨学金等のうち、自然災害等の被災者への対応については、「B」には含めず「B'」として回答してください。
3. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
4. 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外してください。
(例：留年した学生に対して一律支給等するもの。当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
5. 奨学金や減免制度といった名称、支給業務の取扱部署、支給根拠規程等にかかわらず、表彰制度等による報奨金並びに商品券や図書券のように給費する金額が明確なものは奨学金として取り扱います(賞状や記念品等のように、明確な金額が確定しないものは除く)。

<受入れ留学生>

学内奨学金等制度分類表(受入れ留学生)			【別表2】
区分	分類	定義	補足
I	受入れ留学生に関する奨学金等	受入れ留学生を対象とする奨学金等(入学金免除や奨励金、家賃補助、授業料減免等を含む)	

【注】
1. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
2. 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外してください。
(例：留年した学生に対して一律支給等するもの。当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
3. 賞状や記念品などのように、明確な金額が確定しないものは除外する。商品券や図書券のように、給費する金額が明確なものは、奨学金として取り扱います。

4. 集計結果

(1) 全体集計

大学名	全体125大学
-----	---------

【学生数】令和元・平成30年5月1日現在

	令和元年		平成30年	
	学部	大学院	学部	大学院
学生総数	985,243	49,611	979,760	50,165
うち 交換留学生	915	185	1,113	150
国費留学生	65	575	66	649
私費留学生	24,873	9,721	22,147	9,422
計	25,853	10,481	23,326	10,221

I. 学内奨学金等支給実績総括表

【人数単位: 人】

【学部学生】

【金額単位: 千円】

学内奨学金制度		給費						貸与					
		令和元年度()内は減免額			平成30年度()内は減免額			令和元年度			平成30年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
奨学型	A+A' 経済支援※1	24,252 (4,557)	8,336,088 (2,013,754)	344	23,455 (4,248)	7,886,792 (1,799,275)	336	1,144	680,680	595	1,186	810,569	683
	A'うち予約採用制度の奨学金	2,703 (875)	1,240,308 (365,807)	459	2,368 (810)	1,110,766 (364,603)	469	0	0	0	0	0	0
	B+B' 家計急変・災害援助 ※2	1,840 (339)	567,210 (137,626)	308	1,824 (355)	605,600 (191,832)	332	17	12,453	733	37	22,865	618
	B'うち自然災害被害者等の被害への対応	877 (213)	165,499 (86,975)	189	903 (187)	160,854 (83,525)	178	0	0	0	0	0	0
育英型	C学業成績優秀	15,913 (1,875)	5,032,415 (762,469)	316	15,321 (2,191)	4,059,957 (783,197)	265	49	61,750	1,260	36	55,875	1,552
	D入試成績優秀者	5,741 (3,985)	3,200,755 (2,197,733)	558	5,798 (4,066)	3,102,756 (2,172,634)	535	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術奨章・教育奨励	5,150 (816)	565,549 (152,993)	110	4,521 (560)	461,182 (99,992)	102	126	21,700	172	82	23,740	290
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	5,245 (2,893)	2,771,656 (1,906,941)	528	4,942 (2,547)	2,577,660 (1,708,650)	522	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	10,655 (1,354)	2,595,179 (649,005)	244	10,178 (1,270)	2,590,564 (691,415)	255	15	7,200	480	28	15,450	552
	Hその他	5,407 (1,175)	797,295 (276,172)	147	5,237 (1,075)	839,354 (267,203)	160	848	476,780	562	824	465,160	565
	A～Hの小計	74,203 (16,994)	23,866,147 (8,096,693)	322	71,276 (16,312)	22,123,865 (7,714,198)	310	2,199	1,260,563	573	2,193	1,393,659	636
	I受入留学生	18,770 (14,658)	6,571,555 (5,160,197)	350	18,913 (15,694)	7,459,044 (6,310,746)	394						
	A～Iの合計	92,973 (31,652)	30,437,702 (13,256,890)	327	90,189 (32,006)	29,582,909 (14,024,944)	328	2,199	1,260,563	573	2,193	1,393,659	636

※1・・・学内奨学金等制度分類表のAとA'の合計回答数を記載しています。 ※2・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

【大学院学生】

学内奨学金制度		給費						貸与					
		令和元年度()内は減免額			平成30年度()内は減免額			令和元年度			平成30年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
奨学型	A+A' 経済支援※1	1,144 (173)	422,337 (53,495)	369	1,176 (208)	456,033 (96,056)	388	157	126,839	808	191	158,120	828
	A'うち予約採用制度の奨学金	24 (24)	6,217 (6,217)	259	18 (18)	6,032 (6,032)	335	0	0	0	0	0	0
	B+B' 家計急変・災害援助 ※2	32 (12)	10,633 (5,823)	332	40 (3)	9,379 (549)	234	0	0	0	1	370	370
	B'うち自然災害被害者等の被害への対応	20 (10)	6,567 (5,035)	328	22 (1)	4,361 (255)	198	0	0	0	0	0	0
	C学業成績優秀	5,961 (411)	2,190,974 (243,448)	368	5,415 (400)	2,109,110 (242,426)	389	1	390	390	1	390	390
育英型	D入試成績優秀者	1,750 (231)	951,157 (197,382)	544	1,852 (158)	926,149 (107,824)	500	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術奨章・教育奨励	1,369 (0)	202,370 (0)	148	1,692 (0)	397,226 (0)	235	5	2,100	420	3	1,050	350
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	12 (0)	2,044 (0)	170	14 (0)	3,064 (0)	219	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	174 (2)	36,897 (804)	212	252 (11)	41,504 (2,975)	165	1	400	400	0	0	0
	Hその他	3,207 (741)	607,842 (346,649)	190	2,896 (731)	606,402 (357,127)	209	11	5,280	480	9	3,420	380
A～Hの小計		13,649 (1,570)	4,424,254 (847,601)	324	13,337 (1,511)	4,548,867 (806,957)	341	175	135,009	771	205	163,350	797
I受入留学生		6,621 (4,610)	2,444,553 (1,684,114)	369	6,756 (5,021)	2,175,615 (1,410,321)	322						
A～Iの合計		20,270 (6,180)	6,868,807 (2,531,715)	339	20,093 (6,532)	6,724,482 (2,217,278)	335	175	135,009	771	205	163,350	797

※1・・・学内奨学金等制度分類表のAとA'の合計回答数を記載しています。 ※2・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

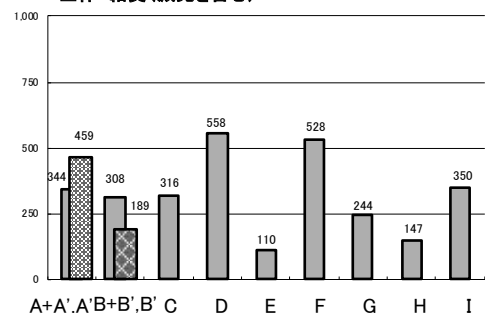
■凡例（学部学生、大学院学生共通）

A 経済支援	C 学業成績優秀	F スポーツ・文化・ボランティア活動優秀
A' 予約採用制度の奨学金	D 入試成績優秀者	G 派遣留学生
B 家計急変・災害援助	E 特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励	H その他
B' 自然災害被害者等の被害への対応		I 受入留学生

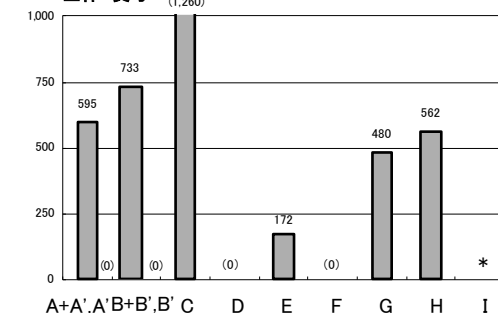
（令和元年度 学部学生1人あたり支給金額）

*印は集計の対象外

（千円）全体 給費（減免を含む）



（千円）全体 貸与



○給費型では、F「スポーツ・文化・ボランティア活動優秀」、D「入試成績優秀者」、A'「経済支援（のうち予約採用制度の奨学金）」の順で1人あたり支給金額が高い。一方で、E「特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励」、H「その他」の1人あたり支給金額は貸与と比較して少ない傾向が見られる。

○A+A'「経済支援」についてはA'「経済支援（のうち予約採用制度の奨学金）」のほうが、1人あたり支給金額が約3割高いことがわかる。

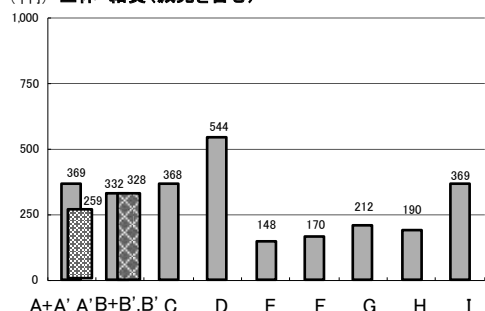
○B'「自然災害被害者等への対応」は貸与型の実績がなく、給費型のみ実績がある。

○貸与型では、C「学業成績優秀」の1人あたり支給金額が、給費型と比較して約4倍と高い。

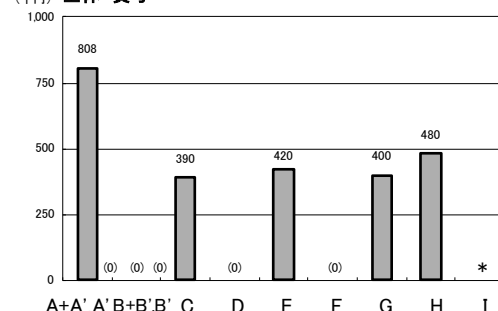
（令和元年度 大学院学生1人あたり支給金額）

*印は集計の対象外

（千円）全体 給費（減免を含む）



（千円）全体 貸与



○給費型では、大学院学生1人あたり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多く、次いでA+A'「経済支援」、I「受入留学生」の順に多い。

○大学院の貸与型では、A+A'「経済支援」が最も多く、1人あたり支給金額は給費型の約2倍の80.8万円である。次いでH「その他」が11件、C（1件）、E（5件）、G（1件）という実績結果である。

※年度による推移は、18頁を参照ください。

II. 日本学生支援機構奨学金給付表

①新規採用実績

制度	採用の種類	新規採用件数	
		令和元年度	平成30年度
第一種	定期(予約採用)	28,739	28,211
	定期(在学採用)	7,616	8,949
	定期外(緊急採用)	120	147
	第一種計	36,475	37,307
第二種	うち、所得減額減免方式	5,867	5,961
	定期(予約採用)	34,018	32,873
	定期(在学採用)	14,697	15,898
	定期外(緊急採用)	397	136
	第二種計	49,112	48,907
	総件数	85,587	86,214
(入学時特別増額)		4,747	4,703

制度	採用の種類	新規採用件数	
		令和元年度	平成30年度
第一種	定期	3,846	4,100
	定期外(緊急採用)	7	4
第一種計		3,853	4,104
第二種	定期(予約採用)	535	533
	定期外(応急採用)	2	7
第二種計		537	540
総件数		4,390	4,644
(入学時特別増額)		29	37

②「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

	令和元年度		平成30年度	
	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)
総件数	25	1	26	2

③令和元年度「給付型奨学金」新規採用実績

令和元年度(学部のみ)
総件数
3902

④奨学生総件数(新規及び継続合計)

	令和元年度		平成30年度	
制度	学部	大学院	学部	大学院
第一種	127,279	8,210	121,874	8,681
第二種	181,723	1,227	187,048	1,152
給付型	8,114	0	4,419	0
計	317,116	9,437	313,341	9,833

(2) グループ別集計

大学名	グループ1(学生数1万人以上29大学)
-----	---------------------

【学生数】令和元・平成30年5月1日現在

		令和元年		平成30年	
		学部	大学院	学部	大学院
学生総数		625,459	39,233	620,532	39,298
うち 留 学 生	交換留学生	270	144	273	101
	国費留学生	56	507	52	579
	私費留学生	14,741	7,651	12,948	7,107
	計	15,067	8,302	13,273	7,787

I. 学内奨学金等支給実績総括表

【人数単位:人】

【学部学生】

【金額単位:千円】

学内奨学金制度			給費						貸与					
			令和元年度()内は減免額			平成30年度()内は減免額			令和元年度			平成30年度		
			人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
奨学 型	A+A' 経済支援※1	17,664 (1,946)	6,174,430 (1,011,685)	350	16,898 (1,502)	5,740,057 (746,897)	340	350	224,170	640	426	271,955	638	
	A'うち予約採用制度の奨学金	1,724 (292)	838,859 (122,044)	487	1,548 (253)	754,232 (116,455)	487	0	0	0	0	0	0	
	B+B' 家計急変・災害援助 ※2	1,392 (161)	402,073 (61,751)	289	1,300 (91)	421,739 (89,358)	324	14	11,428	816	19	10,450	550	
	B'うち自然災害被害者等の被害への対応	766 (125)	118,212 (49,942)	154	717 (47)	93,077 (29,122)	130	0	0	0	0	0	0	
学部 学生	育英 型	C学業成績優秀	9,306 (300)	3,284,661 (149,805)	353	8,495 (332)	2,280,596 (155,131)	268	0	0	0	0	0	0
		D入試成績優秀者	1,363 (512)	1,011,982 (477,877)	742	1,285 (440)	885,359 (417,842)	689	0	0	0	0	0	0
		E特定試験・特定研修・学術奨章・教育奨励	1,491 (42)	275,632 (15,626)	185	1,253 (38)	236,862 (14,462)	189	0	0	0	0	0	0
		Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	2,343 (980)	1,345,572 (812,744)	574	2,162 (825)	1,219,850 (717,579)	564	0	0	0	0	0	0
		G派遣留学生	6,371 (651)	1,695,639 (417,324)	266	6,218 (670)	1,701,863 (442,223)	274	0	0	0	0	0	0
		Hその他	3,478 (64)	399,258 (34,867)	115	3,072 (61)	357,066 (34,555)	116	263	163,880	623	253	148,440	587
		A～Hの小計	43,408 (4,656)	14,589,247 (2,981,679)	336	40,683 (3,959)	12,843,392 (2,618,047)	316	627	399,478	637	698	430,845	617
その他	I受入留学生	9,092 (6,611)	2,847,647 (1,995,708)	313	9,458 (7,731)	3,659,686 (3,016,307)	387							
	A～Iの合計	52,500 (11,267)	17,436,894 (4,977,387)	332	50,141 (11,690)	16,503,078 (5,634,354)	329	627	399,478	637	698	430,845	617	

※1・・・学内奨学金等制度分類表のAとA'の合計回答数を記載しています。 ※2・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

【大学院学生】

学内奨学金制度		給費						貸与					
		令和元年度()内は減免額			平成30年度()内は減免額			令和元年度			平成30年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
奨学型	A+A' 経済支援※1	787 (98)	313,105 (28,256)	398	737 (63)	295,921 (20,247)	402	26	12,307	473	37	15,565	421
	A'うち予約採用制度の奨学金	24 (24)	6,217 (6,217)	259	18 (18)	6,032 (6,032)	335	0	0	0	0	0	0
	B+B' 家計急変・災害援助 ※2	30 (11)	10,368 (5,818)	346	35 (1)	8,031 (141)	229	0	0	0	1	370	370
	B'うち自然災害被害者等の被害への対応	18 (9)	6,302 (5,030)	350	20 (0)	3,718 (0)	186	0	0	0	0	0	0
大学院学生 育英型	C学業成績優秀	5,205 (310)	2,014,319 (219,205)	387	4,668 (316)	1,879,842 (222,453)	403	1	390	390	1	390	390
	D入試成績優秀者	1,544 (144)	870,980 (161,436)	564	1,635 (75)	831,529 (71,884)	509	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術奨章・教育奨励	790 (0)	169,085 (0)	214	1,107 (0)	241,236 (0)	218	4	900	225	2	450	225
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	6 (0)	794 (0)	132	3 (0)	430 (0)	143	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	81 (1)	23,613 (562)	292	96 (3)	22,030 (278)	229	0	0	0	0	0	0
	Hその他	2,699 (589)	510,249 (318,549)	189	2,412 (580)	509,829 (328,089)	211	0	0	0	0	0	0
	A～Hの小計	11,142 (1,153)	3,912,513 (733,826)	351	10,693 (1,038)	3,788,848 (643,092)	354	31	13,597	439	41	16,775	409
その他	I受入留学生	4,796 (3,243)	1,779,231 (1,219,913)	371	4,939 (3,659)	1,527,909 (977,109)	309						
	A～Iの合計	15,938 (4,396)	5,691,744 (1,953,739)	357	15,632 (4,697)	5,316,757 (1,620,201)	340	31	13,597	439	41	16,775	409

※1・・・学内奨学金等制度分類表のAとA'の合計回答数を記載しています。 ※2・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

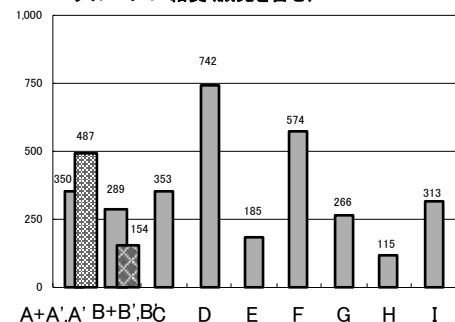
■凡例（学部学生、大学院学生共通）

A 経済支援	C 学業成績優秀	F スポーツ・文化・ボランティア活動優秀
A' 予約採用制度の奨学金	D 入試成績優秀者	G 派遣留学生
B 家計急変・災害援助	E 特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励	H その他
B' 自然災害被害者等の被害への対応		I 受入留学生

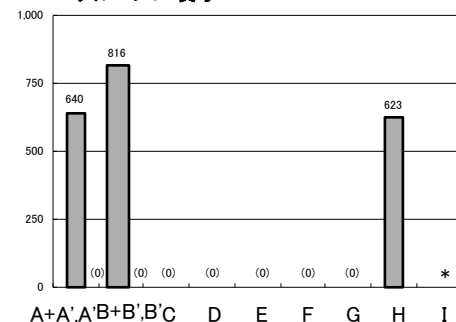
（令和元年度 学部学生1人あたり支給金額）

*印は集計の対象外

（千円） グループ1 給費（減免を含む）



（千円） グループ1 貸与



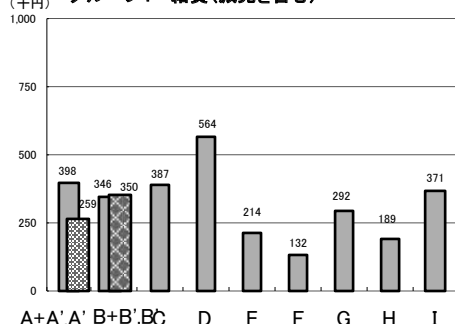
○給費型では、1人あたり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多い。また、他グループと比較するとグループ2、グループ3が50万円前後であるのに対し、約74.2万円と支給額が多い。

○貸与型では、1人あたり支給金額はB+B'「家計急変・災害援助」が最も多い。またC「学業成績優秀」からG「派遣留学生」の支給実績はなかった。

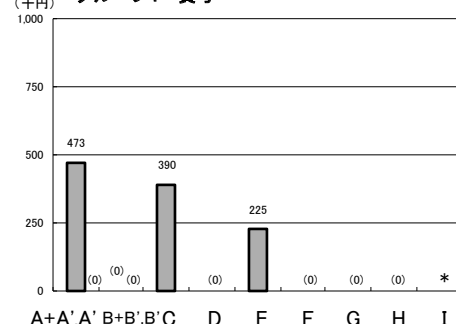
（令和元年度 大学院学生1人あたり支給金額）

*印は集計の対象外

（千円） グループ1 給費（減免を含む）



（千円） グループ1 貸与



○給費型では、大学院学生1人あたり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多く、次いでA+A'「経済支援」、C「学業成績優秀」が多い。

○貸与型ではA+A'「経済支援」がそのほとんどを占めである。C、Eも実績があるが、数件のみである。

II. 日本学生支援機構奨学金総括表

①新規採用実績

制度	採用の種類	新規採用件数	
		令和元年度	平成30年度
第一種	定期(予約採用)	16,166	15,780
	定期(在学採用)	4,810	5,541
	定期外(緊急採用)	92	103
	第一種計	21,068	21,424
	うち、所得減額減免方式	4,100	3,758
第二種	定期(予約採用)	19,013	17,906
	定期(在学採用)	8,866	9,455
	定期外(応急採用)	379	76
	第二種計	28,258	27,437
	総件数	49,326	48,861
	(入学時特別増額)	2,537	2,356

制度	採用の種類	新規採用件数	
		令和元年度	平成30年度
第一種	定期	3,341	3,546
	定期外(緊急採用)	7	4
	第一種計	3,348	3,550
第二種	定期(予約採用)	422	425
	定期外(応急採用)	2	5
	第二種計	424	430
	総件数	3,772	3,980
	(入学時特別増額)	24	29

②「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

	令和元年度		平成30年度	
	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)
総件数	14	1	14	2

③令和元年度「給付型奨学金」新規採用実績

	令和元年度(学部のみ)
総件数	2158

④奨学生総件数(新規及び継続合計)

	令和元年度		平成30年度	
制度	学部	大学院	学部	大学院
第一種	75,385	7,131	72,789	7,490
第二種	104,952	1,010	108,489	916
給付型	4,778	0	2,680	0
計	185,115	8,141	183,958	8,406

大学名	グループ2(学生数4千人～1万人未満41大学)
-----	-------------------------

【学生数】令和元・平成30年5月1日現在

	令和元年		平成30年	
	学部	大学院	学部	大学院
学生総数	264,580	7,602	265,717	7,768
うち 交換留学生	437	36	660	42
国費留学生	6	50	13	45
私費留学生	7,225	1,758	6,763	1,717
計	7,668	1,844	7,436	1,804

I. 学内奨学金等支給実績総括表

【学部学生】

【人数単位:人】

【金額単位:千円】

学内奨学金制度		給費						貸与					
		令和元年度()内は減免額			平成30年度()内は減免額			令和元年度			平成30年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
学部学生	A+A' 経済支援※1	4,790 (1,968)	1,578,799 (796,191)	330	4,790 (2,036)	1,579,030 (828,968)	330	118	77,749	659	167	105,445	631
	A'うち予約採用制度の奨学金	444 (432)	211,131 (197,519)	476	460 (448)	228,337 (216,303)	496	0	0	0	0	0	0
	B+B' 家計急変・災害援助 ※2	309 (106)	108,539 (45,683)	351	369 (163)	111,940 (54,295)	303	0	0	0	5	2,280	456
	B'うち自然災害被害者等の被害への対応	67 (61)	27,528 (25,948)	411	132 (98)	38,763 (32,677)	294	0	0	0	0	0	0
	C学業成績優秀	4,241 (709)	1,028,003 (313,078)	242	4,292 (910)	1,051,611 (353,319)	245	0	0	0	0	0	0
	D入試成績優秀者	2,553 (2,068)	1,273,368 (1,040,951)	499	2,650 (2,245)	1,327,091 (1,120,109)	501	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術表彰・教育奨励	3,238 (680)	137,768 (32,507)	43	2,879 (471)	119,739 (25,730)	42	116	1,700	15	74	7,740	105
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	1,628 (959)	863,753 (610,613)	531	1,600 (949)	843,106 (594,841)	527	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	3,493 (459)	655,885 (143,234)	188	3,083 (264)	600,231 (97,200)	195	10	5,700	570	21	12,800	610
	Hその他	615 (265)	160,129 (87,988)	260	653 (260)	177,883 (84,151)	272	183	109,700	599	167	95,000	569
	A～Hの小計	20,867 (7,214)	5,806,244 (3,070,245)	278	20,316 (7,298)	5,810,631 (3,158,613)	286	427	194,849	456	434	223,265	514
	I受入留学生	7,284 (5,950)	3,042,561 (2,564,373)	418	7,320 (6,277)	3,103,512 (2,731,229)	424						
	A～Iの合計	28,151 (13,180)	8,848,805 (5,637,279)	314	27,636 (13,575)	8,914,143 (5,889,842)	323	427	194,849	456	434	223,265	514

※1・・・学内奨学金等制度分類表のAとA'の合計回答数を記載しています。 ※2・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

【大学院学生】

学内奨学金制度		給費						貸与					
		令和元年度()内は減免額			平成30年度()内は減免額			令和元年度			平成30年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
大学院学生	A+A' 経済支援※1	192 (6)	50,755 (1,253)	264	193 (7)	48,718 (1,353)	252	67	70,140	1,047	105	107,243	1,021
	A'うち予約採用制度の奨学金	0 (0)	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0
	B+B' 家計急変・災害援助 ※2	2 (1)	265 (5)	133	3 (2)	796 (408)	265	0	0	0	0	0	0
	B'うち自然災害被害者等の被害への対応	2 (1)	265 (5)	133	2 (1)	643 (255)	322	0	0	0	0	0	0
	C学業成績優秀	583 (76)	109,798 (18,783)	188	595 (64)	170,295 (14,093)	286	0	0	0	0	0	0
	D入試成績優秀者	181 (70)	72,672 (29,991)	402	198 (83)	88,320 (35,940)	446	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術表彰・教育奨励	553 (0)	26,585 (0)	48	562 (0)	149,890 (0)	267	1	1,200	1,200	1	600	600
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	4 (0)	650 (0)	163	6 (0)	1,070 (0)	178	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	48 (0)	5,598 (0)	117	96 (0)	6,326 (0)	66	0	0	0	0	0	0
	Hその他	390 (110)	61,627 (14,602)	158	393 (108)	67,277 (18,427)	171	0	0	0	5	1,500	300
	A～Hの小計	1,953 (263)	327,950 (64,634)	168	2,046 (264)	532,692 (70,221)	260	68	71,340	1,049	111	109,343	985
	I受入留学生	1,628 (1,232)	570,201 (423,953)	350	1,663 (1,261)	577,570 (405,504)	347						
	A～Iの合計	3,581 (1,495)	898,151 (488,587)	251	3,709 (1,525)	1,110,262 (475,725)	299	68	71,340	1,049	111	109,343	985

※1・・・学内奨学金等制度分類表のAとA'の合計回答数を記載しています。 ※2・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

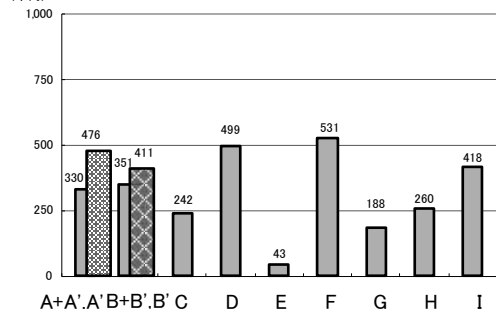
■凡例（学部学生、大学院学生共通）

A 経済支援	C 学業成績優秀	F スポーツ・文化・ボランティア活動優秀
A' 予約採用制度の奨学金	D 入試成績優秀者	G 派遣留学生
B 家計急変・災害援助	E 特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励	H その他
B' 自然災害被害者等の被害への対応		I 受入留学生

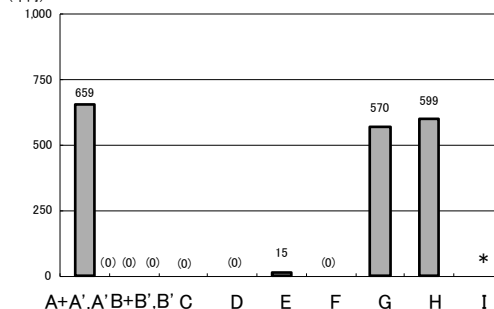
（令和元年度 学部学生1人あたり支給金額）

*印は集計の対象外

グループ2 給費(減免を含む)



グループ2 貸与

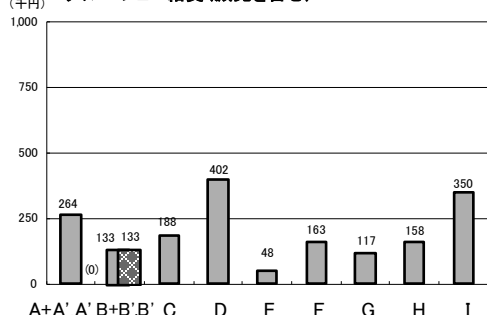


○給費型では、1人あたり支給金額はF「スポーツ・文化・ボランティア活動優秀」が最も多く、次いでD「入試成績優秀者」、A'「経済支援（のうち予約採用制度の奨学金）」と続くが、いずれも50万円前後であることが特徴的である。
○貸与型では、1人あたり支給金額はA+A'「経済支援」が最も多く、次いでH、Gと続く。

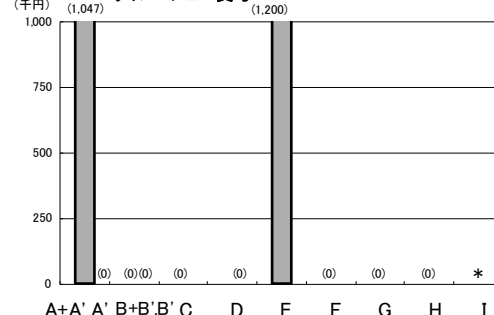
（令和元年度 大学院学生1人あたり支給金額）

*印は集計の対象外

グループ2 給費(減免を含む)



グループ2 貸与



○給費型では、大学院学生1人あたり支給金額はD「入試成績優秀者」が40.2万円と最も多い。次いでI「受入留学生」が35万円、A+A'「経済支援」が26.4万円と続く。
○グループ2においても、貸与型はそのほとんどがA+A'「経済支援」であるが、その1人あたり支給金額は約104.7万円と、他グループよりも突出している。（E「特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励」は1件のみ）

II. 日本学生支援機構奨学金総括表

①新規採用実績

学 部	採用の種類	新規採用件数	
		令和元年度	平成30年度
第一種	定期(予約採用)	9,019	9,107
	定期(在学採用)	2,081	2,501
	定期外(緊急採用)	24	35
	第一種計	11,124	11,643
第二種	うち、所得減額返還方式	1,301	1,615
	定期(予約採用)	10,464	10,592
	定期(在学採用)	4,269	4,672
	定期外(応急採用)	12	27
第二種計		14,745	15,291
総件数		25,869	26,934
(入学時特別増額)		1,509	1,585

大 学 院	採用の種類	新規採用件数	
		令和元年度	平成30年度
第一種	定期	424	456
	定期外(緊急採用)	0	0
	第一種計	424	456
第二種	定期(予約採用)	90	80
	定期外(応急採用)	0	2
	第二種計	90	82
総件数		514	538
(入学時特別増額)		4	7

②「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

	令和元年度		平成30年度	
	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)
総件数	6	0	5	0

③令和元年度「給付型奨学金」新規採用実績

令和元年度(学部のみ)
総件数 1275

④奨学生総件数(新規及び継続合計)

	令和元年度		平成30年度	
制度	学部	大学院	学部	大学院
第一種	37,892	900	36,333	982
第二種	55,111	171	57,641	184
給付型	2,423	0	1,306	0
計	95,426	1,071	95,280	1,166

大学名	グループ3(学生数4千人未満55大学)
-----	---------------------

【学生数】令和元・平成30年5月1日現在

	令和元年		平成30年	
	学部	大学院	学部	大学院
学生総数	95,204	2,776	93,511	3,099
うち交換留学生	208	5	180	7
うち国費留学生	3	18	1	25
うち私費留学生	2,907	312	2,436	598
計	3,118	335	2,617	630

I. 学内奨学金等支給実績総括表

【学部学生】

【人数単位:人】

【金額単位:千円】

学内奨学金制度		給費						貸与					
		令和元年度()内は減免額			平成30年度()内は減免額			令和元年度			平成30年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
学部学生	A+A' 経済支援※1	1,798 (643)	582,859 (205,878)	324	1,767 (710)	567,705 (223,410)	321	676	378,761	560	593	433,169	730
	A'うち予約採用制度の奨学金	535 (151)	190,318 (46,244)	356	360 (109)	128,197 (31,845)	356	0	0	0	0	0	0
	B+B' 家計急変・災害援助 ※2	139 (72)	56,598 (30,192)	407	155 (101)	71,921 (48,179)	464	3	1,025	342	13	10,135	780
	B'うち自然災害被害者等の被害への対応	44 (27)	19,759 (11,085)	449	54 (42)	29,014 (21,726)	537	0	0	0	0	0	0
	C学業成績優秀	2,366 (866)	719,751 (299,586)	304	2,534 (949)	727,750 (274,747)	287	49	61,750	1,260	36	55,875	1,552
	D入試成績優秀者	1,825 (1,405)	915,405 (678,905)	502	1,863 (1,381)	890,306 (634,683)	478	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術奨励・教育奨励	421 (94)	152,149 (104,860)	361	389 (51)	104,581 (59,800)	269	10	20,000	2,000	8	16,000	2,000
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	1,274 (954)	562,331 (483,584)	441	1,180 (773)	514,704 (396,230)	436	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	791 (244)	243,655 (88,447)	308	877 (336)	288,470 (151,992)	329	5	1,500	300	7	2,650	379
	Hその他	1,314 (846)	237,908 (153,317)	181	1,512 (754)	304,405 (148,497)	201	402	203,200	505	404	221,720	549
	A～Hの小計	9,928 (5,124)	3,470,656 (2,044,769)	350	10,277 (5,055)	3,469,842 (1,937,538)	338	1,145	666,236	582	1,061	739,549	697
	I受入留学生	2,394 (2,097)	681,347 (600,116)	285	2,135 (1,686)	695,846 (563,210)	326			0			
	A～Iの合計	12,322 (7,221)	4,152,003 (2,644,885)	337	12,412 (6,741)	4,165,688 (2,500,748)	336	1,145	666,236	582	1,061	739,549	697

※1・・・学内奨学金等制度分類表のAとA'の合計回答数を記載しています。 ※2・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

【大学院学生】

学内奨学金制度		給費						貸与					
		令和元年度()内は減免額			平成30年度()内は減免額			令和元年度			平成30年度		
		人数	給費額	1人あたり給費額	人数	給費額	1人あたり給費額	人数	貸与額	1人あたり貸与額	人数	貸与額	1人あたり貸与額
大学院学生	A+A' 経済支援※1	165 (69)	58,477 (23,986)	354	246 (138)	111,394 (74,456)	453	64	44,392	694	49	35,312	721
	A'うち予約採用制度の奨学金	0 (0)	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0
	B+B' 家計急変・災害援助 ※2	0 (0)	0 (0)	0	2 (0)	552 (0)	276	0	0	0	0	0	0
	B'うち自然災害被害者等の被害への対応	0 (0)	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0
	C学業成績優秀	173 (25)	66,857 (5,460)	386	152 (20)	58,973 (5,880)	388	0	0	0	0	0	0
	D入試成績優秀者	25 (17)	7,505 (5,955)	300	19 (0)	6,300 (0)	332	0	0	0	0	0	0
	E特定試験・特定研修・学術奨励・教育奨励	26 (0)	6,700 (0)	258	23 (0)	6,100 (0)	265	0	0	0	0	0	0
	Fスポーツ・文化・ボランティア活動優秀	2 (0)	600 (0)	300	5 (0)	1,564 (0)	313	0	0	0	0	0	0
	G派遣留学生	45 (1)	7,686 (242)	171	60 (8)	13,148 (2,697)	219	1	400	400	0	0	0
	Hその他	118 (42)	35,966 (13,498)	305	91 (43)	29,296 (10,611)	322	11	5,280	480	4	1,920	480
	A～Hの小計	554 (154)	183,791 (49,141)	332	598 (209)	227,327 (93,644)	380	76	50,072	659	53	37,232	702
	I受入留学生	197 (135)	95,121 (40,248)	483	154 (101)	70,136 (27,708)	455			0			
	A～Iの合計	751 (289)	278,912 (89,389)	371	752 (310)	297,463 (121,352)	396	76	50,072	659	53	37,232	702

※1・・・学内奨学金等制度分類表のAとA'の合計回答数を記載しています。 ※2・・・学内奨学金等制度分類表のBとB'の合計回答数を記載しています。

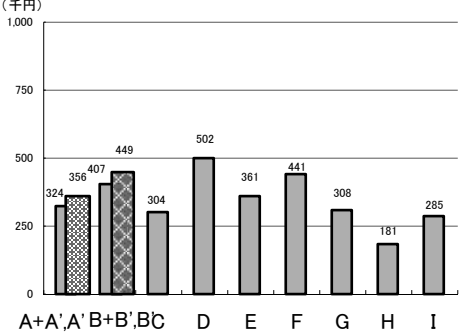
■凡例（学部学生、大学院学生共通）

A 経済支援	C 学業成績優秀	F スポーツ・文化・ボランティア活動優秀
A' 予約採用制度の奨学金	D 入試成績優秀者	G 派遣留学生
B 家計急変・災害援助	E 特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励	H その他
B' 自然災害被害者等の被害への対応	I 受入留学生	

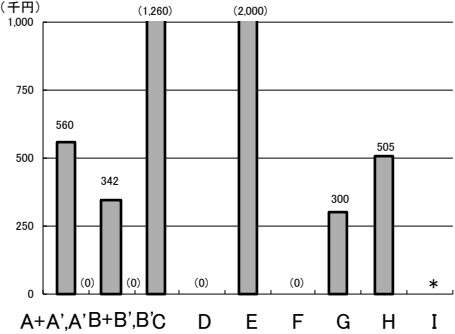
（令和元年度 学部学生1人あたり支給金額）

*印は集計の対象外

グループ3 給費（減免を含む）



グループ3 貸与

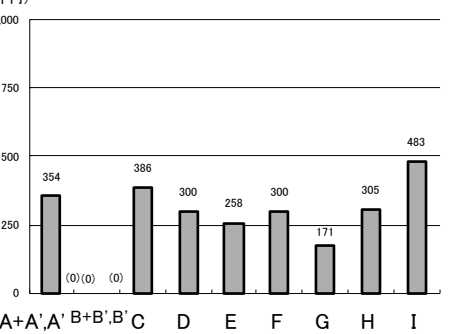


○給費型では、1人あたり支給金額はD「入試成績優秀者」が最も多く、次いでB'「自然災害被害者等への対応」、F「スポーツ・文化・ボランティア活動優秀」と続く。
○貸与型では、E「特定試験・特定研修・学術褒章・教育奨励」で1人あたり支給金額が200万円と目立つが、支給実績は10名のみである。支給対象人数の大半はA+A'「経済支援」（676名）であった。

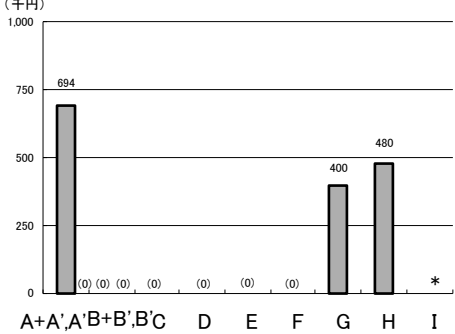
（令和元年度 大学院学生1人あたり支給金額）

*印は集計の対象外

グループ3 給費（減免を含む）



グループ3 貸与



○給費型では、大学院学生1人あたり支給金額はI「受入留学生」が最も多く、次いでC「学業成績優秀」が多い。
○グループ3においても、貸与型はA+A'「経済支援」がほとんどを占める。G「派遣留学生」H「その他」も支給実績があるが支給実績がG（1名）H（11名）のみである。

II. 日本学生支援機構奨学金総括表

①新規採用実績

制度	採用の種類	学部	
		新規採用件数	
		令和元年度	平成30年度
第一種	定期（予約採用）	3,554	3,324
	定期（在学採用）	725	907
	定期外（緊急採用）	4	9
	第一種計	4,283	4,240
	うち、所得連動減額方式	466	588
第二種	定期（予約採用）	4,541	4,375
	定期（在学採用）	1,562	1,771
	定期外（緊急採用）	6	33
	第二種計	6,109	6,179
	総件数	10,392	10,419
	（入学時特別増額）	701	762

制度	採用の種類	大学院	
		新規採用件数	
		令和元年度	平成30年度
第一種	定期	81	98
	定期外（緊急採用）	0	0
	第一種計	81	98
第二種	定期（予約採用）	23	28
	定期外（緊急採用）	0	0
	第二種計	23	28
	総件数	104	126
	（入学時特別増額）	1	1

②「第二種奨学金（短期留学）」新規採用実績

	令和元年度		平成30年度	
	学部		大学院	
	(新規採用件数)	(新規採用件数)	(新規採用件数)	(新規採用件数)
総件数	5	0	7	0

③令和元年度「給付型奨学金」新規採用実績

令和元年度（学部のみ）
総件数 469

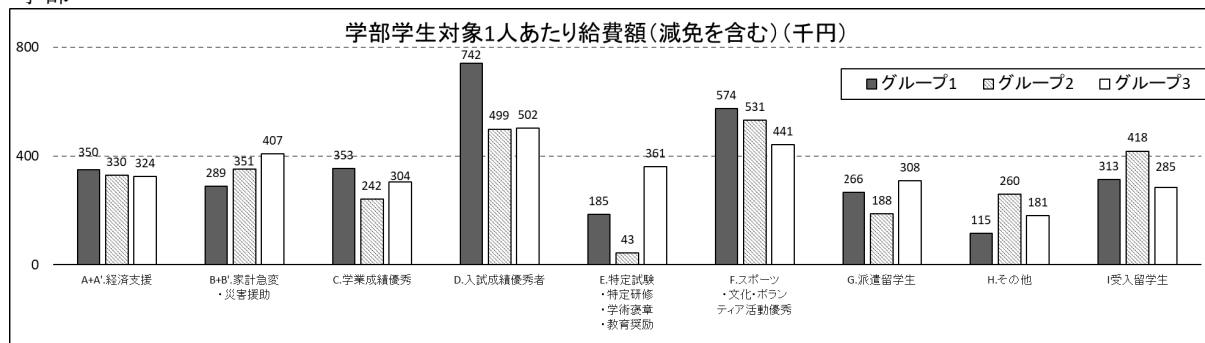
④奨学生総件数（新規及び継続合計）

制度	令和元年度		平成30年度	
	学部	大学院	学部	大学院
第一種	14,002	179	12,752	209
第二種	21,660	46	20,918	52
給付型	913	0	433	0
計	36,575	225	34,103	261

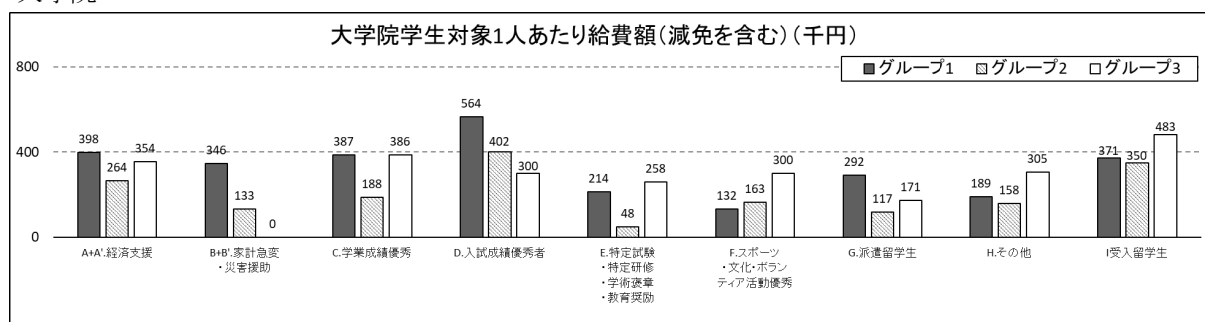
(3) 学生1人あたり支給額のグループ別比較グラフ (令和元年度学内奨学金等制度)

【給費 (減免を含む)】グループ比較

学部



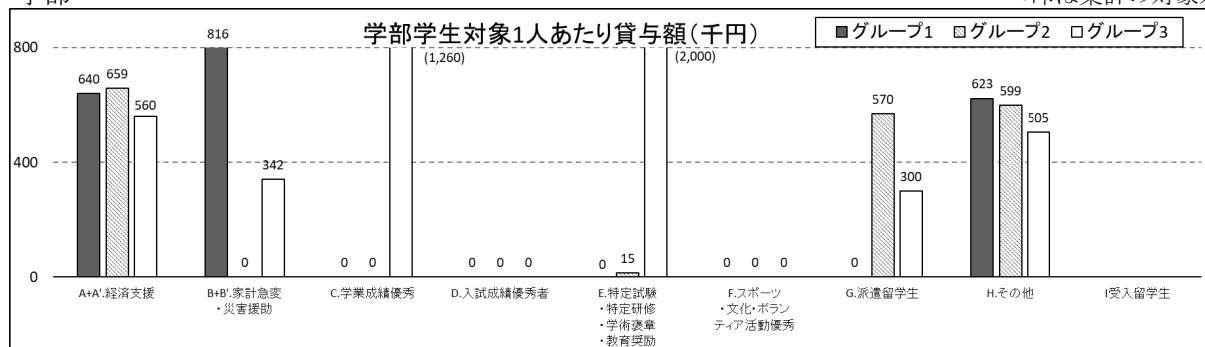
大学院



【貸与】グループ比較

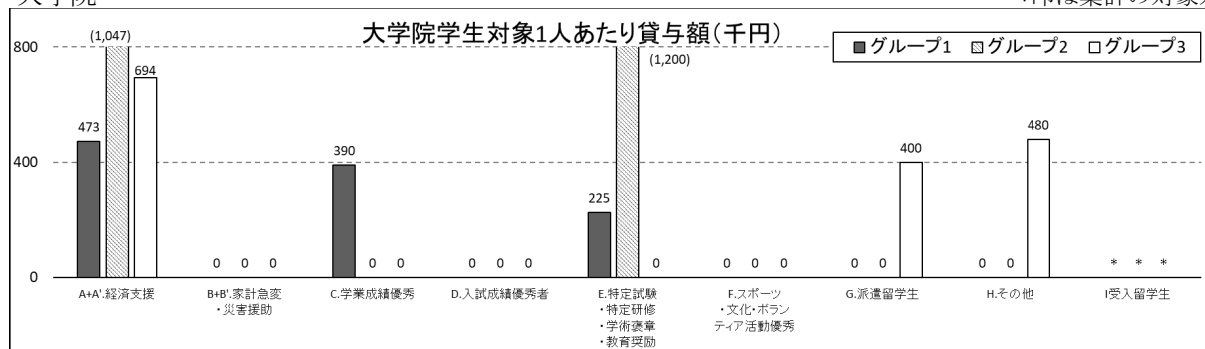
学部

*印は集計の対象外



大学院

*印は集計の対象外

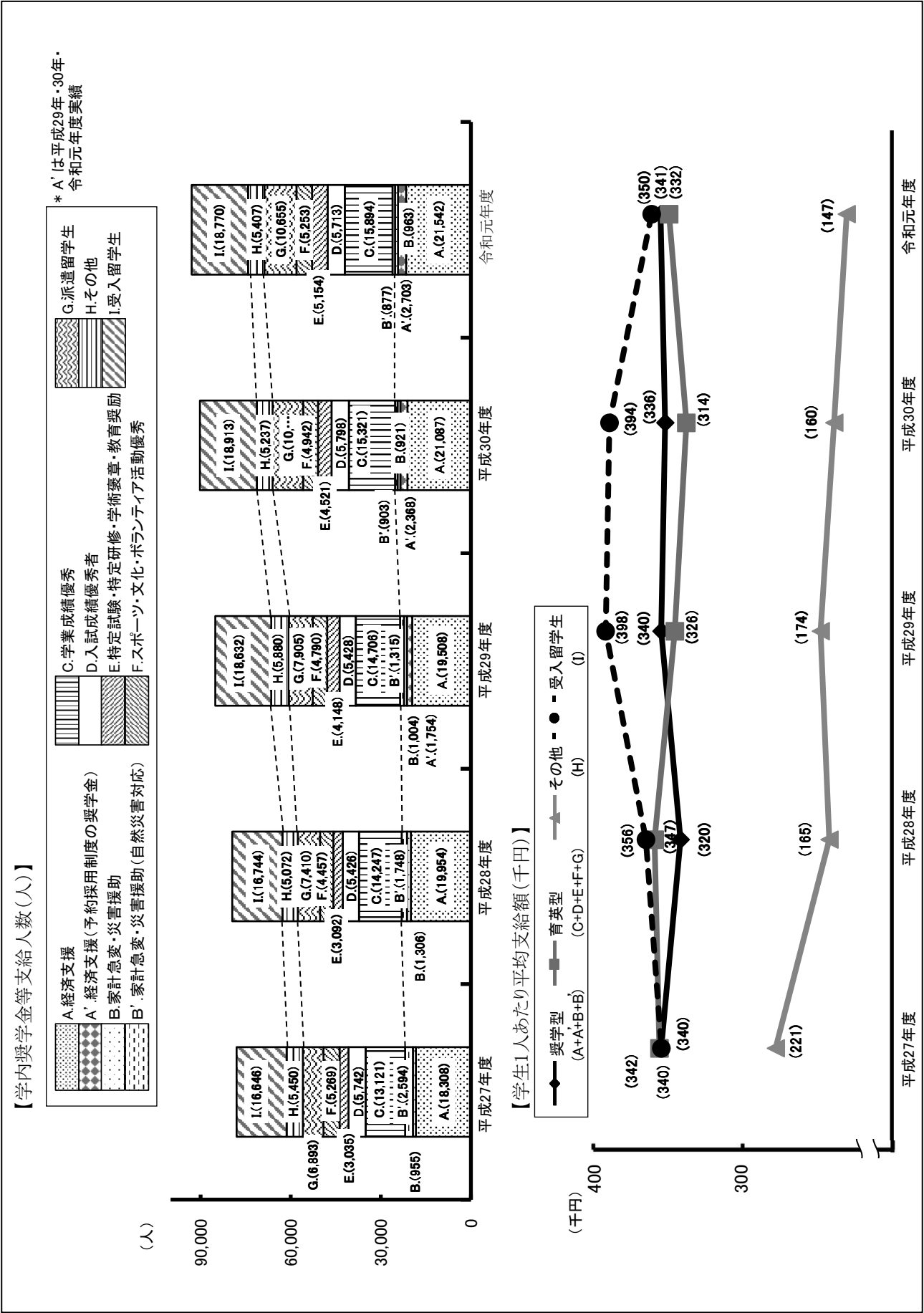


(4) 学内奨学金等支給実績推移表 (平成27年度～令和元年度)

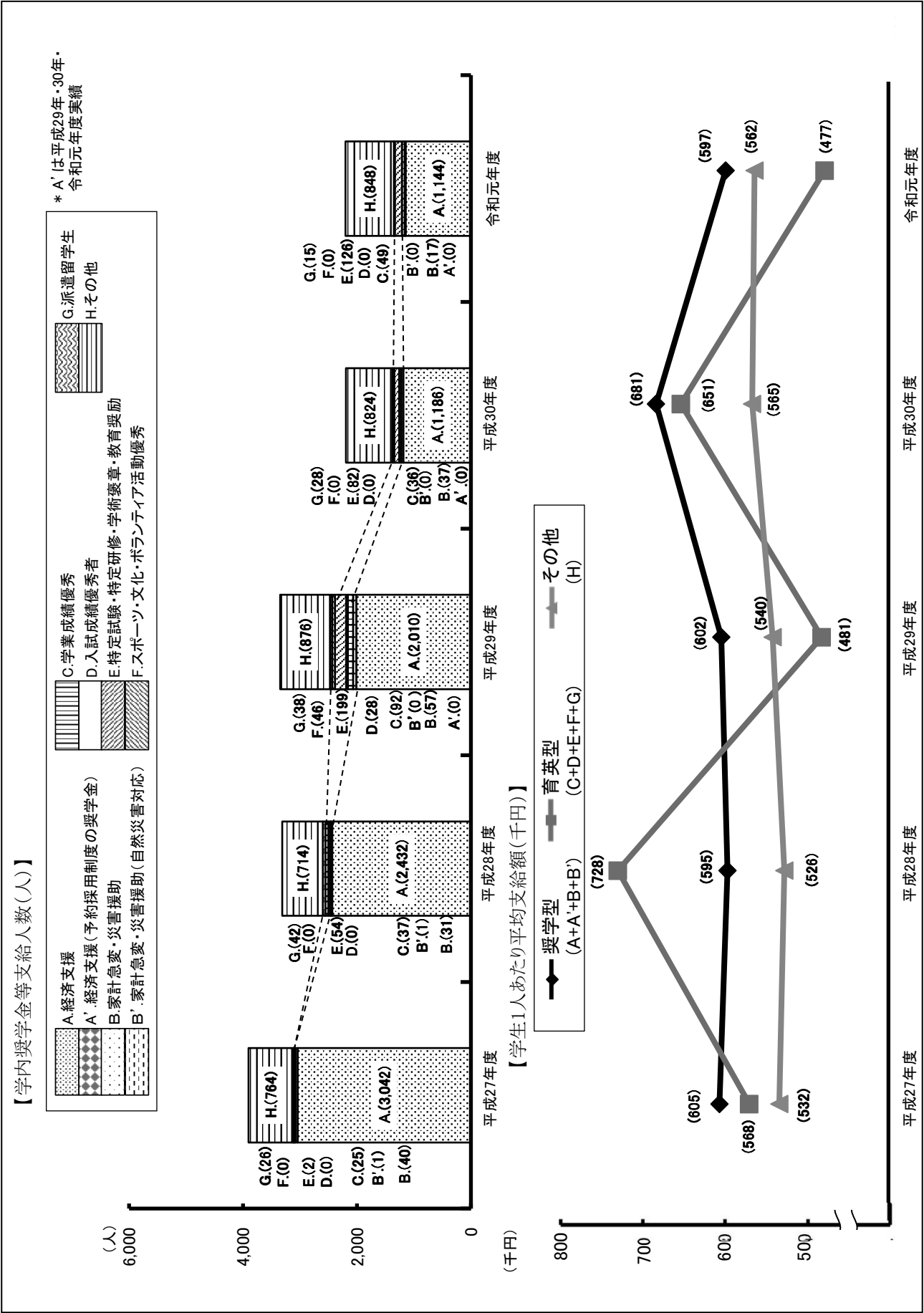
※全体集計のみ掲載。この推移表は、グループ別の推移表とともに、連盟ホームページの加盟大学専用ページ内「データライブラリー」に掲載しています。【Excel形式】

【学部学生】		(単位:人,千円)														貸与	
学内奨学金等制度		給費							貸与								
学年	区分	平成27年度 額(1)	平成27年度 率(1)	平成28年度 額(2)	平成28年度 率(2)	平成29年度 額(3)	平成29年度 率(3)	平成30年度 額(4)	平成30年度 率(4)	平成31年度 額(5)	平成31年度 率(5)	平成32年度 額(6)	平成32年度 率(6)	平成33年度 額(7)	平成33年度 率(7)	平成34年度 額(8)	平成34年度 率(8)
		人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額	人数	金額
奨学型	A×A' 経済支援	18,308	(1,794)	19,954	(2,218)	21,292	(3,743)	23,455	(4,248)	24,232	(4,557)	24,432	(2,010)	24,432	(2,010)	1,186	1,144
		5,766,711	(666,885)	6,283,672	(827,770)	7,347,643	(1,498,654)	7,886,792	(1,799,275)	8,133,036	(1,448,038)	8,133,036	(1,219,452)	8,133,036	(1,219,452)	810,569	680,680
奨学型	A'×A' 学内奨学金	315	(372)	315	(373)	315	(400)	336	(424)	344	(442)	344	(607)	344	(607)	683	595
		840,327	(248,483)	1,110,766	(364,003)	1,240,308	(365,807)	1,240,308	(365,807)	1,240,308	(365,807)	1,240,308	(365,807)	1,240,308	(365,807)	0	0
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	5,549	(1,497)	5,549	(643)	5,549	(643)	5,549	(643)	5,549	(643)	5,549	(643)	5,549	(643)	0	0
		1,672,191	(991,731)	1,090,183	(521,663)	664,737	(164,083)	605,600	(191,832)	567,210	(137,626)	311,149	17,640	25,569	22,865	12,453	7
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	421	(662)	357	(615)	287	(453)	302	(540)	308	(406)	760	551	449	618	733	0
		2,594	(1,292)	1,748	(376)	1,231	(196)	903	(187)	877	(213)	1	0	0	0	0	0
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	1,141,093	(895,733)	479,966	(266,325)	263,923	(97,419)	160,854	(83,225)	165,699	(86,975)	1,200	100	0	0	0	0
		440	(693)	275	(708)	201	(497)	178	(447)	189	(468)	1	0	0	0	0	0
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	13,121	(1,924)	14,247	(1,994)	14,706	(1,955)	15,321	(2,191)	15,913	(1,875)	25	37	92	36	49	49
		3,959,411	(757,309)	4,453,038	(783,859)	4,061,435	(736,829)	4,059,957	(783,197)	5,032,415	(762,469)	16,940	56,475	99,725	55,875	61,750	61,750
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	300	(394)	313	(393)	313	(393)	313	(393)	313	(393)	313	(393)	313	(393)	1,552	1,260
		5,742	(3,925)	5,428	(3,970)	5,478	(3,575)	5,798	(4,066)	5,741	(3,963)	0	0	0	0	0	0
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	3,159,567	(2,221,765)	2,940,532	(1,194,145)	2,855,407	(2,077,007)	3,102,756	(2,172,534)	3,200,755	(2,197,783)	0	0	0	0	0	0
		550	(665)	502	(553)	448	(559)	535	(534)	538	(532)	0	0	0	0	0	0
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	3,035	(665)	3,092	(553)	2,113	(448)	2,477	(421)	2,477	(421)	2,477	(421)	2,477	(421)	2,477	(421)
		282,598	(15,472)	400,720	(87,500)	427,424	(99,982)	461,182	(99,992)	565,549	(152,993)	230	12,960	20,700	23,740	21,700	21,700
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	93	(238)	130	(415)	103	(405)	102	(179)	110	(187)	115	240	104	290	172	172
		2,529	(1,890)	4,457	(2,195)	4,790	(2,348)	4,942	(2,447)	5,245	(2,893)	0	46	0	0	0	0
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	2,524,599	(1,319,424)	2,375,392	(1,519,024)	2,487,101	(1,610,448)	2,577,660	(1,708,650)	2,771,656	(1,906,941)	0	0	11,672	0	0	0
		479	(695)	533	(692)	519	(686)	522	(671)	528	(659)	0	0	234	0	0	0
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	6,853	(1,135)	7,410	(1,084)	7,965	(1,217)	10,178	(1,270)	10,635	(1,394)	26	42	38	15	7	7
		1,755,328	(555,741)	1,833,541	(664,564)	2,113,267	(652,520)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	5,450	(1,131)	5,072	(1,291)	5,880	(1,294)	5,237	(1,075)	764	(1,475)	764	714	876	824	848	848
		1,204,584	(260,985)	834,411	(332,270)	1,021,697	(305,277)	839,554	(267,023)	797,295	(276,172)	406,820	375,462	472,792	465,160	476,780	476,780
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	61,367	(13,381)	65,712	(13,811)	66,438	(14,171)	71,276	(16,312)	74,203	(16,994)	3,900	3,311	2,522	2,193	2,199	2,199
		30,304,324	(6,781,102)	20,211,782	(6,830,789)	21,079,411	(7,124,671)	22,123,865	(7,714,198)	23,866,147	(8,096,693)	2,301,125	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	1,755,328	(555,741)	1,833,541	(664,564)	2,113,267	(652,520)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)
		5,450	(1,131)	5,072	(1,291)	5,880	(1,294)	5,237	(1,075)	764	(1,475)	764	714	876	824	848	848
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	1,204,584	(260,985)	834,411	(332,270)	1,021,697	(305,277)	839,554	(267,023)	797,295	(276,172)	406,820	375,462	472,792	465,160	476,780	476,780
		61,367	(13,381)	65,712	(13,811)	66,438	(14,171)	71,276	(16,312)	74,203	(16,994)	3,900	3,311	2,522	2,193	2,199	2,199
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	30,304,324	(6,781,102)	20,211,782	(6,830,789)	21,079,411	(7,124,671)	22,123,865	(7,714,198)	23,866,147	(8,096,693)	2,301,125	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925
		1,755,328	(555,741)	1,833,541	(664,564)	2,113,267	(652,520)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	5,450	(1,131)	5,072	(1,291)	5,880	(1,294)	5,237	(1,075)	764	(1,475)	764	714	876	824	848	848
		1,204,584	(260,985)	834,411	(332,270)	1,021,697	(305,277)	839,554	(267,023)	797,295	(276,172)	406,820	375,462	472,792	465,160	476,780	476,780
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	61,367	(13,381)	65,712	(13,811)	66,438	(14,171)	71,276	(16,312)	74,203	(16,994)	3,900	3,311	2,522	2,193	2,199	2,199
		30,304,324	(6,781,102)	20,211,782	(6,830,789)	21,079,411	(7,124,671)	22,123,865	(7,714,198)	23,866,147	(8,096,693)	2,301,125	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	1,755,328	(555,741)	1,833,541	(664,564)	2,113,267	(652,520)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)
		5,450	(1,131)	5,072	(1,291)	5,880	(1,294)	5,237	(1,075)	764	(1,475)	764	714	876	824	848	848
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	1,204,584	(260,985)	834,411	(332,270)	1,021,697	(305,277)	839,554	(267,023)	797,295	(276,172)	406,820	375,462	472,792	465,160	476,780	476,780
		61,367	(13,381)	65,712	(13,811)	66,438	(14,171)	71,276	(16,312)	74,203	(16,994)	3,900	3,311	2,522	2,193	2,199	2,199
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	30,304,324	(6,781,102)	20,211,782	(6,830,789)	21,079,411	(7,124,671)	22,123,865	(7,714,198)	23,866,147	(8,096,693)	2,301,125	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925
		1,755,328	(555,741)	1,833,541	(664,564)	2,113,267	(652,520)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	5,450	(1,131)	5,072	(1,291)	5,880	(1,294)	5,237	(1,075)	764	(1,475)	764	714	876	824	848	848
		1,204,584	(260,985)	834,411	(332,270)	1,021,697	(305,277)	839,554	(267,023)	797,295	(276,172)	406,820	375,462	472,792	465,160	476,780	476,780
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	61,367	(13,381)	65,712	(13,811)	66,438	(14,171)	71,276	(16,312)	74,203	(16,994)	3,900	3,311	2,522	2,193	2,199	2,199
		30,304,324	(6,781,102)	20,211,782	(6,830,789)	21,079,411	(7,124,671)	22,123,865	(7,714,198)	23,866,147	(8,096,693)	2,301,125	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	1,755,328	(555,741)	1,833,541	(664,564)	2,113,267	(652,520)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)
		5,450	(1,131)	5,072	(1,291)	5,880	(1,294)	5,237	(1,075)	764	(1,475)	764	714	876	824	848	848
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	1,204,584	(260,985)	834,411	(332,270)	1,021,697	(305,277)	839,554	(267,023)	797,295	(276,172)	406,820	375,462	472,792	465,160	476,780	476,780
		61,367	(13,381)	65,712	(13,811)	66,438	(14,171)	71,276	(16,312)	74,203	(16,994)	3,900	3,311	2,522	2,193	2,199	2,199
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	30,304,324	(6,781,102)	20,211,782	(6,830,789)	21,079,411	(7,124,671)	22,123,865	(7,714,198)	23,866,147	(8,096,693)	2,301,125	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925
		1,755,328	(555,741)	1,833,541	(664,564)	2,113,267	(652,520)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	5,450	(1,131)	5,072	(1,291)	5,880	(1,294)	5,237	(1,075)	764	(1,475)	764	714	876	824	848	848
		1,204,584	(260,985)	834,411	(332,270)	1,021,697	(305,277)	839,554	(267,023)	797,295	(276,172)	406,820	375,462	472,792	465,160	476,780	476,780
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	61,367	(13,381)	65,712	(13,811)	66,438	(14,171)	71,276	(16,312)	74,203	(16,994)	3,900	3,311	2,522	2,193	2,199	2,199
		30,304,324	(6,781,102)	20,211,782	(6,830,789)	21,079,411	(7,124,671)	22,123,865	(7,714,198)	23,866,147	(8,096,693)	2,301,125	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925	1,897,925
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	1,755,328	(555,741)	1,833,541	(664,564)	2,113,267	(652,520)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)	2,590,255	(534)
		5,450	(1,131)	5,072	(1,291)	5,880	(1,294)	5,237	(1,075)	764	(1,475)	764	714	876	824	848	848
奨学型	B×B' 貸付・貸付制奨学金	1,204,584	(260,985)	834,411	(332,270)	1,021,697	(305,277)	839,554	(267,023)	797,295	(276,172)	406,820	375,462	472,792	465,160	476,780	476,780
		61,367	(13,381)	65,712	(13,811)	66,438	(14,171)	71,276	(16,312)	74,203	(16,994						

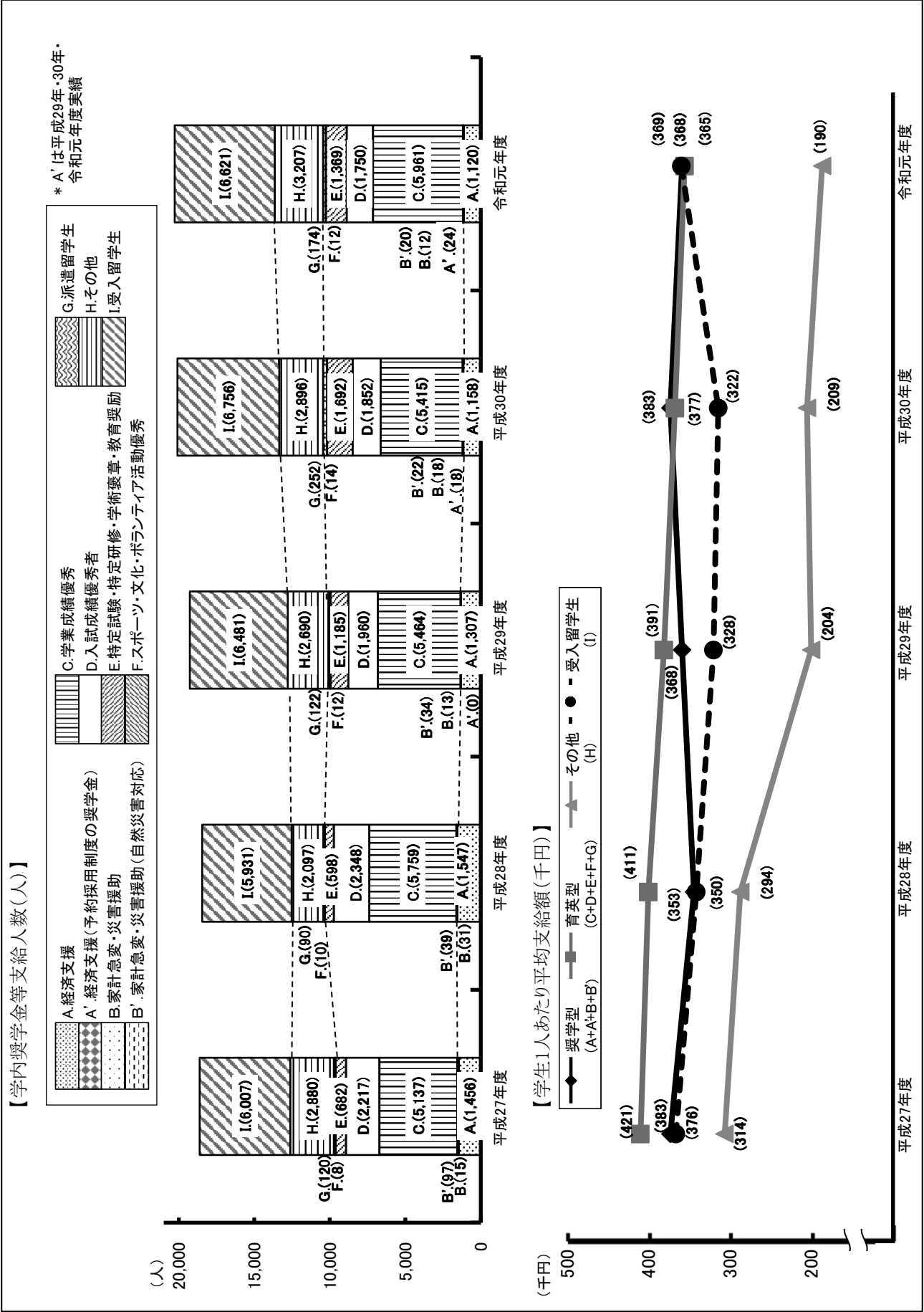
(5) ①全体125大学【学部学生：給費】支給人数と1人あたり平均支給額の推移（令和元年度学内奨学金等制度）



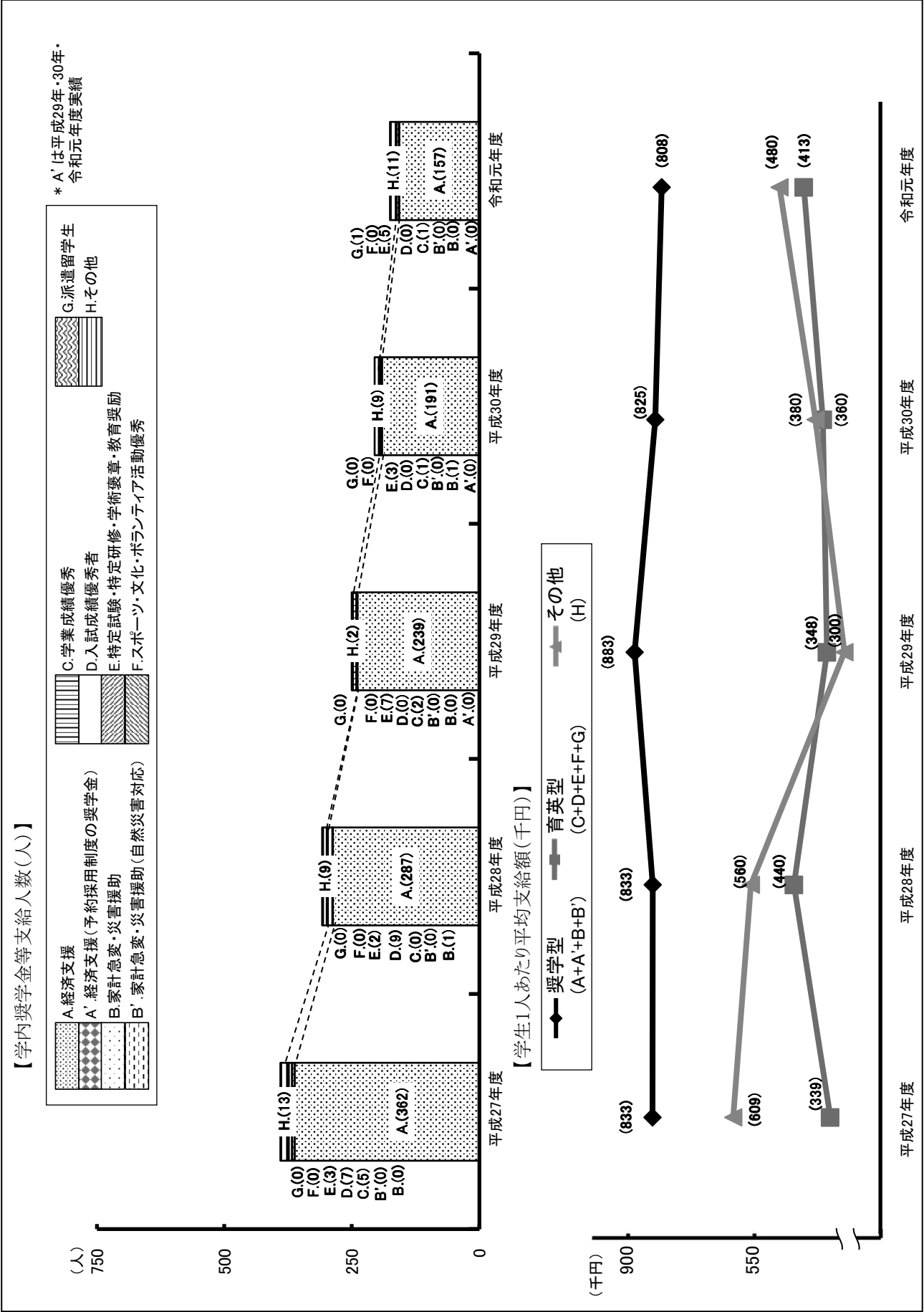
②全体125大学【学部学生：貸与】支給人数と1人あたり平均支給額の推移（令和元年度学内奨学金等制度）



③全体125大学【大学院学生：給費】支給人数と1人あたり平均支給額の推移（令和元年度学内奨学金等制度）



④全体125大学【大学院学生：貸与】支給人数と1人あたり平均支給額の推移（令和元年度学内奨学金等制度）



5. テーマ設問

「新型コロナウイルス禍での学生への経済援助施策等に関するアンケート」集計結果

1. 調査目的

今回のアンケートは、令和2年度の新型コロナウイルス禍における、私大連加盟大学の学生への経済援助等に関する対応・対策について調査し、加盟大学で情報を共有することで、今後の諸施策を検討される際の一助としていただくために実施したものです。

2. 調査期間

令和2年11月6日（金）～12月11日（金）

3. 回答回収状況

- ・依頼大学数：125大学
- ・回答大学数：125大学
- ・回収率：100%

4. 分析軸

集計にあたっては次の2つの分析軸を用いました。

①大学規模別

毎年実施している「奨学金等調査」で用いている大学規模分類と同じである。各グループの大学一覧は7頁を参照してください。

- ・第1グループ：学生数1万人以上
- ・第2グループ：学生数4千人～1万人未満
- ・第3グループ：学生数4千人未満

②大学所在区域別

今回、新型コロナウイルス禍での学生への支援施策等についての調査であり、感染の拡大の仕方を踏まえた地域別の集計を加えることとしました。

新型コロナウイルスは、当初、大都市圏から感染が拡大し、全国に広まりました。このため、「緊急事態宣言」についても大都市圏とその他の地域で時間差を持って発出されました。こうしたことを踏まえ、令和2年4月7日に「緊急事態宣言」第1弾が発出された7都府県に、それと同等の感染拡大レベルにあった愛知県を加えた8都府県を大きく東と西の2区域（A区域、B区域）に設定しました。そして、残りの道府県をC区域と設定しました。

- ・A区域：東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県
- ・B区域：大阪府・兵庫県・愛知県・福岡県
- ・C区域：その他道府県

5. 集計作業委託先

株式会社ディ・プラス

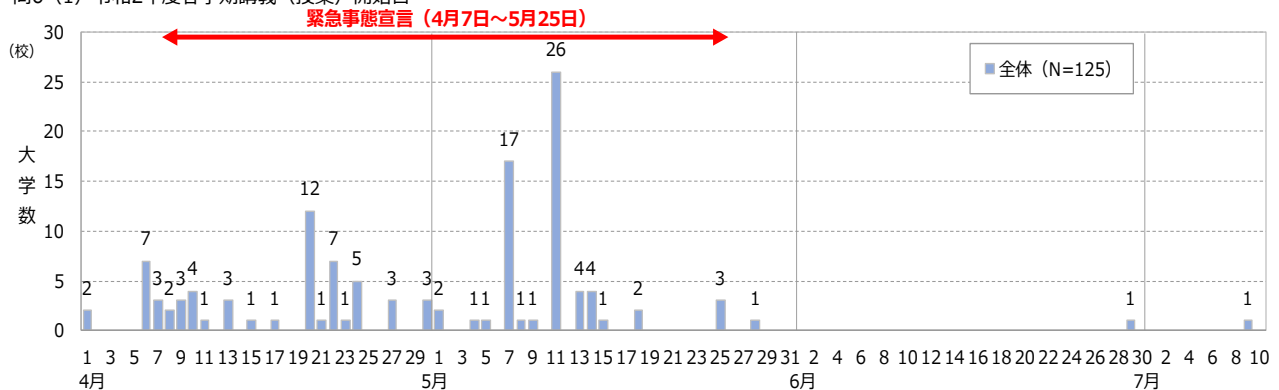
(1) 令和2年度春学期講義（授業）開始日

▶ 春学期の講義開始日は、5月11日（月）が26校で最も多い。
週別にみると、4月第2週、第4週に開始した学校が20校を超え、5月第2週～第3週がピークになっている。

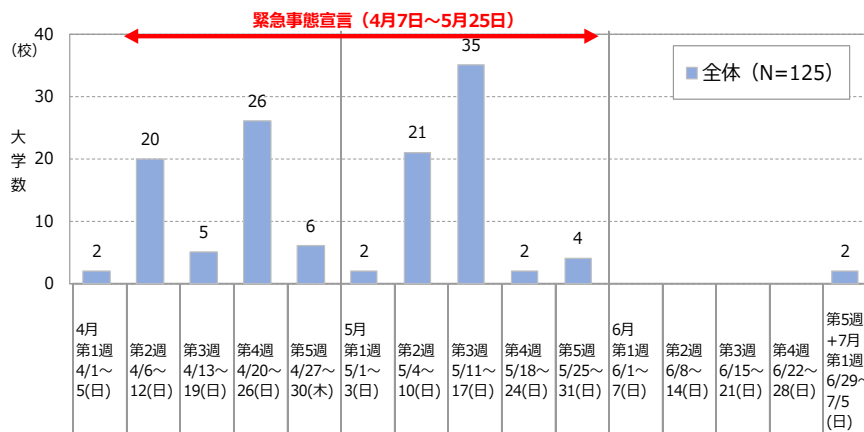
✓ 大学所在区域別にみると、A区域は5月第3週が最も多い。一方、B区域は4月第2週と第4週が多く、C区域は4月第2週、第4週、5月第2～3週に分散しており、区域によって開始時期に差がみられた。

■ 春学期講義（授業）開始日【全体／月日別】

問6 (1) 令和2年度春学期講義（授業）開始日



■ 【全体／週別】



<緊急事態宣言の期間>

4/7

東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・大阪府・兵庫県・福岡県の7都府県に発出

4/16

全国に拡大

5/14

北海道・東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・大阪府・京都府・兵庫県の8都道府県を除く、39県で解除

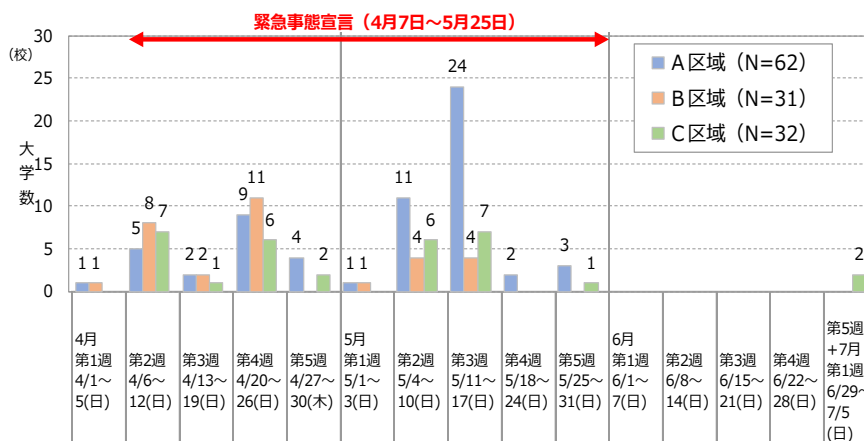
5/21

大阪府・京都府・兵庫県の3府県で解除

5/25

北海道・東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県で解除

■ 【大学所在区域別／週別】



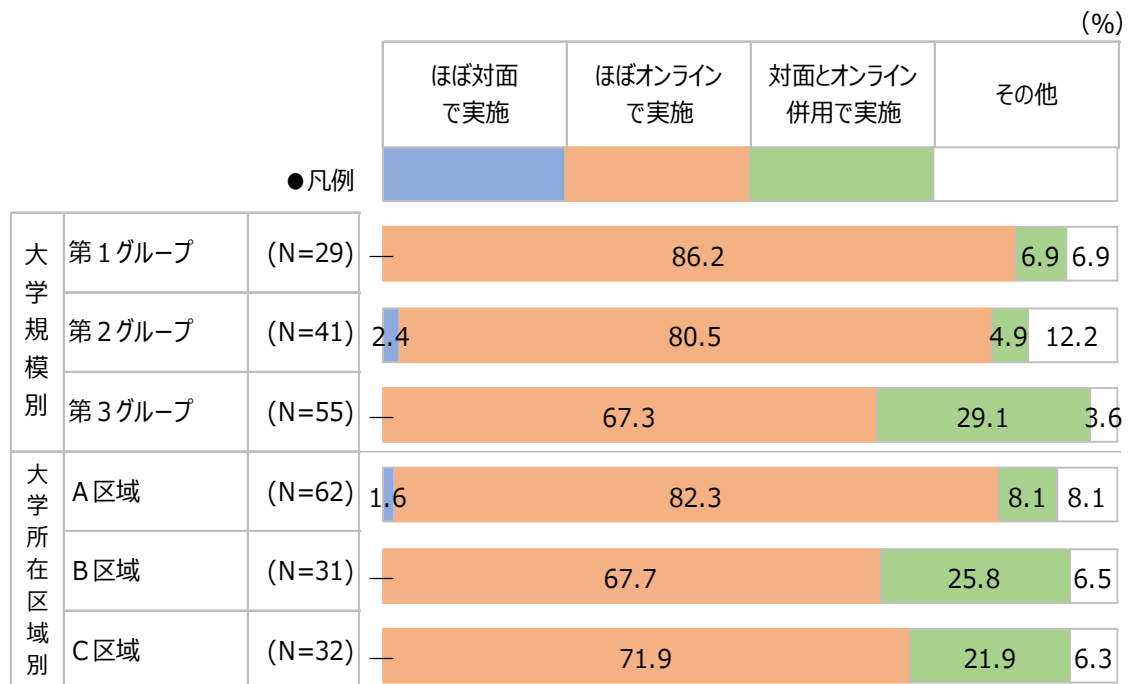
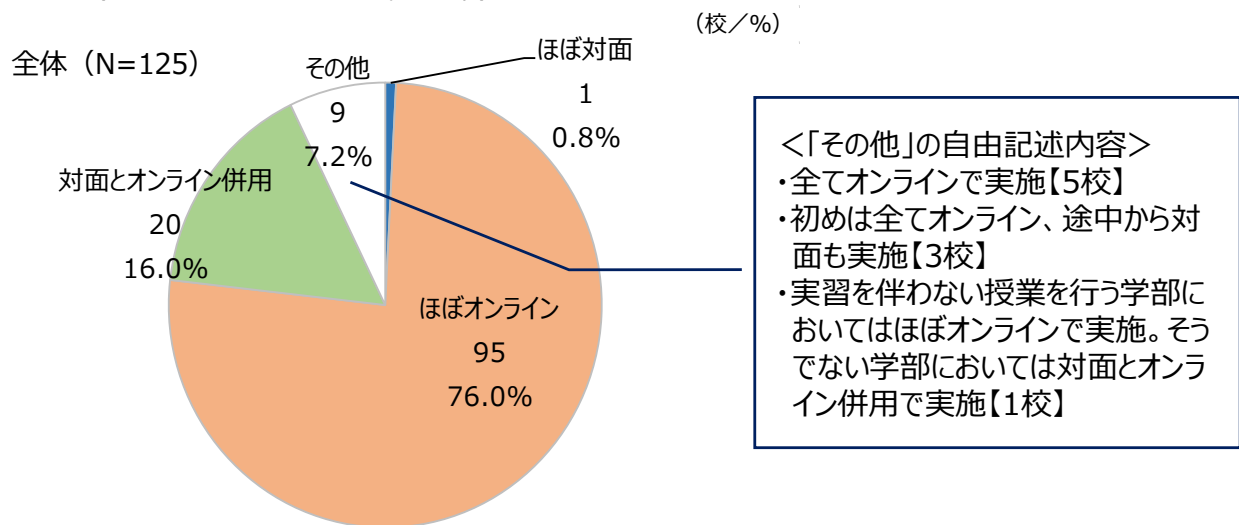
(2) 令和2年度春学期講義（授業）実施方法

▶ 春学期の講義実施方法は、3/4を超える大学が「ほぼオンラインで実施」（95校／76％）であった。「対面とオンライン併用で実施」「その他」（※記述内容参照）を含めるとほぼすべての大学がオンラインで講義を実施したことになる。

- ✓ 大学規模別にみると、第3グループで「対面とオンライン併用で実施」（29％）の割合が高い。
- ✓ 大学所在区域別にみると、A区域で「ほぼオンラインで実施」（82％）の割合が高い。

■ 春学期講義（授業）実施方法（全体／単一回答）

問6（2） 令和2年度春学期講義（授業）実施方法

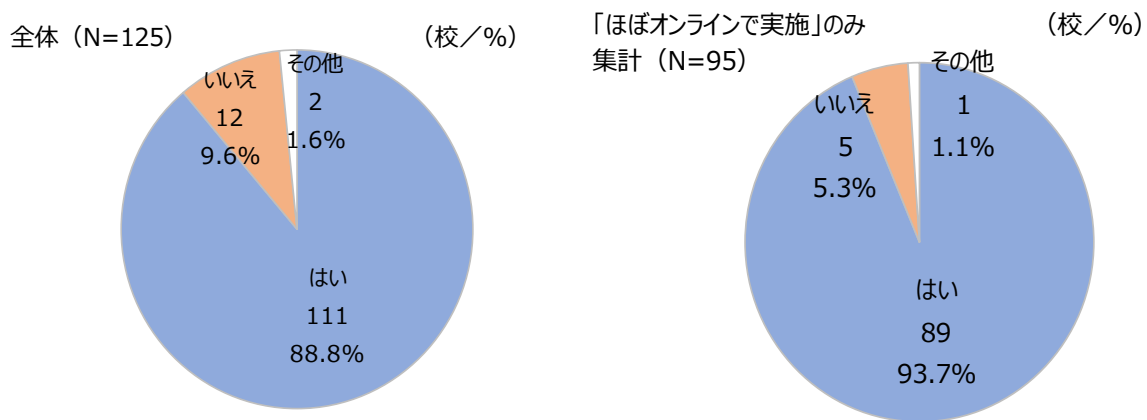


(3) 遠隔講義支援等①

- ▶ 遠隔講義を受ける環境を整えるための支援は約9割（89％）の大学が実施。
- ▶ 講義をほぼオンラインで実施した大学ベースでは94％にのぼる。
 - ✓ 大学規模別にみると、規模が大きいほど「はい」の割合が高い傾向にある。
 - ✓ 大学所在区域別にみると、B区域の支援実施率は100％である。

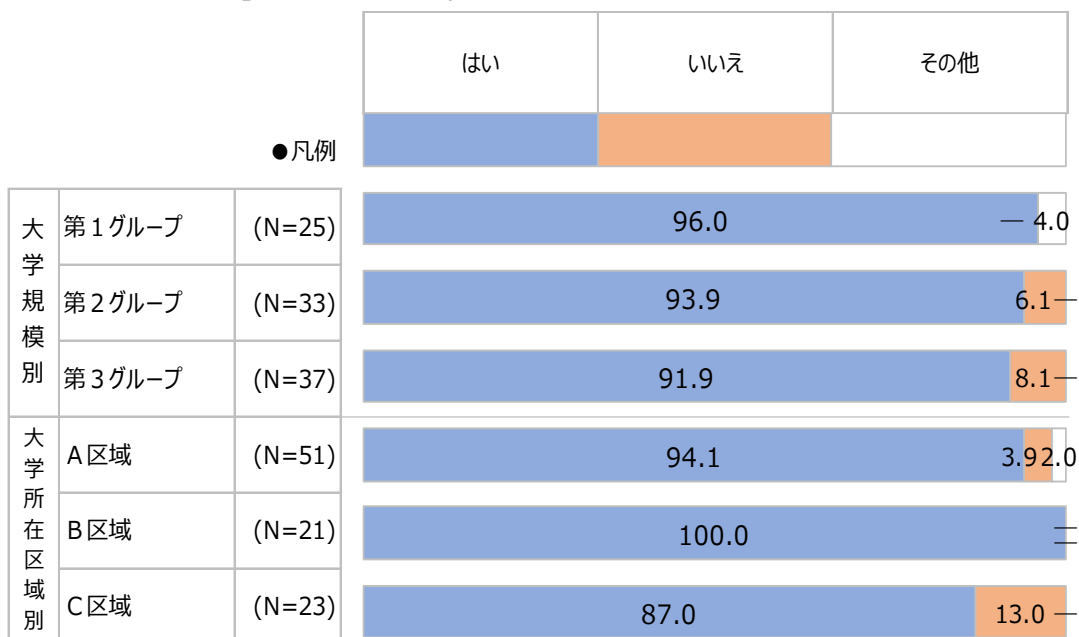
■ 遠隔講義受講環境整備支援の有無（単一回答）

問7（1）遠隔講義を受ける環境を整えるための学生に対する支援として、貴大学では、パソコン、Wi-Fiルーター等の支給・貸与、援助金の支給等がありましたか？



「ほぼオンラインで実施」のみ集計 (N=95)

(%)



(4) 遠隔講義支援等②

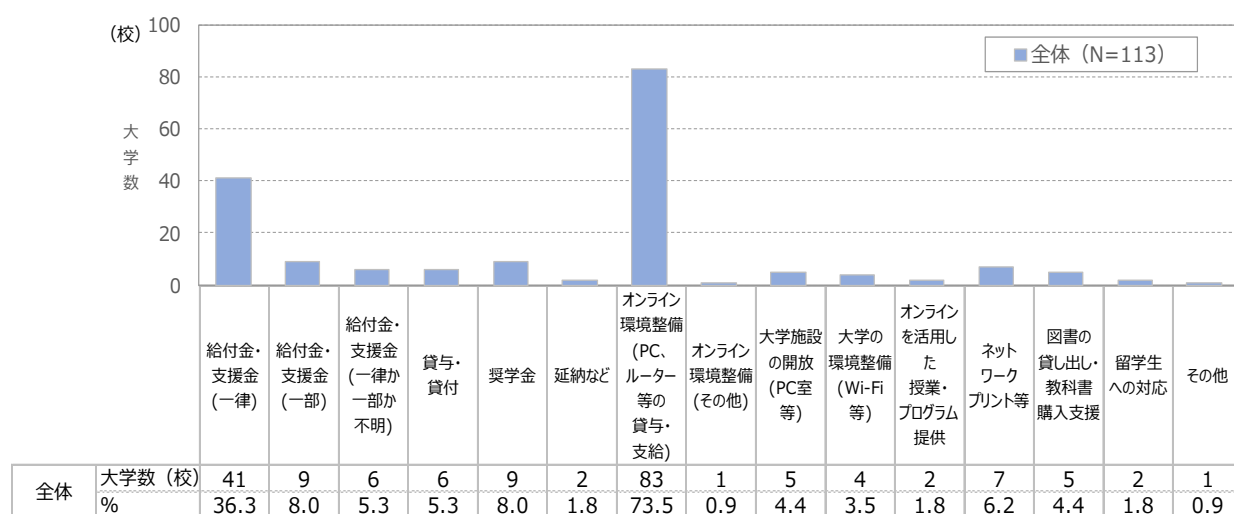
- ▶ 遠隔講義を受ける環境を整えるための支援を実施した大学について具体的な支援内容を分類した。

支援内容で最も多いのは「オンライン環境整備（PC、ルーター等の貸与・支給）」で、83校（74%）に及ぶ。次いで、「給付金・支援金（一律）」が41校（36%）で多く、この2つの支援内容が突出している。

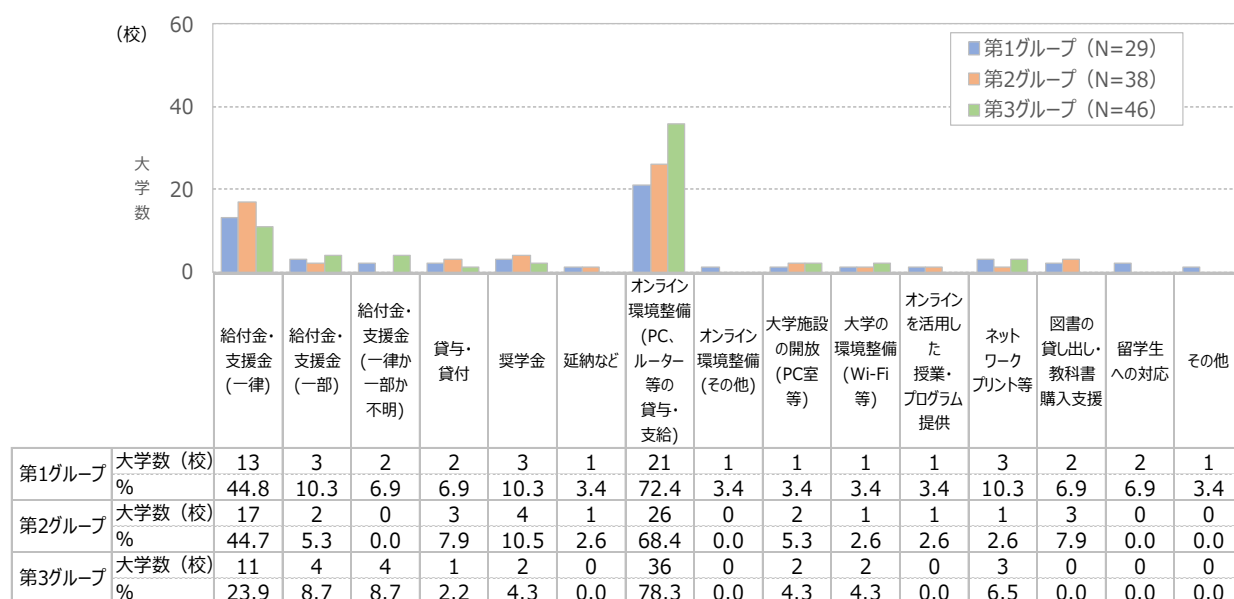
- ✓ 大学規模別にみると、いずれも「オンライン環境整備（PC、ルーター等の貸与・支給）」「給付金・支援金（一律）」の順で多い。
第3グループで「給付金・支援金（一律）」の割合が低い傾向。

■ 遠隔講義受講環境整備支援の内容_記述回答分類【実施大学全体】

問7 (2) (1) で「①はい」と回答の場合、その支援内容を記述してください、また、「③その他」と回答の場合もその説明をお願いします。（複数回答）



■【実施大学／大学規模別】



(5) 遠隔講義支援等③

▶ 各大学の具体的な支援内容

■遠隔講義受講環境整備支援の内容一覧①（遠隔講義受講環境整備支援実施大学／記述回答）

問7（2）（1）で「①はい」と回答の場合、その支援内容を記述してください、また、「③その他」と回答の場合もその説明をお願いします。

<第1グループ>

大学 規模別	大学所在 区域別	自由記述
第1グループ	A区域	オンライン授業環境整備給付金の支給
第1グループ	A区域	・wifiルーター貸出（学部ごと） ・PC貸出（学部ごと） ・wifi部屋の設置 ・全学生にwebexのアカウント付与
第1グループ	A区域	パソコンおよびポケットWiFiの無料貸与を抽選で行なった。また正規の学部生および大学院生に一律5万円を給付した。
第1グループ	A区域	1 通信環境の整わない学部生・大学院生への支援月間30～50GB程度の通信容量に耐える通信環境を整えられない学部生・大学院生を対象に以下のいずれかの支援を行った。 (1) Wi-Fiルーター（50GB/月程度）の無償貸与 (2) 通信容量増設費用補助（春学期分15,000円支給） 2 PCの無償貸与 オンライン授業に用いるための端末を用意できない学生を対象にノートPCを無償貸与するもの。
第1グループ	A区域	・モバイルWifiルーターとノートパソコンの4か月間の貸出 ・ネットプリントサービス（印刷を希望するデータをネットワーク上の所定の場所に保存し、コンビニにてファイルを指定して印刷） ・国外に滞留せざるを得ない学生を対象に、オンライン授業準備にかかる費用として5万円/名を支援
第1グループ	A区域	・ノートPC1,100台を新規購入し、希望者に対し貸与を実施した。 ・通信環境改善支援奨学金制度を新設し、新型コロナウイルス感染症拡大により経済的に困難な学生を対象に、オンライン授業の受講に伴う通信環境の整備 ・改善のための支援として、通信容量の契約変更又はWi-Fiルーターの新規契約等に対して奨学金を給付した。○通信容量の契約変更1万円、○Wi-Fiルーター新規契約等2万円
第1グループ	A区域	・「経済的に困難な学生を対象とするオンライン授業受講開始支援補助制度」経済的事情によりオンライン授業の受講に適した通信環境を準備することが困難な学生が、教育を受ける機会を逸することの無いよう、「通信環境を整備する費用」の一部を補助する。全学部・研究科を対象とし、採用者に15,000円を給付した。 ・「●●学部教育支援奨学金（ネットワーク環境整備補助）」●●大学●●学部生の学習環境の維持・向上を支援し、質の高い●●学生を育成することを目的とする。●●学部1～4年生を対象とし、学業人物ともに優秀であること、一人暮らし等で自宅にネットワーク環境が整っておらず、オンライン受講する際に多額の準備費用がかかる者に対して、採用者に30,000円を給付した。
第1グループ	A区域	前期は、希望者に対してパソコンとWi-Fiルーターの貸与、後期はパソコンのみ貸与を実施している。
第1グループ	A区域	・学生用PCの貸出、インターネット環境確保のための学習室開放（予約制） ・緊急修学支援金として、学部及び大学院に在籍する正規学生に5万円を給付。
第1グループ	A区域	・経済的事情により授業開始日までにオンライン授業を受講する環境を整えることが極めて困難な学生にノートパソコン及びWi-Fiルーター（通信料を含む）を2020年度春学期期間中のみ無償貸与。（台数制限あり） ・自宅の通信環境、印刷環境などの学習環境が不十分である学生への支援として1万円を支給。
第1グループ	A区域	在学生全員に一律5万円を支給
第1グループ	A区域	1 パソコンやタブレット端末を用意できない学生へのパソコンの無償貸与※対象者は、本学の学部・大学院・短期大学部及び附属専門学校の通学課程の全学生
第1グループ	A区域	・「学修環境整備奨学金」の給付オンライン受講を含めた学修環境を整え、安心して授業を受けられるための措置として、すべての学生に対して一律5万円の「学修環境整備奨学金」を給付した。 ・「ノートパソコン、モバイルWi-Fi」の有償貸出オンライン受講の環境整備を支援するため、校友会の協力と関係各社の支援によって、ノートパソコンの補助付き有償貸出を行った。
第1グループ	A区域	1. 全学生（学部および大学院）を対象に、「学修支援特別奨学金」として一律5万円を支給。 2. 令和2年度（第1期）の学費納入期限を、通常より2か月延長。 3. アルバイト収入減等による経済困窮学生に対して、上限5万円（無利子）の緊急貸付支援を実施。 4. 家計急変による経済的困窮者を対象とする本学独自の給付型奨学金制度を拡充。 5. パソコン貸し出しの実施。
第1グループ	A区域	本学では、オンライン授業受講のためのインターネット環境及び機器に関する補助やオンライン機器（PC、タブレット、ルーター）の貸出も行った。また、日本国内に入国できない留学生に対しては、相手に合わせた通信環境による授業運営を行った。 校内への入構を禁止したことに伴い、教科書の購入が難しくなった。結果的にオンラインによる注文に切り替えるとともに、送料に関しては大学が負担した。また、図書館の貸出図書郵送サービスも実施した。
第1グループ	A区域	遠隔授業準備金として、全学生一人当たり1万円（総額3億円）を支給した。
第1グループ	A区域	大学からは貸出は行っていないが、各学科、研究室等で個別に対応していたものもある。

大学 規模別	大学所在 区域別	自由記述
第1グループ	A区域	遠隔授業を受講するための準備費用として、通学課程の大学生・大学院生で在学中の者（休学者を除く）に特別修学支援金（一人あたり一律5万円）を給付。
第1グループ	A区域	●●大緊急支援金申請者を中心に、学生の申請に基づきパソコン、Wi-Fiルーターの貸与を行った。
第1グループ	B区域	・Wi-Fiルーターの貸与。 ・在学生全員に対し、「就学支援金」として一律50,000円の給付。
第1グループ	B区域	・遠隔授業の実施に伴うインターネット環境整備に係る経済的支援として、全学生（学部生・大学院生・法科大学院生・留学生別科生）を対象に一人当たり一律1万円の支援をした（支給方法：1万円分のギフトカードを支給）。 ・経済的事情等により自宅にパソコンがない、インターネットに接続できない、あるいは使用可能なネットのデータ総量が著しく少なく遠隔授業を受講することが困難な学生を対象に、パソコン、モバイルルータを無償で貸与した。
第1グループ	B区域	パソコン、Wi-Fiルーターの貸出
第1グループ	B区域	PCの無償貸与（760台）モバイルルーターの無償貸与（2,200台）ネットプリントサービスの提供（4,462件） （11/10時点）
第1グループ	B区域	令和2年5月1日時点で在籍する学生全員（研究生、科目等履修生除く）に、1人あたり3万円を支給。
第1グループ	C区域	・モバイルルータの貸出：オンライン授業を受講支援のため自宅・下宿等に十分なネットワーク環境がない貸出希望学生に対して大学がレンタルしたモバイルルータを貸与（費用の一部を学生負担）。 ・ノートPCの貸出：オンライン授業を受講支援のため自宅・下宿等に十分なネットワーク環境がない貸出希望学生に対して大学管理のノートPCを貸出。 ・図書館所蔵資料の郵送貸出サービス：蔵書の貸出を希望する学生に送料大学負担（往復）で送付。 ・ネットワークプリントサービス：コンビニエンスストアのコピー機からネット経由で登録した資料等をプリント出力できるサービスを提供（1人あたり500枚）。 ・●●大学短期貸付金の拡充：災害など特別な事情により、医療費や生活費、学費の支弁が困難場合に限定していた特別貸付（10万円）を非対面授業に必要な環境の整備によって生活費が圧迫された場合にも利用可能とした。
第1グループ	C区域	オンライン授業に伴う情報環境整備等に係る負担軽減を図るため、一律5万円の給付をおこなう「修学支援金」を実施。
第1グループ	C区域	・Web活用の授業実施に伴う通信環境整備への負担軽減の支援策として「オンライン授業の受講環境整備のための支援金」を全学生に支給（一律3万円）。 ・オンラインを活用した多様な学習プログラムの提供（就職活動支援、資格や語学講座受講支援などを含む） ・パソコン、ルーターなどの無償貸出し
第1グループ	C区域	・情報環境の整備に係る経済的負担を軽減する目的で「オンライン授業特別給付奨学金」を新設し本学に在学する学生に対し一律30,000円を給付。 ・上記に並行して、オンライン授業の環境構築のため、PCとWi-Fiルーターのレンタル事業を実施。
第1グループ	C区域	今般の新型コロナウイルス感染症の影響により必要となったパソコン、Wi-Fiルーター等通信機器の貸与を行った。また、学生が遠隔授業を受ける環境整備の目的も含めて、「学生生活援助金」という名の学生生活支援を実施した。

<第2グループ>

大学 規模別	大学所在 区域別	自由記述
第2グループ	A区域	タブレット端末、Wi-Fiルーターの貸与。
第2グループ	A区域	オンライン授業への移行に伴う学生の支出増に対応するために、休学中の学生を除く全学生に1人あたり5万円の「学生への修学支援金」の支給を行った。
第2グループ	A区域	本学では、オンライン授業の受講環境が整わない学生に対し、ノートパソコンおよびモバイルWi-Fiルーターの貸出をおこなった。
第2グループ	A区域	【趣旨】新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2020年度春学期は遠隔授業に移行することとなった。これに伴い、学生の学修環境整備等に係る費用に対して経済的支援を行うため、2020年度春学期に限り臨時の奨学金を新設した。 【対象者】 2020年5月1日現在で在籍する学生（学部生・大学院生） 【奨学金額】 一人10万円 【通信環境への配慮】遠隔授業の受講環境が十分でない認められた学生に対して学内での遠隔授業を受講できる環境を整備
第2グループ	A区域	学生支援給付金遠隔授業受講のための環境整備にあたり、全学生（大学院生含む）を対象に、1人あたり6万円を支給
第2グループ	A区域	・情報基礎教育科目 ・メディア授業受講用ノートパソコンの無償貸出を実施。 ・「メディア授業支援緊急貸与奨学金」の創設
第2グループ	A区域	オンライン授業に必要なパソコンやインターネット環境の整備、通信費用などに充てるため、条件を満たす全ての学生（留学生を含む）に対して一律5万円の臨時奨学金を支給している。 また、パソコンを所有していない学生で貸与を希望する学生に対しては学部事務室を通じてパソコンの貸与も行っている。
第2グループ	A区域	全学生を対象とし、一律5万円の臨時奨学金を支給した。オンライン授業実施に伴う通信機器の整備に充ててもらう目的とし、臨時奨学金として支給した。

大学 規模別	大学所在 区域別	自由記述
第2グループ	A区域	・通信環境が整っていない学生を対象に、Wi-Fiルータの貸出し（利用料の半額を大学で負担）[全学] ・PC教室の一部開放（予約制）[医療看護学部（●●キャンパス）] ・PCの貸出し[保健看護学部（●●キャンパス）]
第2グループ	A区域	2020年前期在籍している学生に対し50,000円を後期学費から相殺する形で給付した。 2020年後期には、前期実施のアンケートによりオンライン端末受講のための機器が不十分である学生に対し、PCの貸与（150台分）と、ネットプリントサービス（300アカウント）を実施した。
第2グループ	A区域	1）全学生に一律5万円の奨学金を支給 2）必要な学生にパソコンやWi-Fiルーターの無償貸与
第2グループ	A区域	遠隔授業開始に伴い、各学科にて学生のPC及び通信状況についてヒアリングをし、遠隔授業に支障の出ている学生に対しPC及びルーター貸与の緊急支援をした。
第2グループ	A区域	Wi-Fiルーターの貸し出し
第2グループ	A区域	○遠隔授業特別支援金の支給通信環境の整備のため、通学課程の学部生及び大学院生に一律3万円を支給した。支給方法は学生が指定した口座へ入金した。 ○機器の貸与パソコン、Wi-Fiルーター、ヘッドセットを貸出可能な状態にし、学科からの要望書に基づき、一部の学生に貸し出しを行った。
第2グループ	A区域	申込のあった学生に対し、無料にてWi-Fiルーター345台、パソコン350台を貸与した。
第2グループ	A区域	遠隔授業を受けるためのPC、通信環境を自身で整えることができない学生に対して、無償でそれぞれPC、ポケットWiFiを貸与した。
第2グループ	A区域	援助金の支給新型コロナウイルス感染拡大に対応して実施するオンライン講義に必要なPC環境整備費及び通信費等を補助を補助する目的で、在学生に対し一律6万円の臨時奨学金給付を2020年度後期の学費から給付額6万円を減額するかたちで実施した。 パソコンの貸与オンライン授業開始に伴い、PCを保有していない学生やスペック不足等で不都合のある学生へ無料の貸与を行っている。
第2グループ	A区域	申請者に対して学習環境整備奨励金として2万円を支給した。
第2グループ	A区域	オンライン授業の受講環境整備を含む経済支援として、全学生に一律5万円の緊急支援給付金を給付
第2グループ	A区域	新型コロナ対策臨時基金を開設し、インターネット環境整備など学修環境全般を整えていただくための支援として、在学生全員に一律5万円を給付した。
第2グループ	A区域	・全学部学生に一律で現金（一万円）給付を実施 ・希望学生に対してのノートパソコンの貸与
第2グループ	A区域	遠隔授業に対して必要となる通信機器購入及び通信環境整備に必要な資金を支援するため、5万円または10万円（各自が選択）を無利子で貸し付ける、●●大学遠隔授業支援貸付金を実施している。
第2グループ	A区域	・在学生全員に5万円の「修学支援特別奨学金」を給付 ・授業料延納および緊急経済支援を実施 ・1年生の履修必修科目の教科書を無償で配布 ・生協で購入した教科書の送料を大学が負担 ・図書館から借用した本の送料を大学が負担
第2グループ	B区域	ノートパソコンやモバイルルータの機器等の無償貸与学修環境を整えるための緊急支援金として、在学生全員に1人当たり一律50,000円を支給
第2グループ	B区域	1. ノートパソコンを無料で貸し出した。 2. 学修環境整備等のため、全学生に一律50,000円を給付した。 3. 事前予約をした学生に対し、キャンパス内のPC教室を開放し、遠隔授業を受けられるようにした。 4. 図書館の蔵書を、自宅に宅配便で貸し出しするサービスを行った。
第2グループ	B区域	名称：学修環境整備等支援費内容：オンライン授業の受講にあたって必要となる環境や機器の整備の支援費 金額：一律50,000円 支給方法：学生指定銀行口座への振込 支給日：2020年6月22日（月）から順次振込 その他にネット環境が整っておらず授業を受講できない学生に対してパソコンの貸出を行った。
第2グループ	B区域	ノートパソコンおよびWi-Fiルーターを300台無料で貸出
第2グループ	B区域	全学部生及び大学院生に対して、オンライン授業実施のためのインターネット環境を自宅を整えていただくために、一律5万円を支給した。なお、本学ではコロナ禍に関わらず、例年、入学生（学部生のみ）へパソコンを支給している。
第2グループ	B区域	・Wi-Fiルータの貸与・学修環境整備給付金の支給 ・（2020年4月開始の遠隔授業受講のための学生貸し出し用PCを準備した。ただし、貸し出した実績はない）
第2グループ	B区域	ノートパソコン（58台）、Wi-Fiルータ（54台）の学内貸与支援を行った。
第2グループ	B区域	・wi-fi環境がない学生に対し、モバイルルーターを貸与した。 ・3年生以上の学生でパソコンを所有していない学生に対し、パソコンを貸与した。（1年生及び2年生はBYOD対応を行っているため、学生は基本的には個人PCを所有している。）
第2グループ	B区域	・オンラインによるメディア授業の実施に伴い、PC等機器を購入した学生に対して上限4万円の補助を行った。 ・通信機器環境整備のため、上限10万円の貸付制度を新設した。
第2グループ	C区域	・希望者へのwifiルーター、ノートPCの無償貸与を実施

大学 規模別	大学所在 区域別	自由記述
第2グループ	C区域	5月上旬に学修環境全般の整備への支援として、在学生全員に一人当たり一律5万円を支給。
第2グループ	C区域	(1) 全在学生への「学修継続支援金」の給付 オンライン授業の受講に係る通信費等の費用支援、その他大学での学修を継続していくための支援として、在学中の全ての学部生へ8万円（大学院生4万円）の「学修継続支援金」を給付。 (2) 給付奨学金 「●●大学緊急生活支援奨学金」の創設。新型コロナウイルス感染症の影響により家計急変が生じた学生を対象に10万円を100人に給付する●●大学「緊急生活支援奨学金」を創設。 (3) 特別貸付金貸付人数の拡大 前期諸納付金延納期限までに入金に合わない場合の特別貸付金（前期諸納付金相当額）の一時貸付を50人に拡大。 (4) オンライン授業に伴う学習環境の支援 ①パソコンの無償貸与 オンライン授業の実施にあたり、パソコンがなく、自宅での学修が難しい学生に向けパソコン260台の無償貸与。②購入教科書の送料料大学負担 大学生協での購入教科書の自宅送料を大学が負担。③通信容量の増設 (5) 給付奨学金「●●大学同窓会等緊急奨学金」の創設 ●●大学同窓会からの一般寄附金等を財源として、従来より家計状況が苦しく、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりアルバイト収入が見込通りに得られなかったなど、学修が困難になっている自宅外から通学している学部学生に対し、10万円を給付する「●●大学同窓会等緊急奨学金」を創設。
第2グループ	C区域	遠隔授業を受講する環境を整えることが困難な学生を対象に、ノートパソコン及びモバイルWifiルーター（通信料含む）を2020年度後期授業開始日前日（2020年9月20日）まで無償で貸与した。
第2グループ	C区域	パソコン、Wifiルーター、ウェブカメラ
第2グループ	C区域	ノートパソコン、Wi-Fiルーターの貸与

<第3グループ>

大学 規模別	大学所在 区域別	自由記述
第3グループ	A区域	PC、Wi-Fiルーター、ヘッドセット、ウェブカメラの貸与 コンビニでのネットプリントサービスの提供
第3グループ	A区域	【モバイルWi-Fiルーターの貸与】本学では、今年度春学期の授業を4月20日（月）から、オンラインによる遠隔形式により開始しており、学生の皆さんにパソコン・インターネット等の環境整備をお願いしています。これに関連し、ご自宅の通信設備等の事情により、現在安定した状態でオンライン授業を受講できる十分なインターネット環境がなく、個人で大容量の高速通信環境を短期間に整備することが困難な方を対象に、大学よりモバイルWi-Fiルーターの無償貸出しを行っております。
第3グループ	A区域	パソコン貸与、 学内PC教室での受講、 希望者にはパソコン購入のための短期貸与奨学金
第3グループ	A区域	(1) 環境整備のための援助金は無し。 (2) パソコン貸与：学生貸与用として、ノートパソコン30台を購入。学生本人の購入を強く推奨した上で、オンライン授業受講のための環境がないという学生に対しては、学期中ずっと自宅で利用できるノートパソコンを貸与。また、ハイブリッド授業のために大学に持参できるパソコンが無い学生に対しては、授業中に利用できる減価処理済のノートパソコンを都度貸与。 (3) Wifi貸与：学内貸与用として、春学期はポケットWifiを70台をレンタル。また秋学期からは、モバイルWifi30台を購入。通信環境は学生本人が準備するということを周知した上で、授業開始までにネットワーク環境を自宅に準備できない学生に対しては準備が整うまで貸与。また、故障時等の一時貸出も継続実施。
第3グループ	A区域	パソコン無償貸与、1万円支給（ルーター設置費）
第3グループ	A区域	全学生に一律6万円の給付を行い、かつ大学ポータルサイト上で希望者を募り、PCやルーターの貸出をおこなった。
第3グループ	A区域	前期は経済的な事情等により、インターネットを用いた自宅学習環境を整備するのが難しく、講義の受講に支障が出ている学生からの相談に応じて、パソコン・Wi-Fiルーターの貸与を行っていた。
第3グループ	A区域	遠隔授業における学修環境を確保するために、PC貸与、通信費補助、印刷費補助を行った。PCの貸与にあたっては、自宅で学修に適した機材がないことを主な条件とし、希望者に対し経済的な事情を考慮して貸与した。通信環境については、学生の自宅環境が様々であるため、遠隔授業を受講するために発生した通信費に対して支援した。Wi-Fiルータの貸し出しは行わなかった。また、学内の印刷設備を使用できないため、学修を目的とする印刷費用に対して支援を行なった。
第3グループ	A区域	Wi-Fiルーターの貸出（設置台数：10台 2週間単位で貸出）ノートブックパソコンの貸出（設置台数：40台 1年単位で貸出）
第3グループ	A区域	ノートパソコン、Webカメラ、モバイルWi-Fiルーターの貸与
第3グループ	A区域	本学では従来より入学時に全学生にパソコンを貸与しております。
第3グループ	A区域	遠隔授業実施に伴い、通信環境整備の費用などに充てもらうため、学部全学生に一律5万円を支給
第3グループ	A区域	貸し出し可能なノートPCの台数に制限があったため、個別に相談を受けた学生を対象にノートPCの貸し出しを実施しました。
第3グループ	A区域	オンライン授業に用いるためのP C端末を整えられない状況にある学生を対象に、新たにノートP Cを取り揃え、無償貸与を実施
第3グループ	A区域	オンライン授業を受けるにあたりパソコン、Wi-Fiルーター、Wi-Fi中継器、ヘッドセットを支援希望者に貸与の対応をとった。
第3グループ	A区域	・後期オンライン授業の継続に伴い、希望者にノートパソコン・ルーター等の貸与を実施。

大学 規模別	大学所在 区域別	自由記述
第3グループ	B区域	在籍学生（大学院生含む）対象に郵便為替にて一律3万円を支給。
第3グループ	B区域	パソコン、Wi-Fiルーターの貸与
第3グループ	B区域	Wifiルーターを無料貸し出し。パソコンを持っていない学生に対しては、学内の売店を通じて購入しやすい価格でパソコンを販売した。
第3グループ	B区域	経済的な事情により遠隔授業を受講できるインターネット環境を整備することが難しい学生を対象にモバイルWi-Fiを無償で貸し出し。
第3グループ	B区域	遠隔授業準備支援金
第3グループ	B区域	・従来より提供していたパソコンの無料貸出サービスを、オンライン講義の実施にあたり活用。
第3グループ	B区域	プリンターを購入した者に対し、費用の一部援助を行った。
第3グループ	B区域	・ネット環境の確保や学修の場を整える等に備えることを目的に、学生・大学院生全員に「緊急支援給付金」として一律50,000円を給付 ・ノートパソコンとモバイルWi-Fiの貸与
第3グループ	B区域	・パソコン機器の貸与 ・全学生一律5万円の支給（秋学期授業料より減免）
第3グループ	B区域	ノートパソコン・Wi-Fiルーターの無償貸与、 緊急給付奨学金支給
第3グループ	B区域	パソコンの無償貸与を行った。 また、遠隔授業を受講する環境整備のために発生した費用を一部助成（遠隔授業導入支援金）した。
第3グループ	B区域	オンライン授業受講に関する学修環境を整える授業受講支援として、自宅のWi-Fi環境が整っていない学生で希望者には無料でポケットWi-Fiを貸与し、更に支援金を1万5千円支給した。ポケットWi-Fiを貸与を受けない学生には支援金を3万円支給した。
第3グループ	B区域	・パソコンの無償貸与 ・「遠隔授業導入支援金」(5万円：給付) 遠隔授業の受講環境整備のために、発生した費用を支援することを目的として、遠隔授業導入支援金の新設。
第3グループ	B区域	オンライン授業環境を整備するための支援金（5万円）を支給。
第3グループ	B区域	インターネット環境が整っていない学生にWi-Fiルーターを貸与、端末がない学生にノートパソコンを貸与した。
第3グループ	B区域	学部・修士に在籍する学生に対して、前期・後期それぞれ一人あたり25,000円を受講環境整備費として支給。
第3グループ	C区域	遠隔授業を受ける環境を整えるための支援として「自宅学修支援金」一律3万円を学生全員に支給した。
第3グループ	C区域	ノートパソコンの貸出
第3グループ	C区域	遠隔授業受講に望ましい機材環境の準備金（ひとりあたり3万円）
第3グループ	C区域	学内の複数の教室に無料で接続できるWi-Fiルーターを設置した。学生はそこで遠隔授業を受講できる。その教室は人数制限をして三密にならないよう配慮している。
第3グループ	C区域	特に経済的に困窮している学生に対し、Wi-Fiルーターの貸与を行った。
第3グループ	C区域	オンライン授業に対応するため、ネット環境が整っていない学生にWi-Fiルーターを貸し出している。
第3グループ	C区域	「遠隔授業を受けるための学修環境の整備、および新型コロナウイルス感染症拡大による経済的影響に対応するための奨学金を、在学生全員に一律50,000円を支給」
第3グループ	C区域	コロナの影響で家計が困窮しており、自宅に通信環境の整わない学生を対象にWi-Fiルーターの貸し出しを行った。
第3グループ	C区域	ノートパソコンの貸与、 通信費の一部補助、 ネットプリント（印刷）対応
第3グループ	C区域	・学内でのパソコンの貸与 ・「学修支援金」を支給（詳細は、設問「8. 令和2年度春学期の困窮学生等支援」で回答）
第3グループ	C区域	パソコンの貸し出し及び、人数を制限しコンピュータ演習室の利用を可能にした。
第3グループ	C区域	全学生へのパソコンの貸与。 環境整備費として全学生に一人当たり5万円支給。
第3グループ	C区域	Wi-Fiルーターの貸し出しを有料にて実施した。 遠隔授業の受講方法や環境構築に関する相談やサポートを行う「ヘルプデスク」を開設した。 収入減少等の学生を対象に100,000円を上限とした無利子貸し付けを実施した。
第3グループ	C区域	Wi-Fiルーターの貸し出しを有料にて実施した。

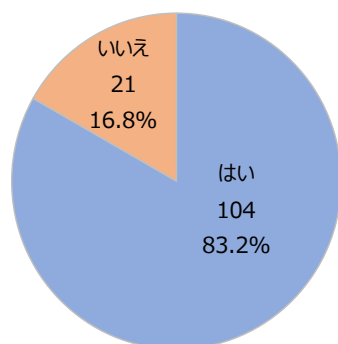
(6) 令和2年度春学期の困窮学生等支援①

- ▶ 春学期に困窮学生等支援があった大学は、83%（104校）。
 - ✓ 大学規模別にみると、規模が大きいほど「はい」の割合が高くなっている。
 - ✓ 大学所在区域別にみると、C区域で「はい」（72%）の割合がやや低い。
- ▶ その104校の支援策（202件）の内容をみると、「新設・給付」支援が件数、人数、総額ともに最も多い。1人あたり支給金額（平均額）をみると、「減免」（285,321.4円）が「給付」（128,315.2円）を上回る。

■ 春学期の困窮学生支援の有無

問8（1）新型コロナウイルス禍の影響により経済的に困窮を来した学部学生・大学院生への大学独自の学費減免、給付奨学金等の支給の有無

【全体】（N=125）（校／%）



●凡例

大学規模別	第1グループ	(N=29)
	第2グループ	(N=41)
	第3グループ	(N=55)
大学所在区域別	A区域	(N=62)
	B区域	(N=31)
	C区域	(N=32)

	はい	いいえ
第1グループ	96.6	3.4
第2グループ	90.2	9.8
第3グループ	70.9	29.1
A区域	87.1	12.9
B区域	87.1	12.9
C区域	71.9	28.1

■ 春学期の困窮学生等支援内容①（新設・既存別の給付・減免人数、金額）

【春学期支援実施大学全体】（N=202）

	給付			減免			合計		
	件数	人数	総額	件数	人数	総額	件数	人数	総額
新設	139件 (93校)	526,337人	23,559,753,660円	24件 (30校)	21,088人	1,172,080,000円	163件 (96校)	547,425人	24,731,833,660円
既存制度拡充	23件 (30校)	2,854人	813,270,460円	16件 (17校)	764人	268,705,750円	39件 (32校)	3,618人	1,081,976,210円
合計	162件 (99校)	529,191人	24,373,024,120円	40件 (32校)	21,852人	1,440,785,750円	202件 (104校)	551,043人	25,813,809,870円
1人あたり 支給金額	平均額	128,315.2円		285,321.4円		156,411.0円			
	メディアン	55,000.0円		245,000.0円		100,000.0円			
	最大額	600,000.0円		800,000.0円		800,000.0円			
	最少額	3,000.0円		50,000.0円		3,000.0円			

■ 春学期の困窮学生等支援内容②（新設・既存別の支給形態〔一律orピンポイント〕件数）

【春学期支援実施大学全体】（N=202）

	一律支給	ピンポイント支給	不明	計
新設	71件	84件	8件	163件
既存制度拡充	1件	37件	1件	39件
合計	72件	121件	9件	202件

※「一律支給」には、通信費補助など申請があれば一律に支給される支援を含んでいる

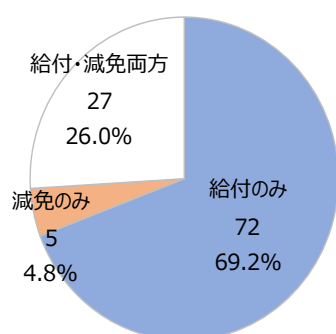
(7) 令和2年度春学期の困窮学生等支援②

- ▶ 春学期の困窮学生等支援の内容は、「給付のみ」(72校/69%)の大学が最も多い。
 - ✓ 大学規模別にみると、規模が大きいほど「給付のみ」の割合が高くなっている。
 - ✓ 大学所在区域別にみると、C区域で「減免のみ」(13%)の割合がやや高い。
- ▶ 新設支援のみ実施した大学でみると、「給付のみ」(57校/79%)が約8割に及ぶ。
 - ✓ 大学規模別にみると、規模が大きいほど「給付のみ」の割合が高くなっている。
 - ✓ 大学所在区域別にみると、C区域で「給付のみ」(87%)の割合が高い。

■ 給付・減免別の大学数割合 (春学期支援実施大学)

問8 (2) 給付・減免別

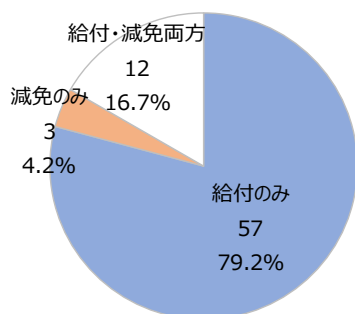
【全体】(N=104) (校/%)



●凡例

			(%)		
			給付のみ	減免のみ	給付・減免両方
大学規模別	第1グループ	(N=28)	75.0	—	25.0
	第2グループ	(N=37)	70.3	2.7	27.0
	第3グループ	(N=39)	64.1	10.3	25.6
大学所在区域別	A区域	(N=54)	70.4	—	29.6
	B区域	(N=27)	66.7	7.4	25.9
	C区域	(N=23)	69.6	13.0	17.4

【新設支援】(N=72) (校/%)

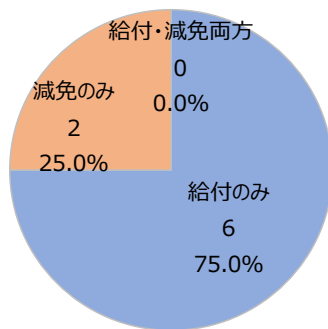


●凡例

			(%)		
			給付のみ	減免のみ	給付・減免両方
大学規模別	第1グループ	(N=17)	94.1	—	5.9
	第2グループ	(N=27)	77.8	3.7	18.5
	第3グループ	(N=28)	71.4	7.1	21.4
大学所在区域別	A区域	(N=39)	76.9	—	23.1
	B区域	(N=18)	77.8	11.1	11.1
	C区域	(N=15)	86.7	6.7	6.7

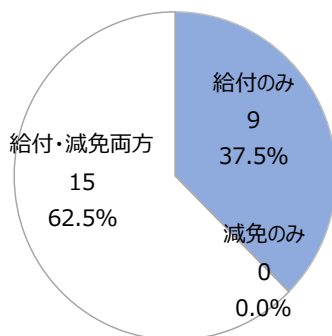
- ▶ 既存制度拡充のみ実施した大学でみると、「給付のみ」（6校／75%）が最も多い。
- ▶ 新設・既存両方の支援を実施した大学でみると、「給付・減免両方」（15校／63%）が最も多い。

【既存制度支援】（N=8）（校／%）



			(%)		
			給付のみ	減免のみ	給付・減免両方
●凡例					
大学規模別	第1グループ	(N=2)	100.0		
	第2グループ	(N=2)	100.0		
	第3グループ	(N=4)	50.0	50.0	
大学所在区域別	A区域	(N=4)	100.0		
	B区域	(N=2)	100.0		
	C区域	(N=2)	0.0	100.0	

【新設・既存両方】（N=24）（校／%）



			(%)		
			給付のみ	減免のみ	給付・減免両方
●凡例					
大学規模別	第1グループ	(N=9)	33.3	66.7	
	第2グループ	(N=8)	37.5	62.5	
	第3グループ	(N=7)	42.9	57.1	
大学所在区域別	A区域	(N=11)	36.4	63.6	
	B区域	(N=7)	28.6	71.4	
	C区域	(N=6)	50.0	50.0	

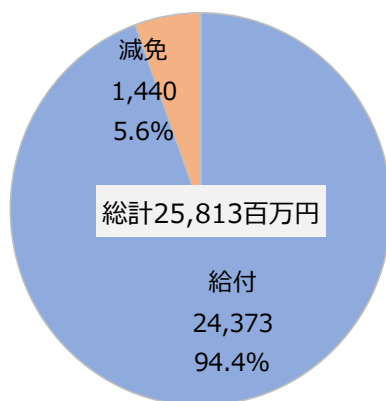
（８）令和2年度春学期の困窮学生等支援③

- ▶ 春学期の困窮学生等支援（202件）の総額は、「給付」が24,373百万円（94%）で「減免」を大幅に上回る。
- ▶ 新設支援（163件）だけでも、「給付」が23,560百万円（95%）で「減免」を上回る。
- ▶ 既存制度拡充による支給（39件）だけでも、「給付」が813百万円（75%）、「減免」が268百万円（25%）で「減免」を上回る。

■ 給付・減免総額の割合（春学期支援実施大学）

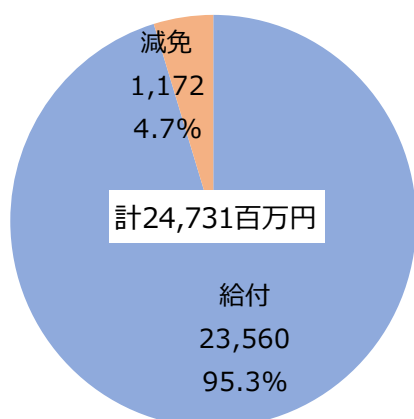
問8（2）給付・減免額計

【春学期支援実施大学全体】（N=202） （百万円／％）



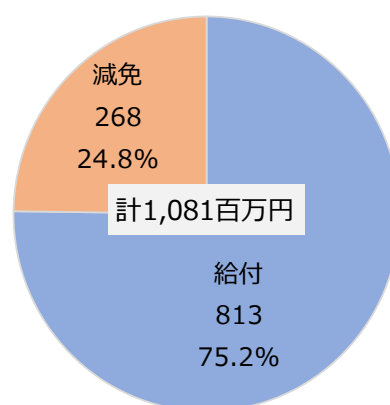
【新設支援】（N=163）

（百万円／％）



【既存制度支援】（N=39）

（百万円／％）



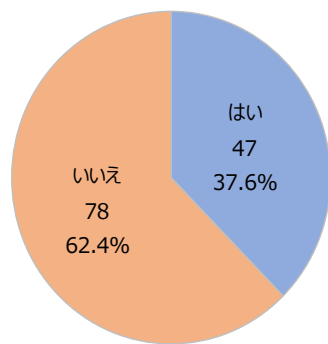
(9) 令和2年度秋学期以降の追加の困窮学生等支援①

- ▶ 秋学期に困窮学生等支援策を追加で創設する大学は、4割程度（47校／38％）。
 - ✓ 大学規模別にみると、規模が大きいほど「はい」の割合が高くなっており、第1グループでは5割を超える。
 - ✓ 大学所在区域別にみると、A区域で「はい」（48％）の割合が高い。
- ▶ その47校の支援策（71件）の内容をみると、「給付」支援が件数、人数、予算額ともに「減免」を上回る。1人あたり支給金額（平均額）をみると、「減免」（278,250.0円）が「給付」（217,852.8円）を上回る。

■ 秋学期以降の追加困窮学生支援の有無

問9（1）新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、今後（令和2年度秋学期以降）に向けて新たな支援制度等を創設しますか？

【全体】（N=125）（校／％）



● 凡例

			はい	いいえ
大学規模別	第1グループ	(N=29)	51.7	48.3
	第2グループ	(N=41)	43.9	56.1
	第3グループ	(N=55)	25.5	74.5
大学所在区域別	A区域	(N=62)	48.4	51.6
	B区域	(N=31)	32.3	67.7
	C区域	(N=32)	21.9	78.1

■ 秋学期以降の追加の困窮学生等支援内容①（給付・減免人数、金額）

【秋学期追加支援実施大学全体】（N=71）

		給付			減免			合計		
		件数	人数	予算額	件数	人数	予算額	件数	人数	予算額
合計		54件 (37校)	103,614人	4,274,178,850円	17件 (14校)	12,135人	764,083,800円	71件 (47校)	115,749人	5,038,262,650円
1人あたり 支給金額	平均額	217,852.8円			278,250.0円			229,734.2円		
	メディアン	200,000.0円			300,000.0円			200,000.0円		
	最大額	550,000.0円			425,000.0円			550,000.0円		
	最少額	2,000.0円			40,000.0円			2,000.0円		

■ 秋学期以降の追加の困窮学生等支援内容②（支給形態〔一律orピンポイント〕件数）

【秋学期追加支援実施大学全体】（N=71）

	一律支給	ピンポイント支給	不明	計
合計	13件	57件	1件	71件

※「一律支給」には、通信費補助など申請があれば一律に支給される支援を含んでいる

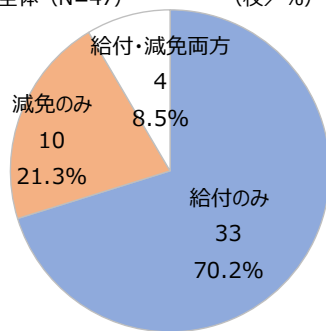
(10) 令和2年度秋学期以降の追加の困窮学生等支援②

- ▶ 秋学期以降の追加の困窮学生等支援の内容は、「給付のみ」(33校／70%)の大学が最も多い。
 - ✓ 大学規模別にみると、第1グループで「給付のみ」(87%)の割合が高い。
 - ✓ 大学所在区域別にみると、B区域で「減免のみ」(30%)の割合がやや高い。
- ▶ 秋学期以降の追加の困窮学生等支援(71件)の予算額は、「給付」が4,274百万円(85%)で「減免」(764百万円)を上回る。

■ 給付・減免の大学数割合(秋学期以降追加支援実施大学)

問9(2) 給付・減免別

全体(N=47) (校／%)



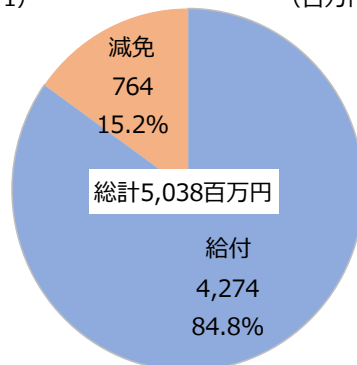
			(%)		
			給付のみ	減免のみ	給付・減免両方
大学規模別	第1グループ	(N=15)	86.7	13.3	
	第2グループ	(N=18)	55.6	33.3	11.1
	第3グループ	(N=14)	71.4	14.3	14.3
大学所在区域別	A区域	(N=30)	70.0	20.0	10.0
	B区域	(N=10)	70.0	30.0	
	C区域	(N=7)	71.4	14.3	14.3

■ 給付・減免予算額割合(秋学期以降追加支援実施大学)

問9(2) 予算額計

全体(N=71)

(百万円／%)



(11) 留学生への成績基準の適用

- ▶ 留学生への支援について、「成績基準を適用した」（53校／42％）と「大学で総合的に判断した」（48校／38％）の割合に大きな差はない。

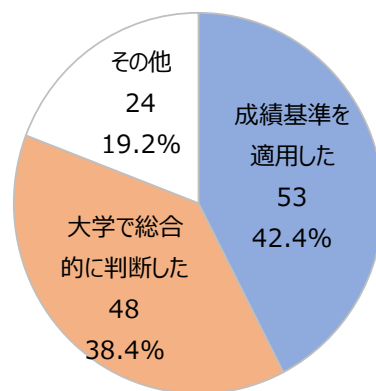
- ✓ 大学規模別にみると、第1グループで「大学で総合的に判断した」（59％）の割合が高い。
- ✓ 大学所在区域別にみると、C区域で「大学で総合的に判断した」（47％）の割合が高い。

■ 留学生への成績基準の適用

問10. 国の学生支援緊急給付金は、外国人留学生については原則として「成績基準」による審査が求められましたが、貴大学ではどのように対応されましたか？

全体（N=125）

（校／％）



(%)

● 凡例

			成績基準を適用した	大学で総合的に判断した	その他
大学規模別	第1グループ	(N=29)	24.1	58.6	17.2
	第2グループ	(N=41)	58.5	34.1	7.3
	第3グループ	(N=55)	41.8	29.1	29.1
大学所在区域別	A区域	(N=62)	50.0	35.5	14.5
	B区域	(N=31)	41.9	32.3	25.8
	C区域	(N=32)	31.3	46.9	21.9

(12) 学費（授業料・施設設備費等）の減額・返金等の措置

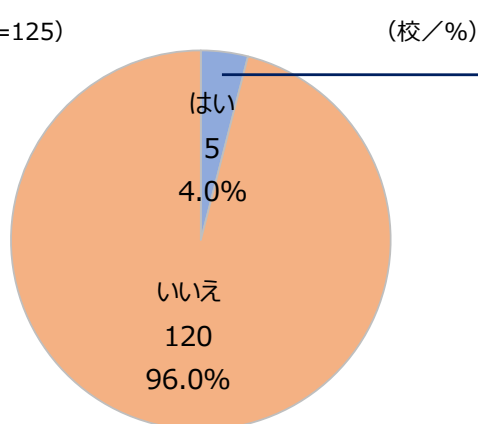
- ▶ 講義をオンラインで実施した等の理由による学費の減額・返金等の措置は、ほとんどの大学で実施していない（「いいえ」：120校／96％）。

- ✓ 大学規模別や大学所在区域別による差はみられなかった。
- ✓ 「はい」の自由記述の内容をみると、「スクールバス維持費の春学期分を秋学期分へ振替え」「施設拡充費 5万円減額」などであった。

■ 学費の一部減額、返金などの措置の有無

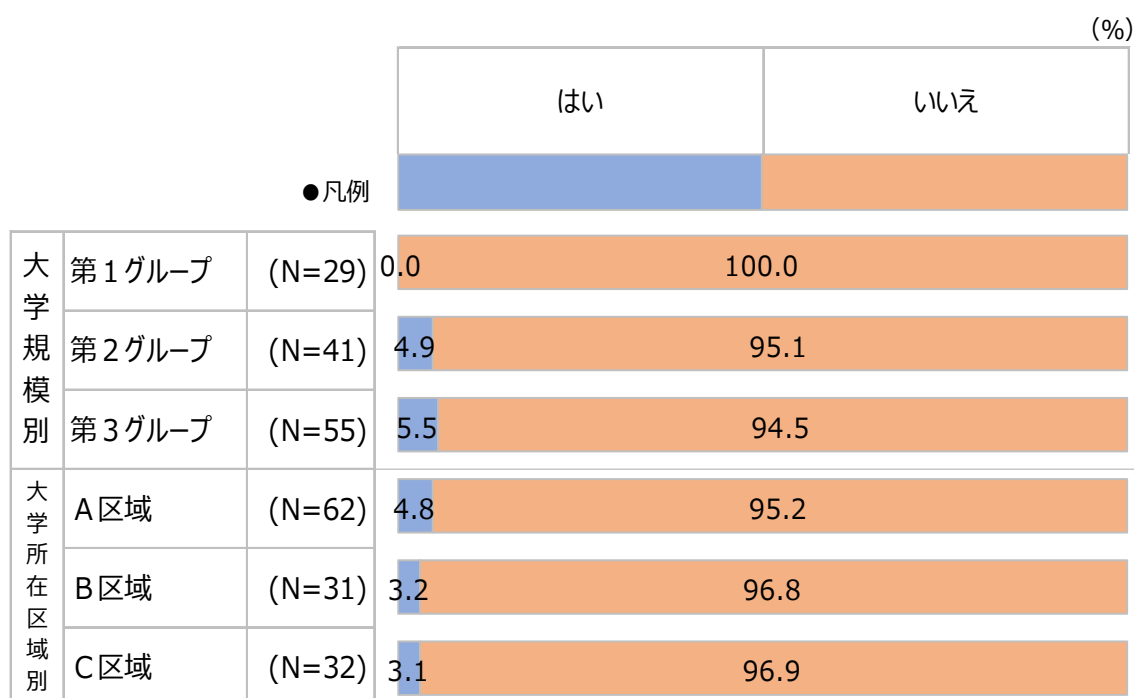
問11（1）ほぼすべての講義（授業）をオンライン（遠隔）で実施した等の理由により、貴大学では、授業料や施設設備費の一部を減額、あるいは返金するなどの措置をとられましたか？

全体（N=125）



＜「はい」の自由記述内容＞

- ・スクールバス維持費の春学期分を秋学期分へ振替え
- ・施設拡充費 5万円減額
- ・実験実習費の4割減免措置を講じた
- ・2020年前期在籍している学生に対し、5万円を後期学費から相殺する形で給付
- ・オンライン授業開始に伴う準備、授業に必要な文献等の購入に充てるため、2020年5月1日現在在籍学生全員に対し、1人あたり一律5万円を支給



【付 録】

令和2年度奨学金等調査（令和元年度実績）実施要項

一般社団法人日本私立大学連盟
学生委員会 奨学金等分科会

I 調査実施の目的

この調査は、加盟大学における奨学金等制度の実態、日本学生支援機構の奨学金受給状況を把握し、加盟各大学の学生経済援助施策の企画・立案に資するとともに、当連盟の各種事業活動に役立てることを目的として実施します。ご協力をよろしくお願いします。

II 調査内容

データ設問

【日本奨学金等制度に関する調査】

・各大学における学内奨学金等制度による奨学金等の令和元年度の支給実績について調査するものです。なお、特待生制度を含む授業料等の減免制度も調査対象となります。

【日本学生支援機構奨学金に関する調査】

・各大学における令和元年度日本学生支援機構奨学金新規採用実績及び日本学生支援機構奨学生総件数（新規及び継続合計）について調査するものです。

テーマ設問

【新型コロナウイルス禍における学生経済援助等に関するアンケート】

・令和2年度の新型コロナウイルス禍における、貴大学のとられた対応・対策（主に学生への経済的援助）について調査するものです。

III 実施期間

令和2年11月6日（金）～12月11日（金）

IV 問い合わせ

【この調査に関する問い合わせ】

一般社団法人日本私立大学連盟 教学支援課（佐藤（諒）、萩原、船渡、尾崎、相坂）

電話：03-3262-3603（直通） メール：kyogaku@shidaiaren.or.jp

【調査回答用webサイト（ログイン後）の動作に関する問い合わせ】

株式会社WAVE（企画室：櫻井）

電話：03-6226-6151 メール：shogaku@wave1td.co.jp

V ご回答ご提出後の確認について

ご回答後、調査票について不明な点がございましたら、株式会社WAVEの担当者より確認のご連絡をさせていただきます。

【目次】

【共通】 回答方法	2
【共通】 調査結果の公表について	2
【データ設問】 記入要項	3
【データ設問】 用語の定義等	5
【データ設問】 調査票入力項目について	6
I 学内奨学金等制度に関する調査	6
II 日本学生支援機構奨学金に関する調査	10
【テーマ設問】 記入要項	15
【テーマ設問】 調査票入力項目について	15

【共通】 回答方法

調査は、下記 URL にアクセスの上、各大学用回答エクセルファイルをダウンロードしてご回答いただきます。

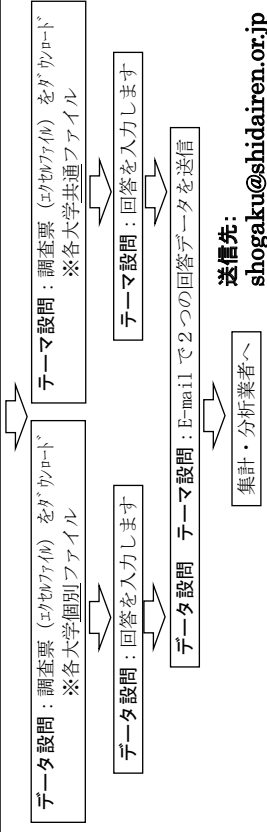
<https://www.wave1td.co.jp/shidaiaren/shogakukin/index.cgi>

【調査票ダウンロードの留意点】

- ・エクセルファイルのダウンロードは、令和2年11月6日（金）から可能となります。
- ・1大学1回答のみ有効となります。
- ・奨学金部門責任者あるいはそれに準ずる方がご回答ください。
- ・ご回答に際しては、大学ごとのID並びにパスワードが必要となります。貴大学のID並びにパスワードは、会員代表者宛に通知しております。

【回答までの流れ】

調査回答用 web ページ (<https://www.wave1td.co.jp/shidaiaren/shogakukin/index.cgi>)



【調査票提出時の留意点】

- ・入力終了後、提出先メールアドレスに2つのデータを添付し送信してください。

送信先：shogaku@shidaiaren.or.jp

【データ設問】

- ・回答責任者、記入担当者（問合せ先）を各1名入力してください。また、メールアドレスは個人のメールアドレスではなく、共通部署のメールアドレスを入力してください。
- ・ダウンロード時のデータファイル名を変更せず送信してください。

ファイル名：[R02shogakukin_dataXXX (3桁の数字) .xlsx] ※調査回答票ダウンロード時と同じ。

【テーマ設問】

- ・ダウンロード時のデータファイル名に大学名を記載して送信してください。

ファイル名：[R02covid-19_〇〇大学（大学名）.xlsx]

※パスワードを付して送信される場合は、別途パスワードを連絡してください。

【共通】 調査結果の公表について

調査結果は、調査対象125大学の全体集計等を「令和2年度奨学金等分科会報告書」とりまとめ、私大連 web サイトで公表します。

基礎データである個別大学のデータは、加盟大学間での情報共有および各大学での制度運用の参考にしていただくことを目的として、私大連 web サイト「データライブラリー」で、加盟大学教職員の皆様にのみ公表します。当連盟が個別大学の数値を加盟大学以外に公表することはありません。（過去の調査結果も「データライブラリー」に掲載しています。ただし、「データライブラリー」へアクセスするには、予め利用申請が必要です。）

【データ設問】記入要項

各調査票の記入方法、回答にあたってのお願いなどをまとめていますので、回答前にご一読いただき、その上で各調査票にご回答ください。

1. データ設問調査票共通事項

(1) 調査票（エクセルファイル）の種類（5種類）

《エクセルファイル内のシート》

- ・令和2年度奨学金等調査 事務連絡者名簿
- ・I ①学内奨学金等制度（学部学生）
- ・I ②学内奨学金等制度（大学院学生）
- ・I ③学内給費奨学金等制度（受入れ留学生）
- ・II 日本学生支援機構奨学金に関する調査

※前回（令和元年度）調査にご回答いただいた大学様へ

エクセルファイル内のシートには令和元年度調査のデータ（平成30年度実績）が入力されていますので、本年度（令和元年度実績）の情報に修正してください。

※今初めてご回答いただく大学様へ

令和元年度調査のデータ（平成30年度実績）がありませんので、本年度（令和元年度実績）の情報を新たに入力してください。

※調査票のダウンロード、提出に関しては2頁の「【共通】回答方法」をご確認ください。

(2) 調査回答上の留意点

○**入力単位：**「千円単位」。千円未満は四捨五入せず、切り捨てて回答してください。

（例）150,500円は百円の位を切り捨て「150」[千円]となります。

○**シート保護・解除：**シート保護のパスワードを設定しています。以下の場合には事務局までご連絡ください。

（例）入力すべきところに入力できない場合／入力シートが2ページ以上必要な場合／等

○**昨年度回答の修正：**対象制度の記入漏れ、制度変更（名称変更、制度の廃止等）などがある場合は、本年度回答で修正してください。昨年度の回答を修正した場合は、提出時に該当箇所をご連絡ください。

○調査対象期間

・支給額が年度をまたがる場合は、調査対象年度（＝昨年度）の4/1～3/31に支払った実支給額を入力してください。

・学内奨学金の支給期間は、調査対象年度に限定せず、支給期間を回答してください。また調査対象年度に募集を行った学内奨学金で支給年度が本年度になる場合は、来年度の回答になります。

・同一の制度で支給期間が異なる場合は支給期間ごとに行を分けて回答してください。

○調査対象

・**調査の対象になるのは、正規学生に対する給費あるいは貸与の奨学金等です。**

・正規学生を調査対象とし、実際に入学した学生を対象にします。特待生制度の対象学生、通信課程の奨学金受給者を含みます。

・短期留学生、留学生別科生、科目等履修生は含めないでください。また、正規学生ではあるが在留資格が「留学」以外の者、学部を卒業した学生が入学する「専攻科」の学生、短期大学の学生は含めないでください。

・授業料減免制度の対象学生について、休学により授業料が減免になっている（奨学金ではない）学生の実績は含めません。

○支給実績

・奨学生のうち、支給後、返還を行った学生がいる場合の支給実績額は、「支給額」ではなく「実績額」を入力してください。調査対象年に対象学生が退学し、奨学金の返金が発生した場合でも、実績に基づき調査対象年度の回答に含めてください。

・同一の制度で支給額が2種類（例えば60万と30万）ある場合は、まとめて回答してください。

・調査対象年度（前年度）の成績優秀者に給付している奨学金で、実質、調査実施年度（本年度）予算で支払って回答できない場合、前年度の支給実績で回答してください。次年度以降も同様の対応をお願いします。

・寮費減免制度の中で、減免する学生と、一定金額を支給する学生がいる場合は、区分を「給費」と「減免」に行を分けて回答してください。

○支給人数

・Iセメスターごとに継続審査があり、支給者の入替えが発生する場合の「支給期間」と、この場合の「人数」について、この調査では「制度上の期間」に関する設問項目であることから、「1セメスター」を支給期間とし、人数は「延べ人数」を回答してください。

・学内奨学金で半期ごとに支給される場合は、一度採用されて、半期ごとに支払う奨学金なら「1人」でカウントしてください。

○回数

・奨励費など一時金を支給する制度等は1件につき1回と回答してください。また、スポーツなどで優秀な成績をおさめた学生に対し、年間を通じて春・秋に表彰する場合は、「期間」に該当しないため、「1回」、人数は延べ人数で回答してください。

○制度上の区分

・卒業優秀者に対して授業料を減免する特待生制度は調査対象に含めて回答してください。

・学部のデュアル・ディグリー制度において「海外入学への留学のために助成する資金」について、学内で奨学金として位置付けている場合は含め、位置付けていない場合は含めないでください。

・卒業生団体が支給する奨学金は、学校法人の会計を通さない場合は学外奨学金となるため、含めないでください。

・団体を対象とした奨学金（例えば、クラブ活動やサークル等課外活動を対象とした奨学金）は、調査回答に含めないでください。ただし、課外活動等に関し、個人に支給している奨学金は対象となります。

【学内奨学金等制度】

「学内奨学金等」とは、①学校法人の会計を通して（原資が学校法人の会計に計上されているもの）、②正規学生（在学生）に給費あるいは貸与される奨学金です。③制度上減額される授業料等の減免も含みます。なお、「奨学金」という名称でなくとも定義に当てはまる場合は回答に含めてください。

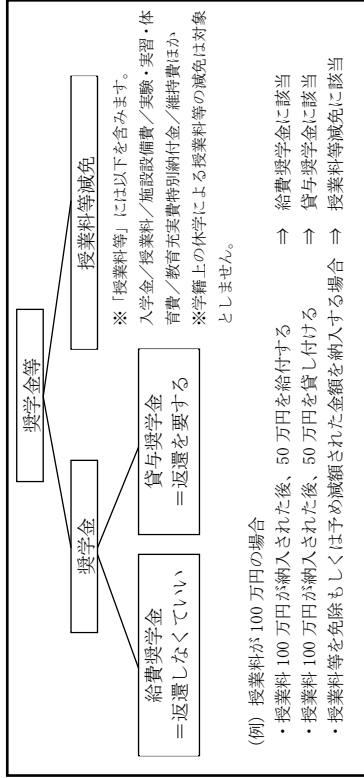
＜原資等に関連して＞

- ・学内奨学金は、奨学金の運用により生ずる収入であるかどうかを問いません。いわゆる経常費収入を原資とするものを含みます。学校法人の会計を通ずるものであることが条件です。
- ・学内奨学金には、篤志家が学校法人に指定寄付を行った基金を原資とするいわゆる「冠」奨学金を含みます。その基金を永続的に維持するかどうかは問いません。
- ・校友会等や教育後援会等からの寄付金収入を原資とする奨学金も含みます。
- ・教育ローン等で原資が学校法人以外の金融機関等であるものは含みません。
- ・教育ローンの利子補給を奨学金として行うものは、利子部分のみを学内奨学金としてください。
- ・学校法人の会計を通るものでも、一時預り金等、それが真に一時的・名目的なものであつてすぐに奨学金に支払うものである場合には、学内奨学金等には含みません（例えば財団などの奨学金で一旦大学が収納して、改めて奨学生に支払うケースがこれに該当します）。

【給費（給付・給与）奨学金、貸与（貸費）奨学金、授業料等減免】

給費（給付・給与）奨学金は、実質的に奨学金制度として機能しており、資金を貸付制度でないもの（返還しなくともいいもの）とします。

貸与（貸費）奨学金は、実質的に奨学金制度として機能しているが、資金を貸付制度である（返還する必要がある）ものとします。



【授業料等減免制度に該当する奨学金の例】

- ・特待生制度の対象学生に対する減免制度に基づく奨学金
- ・授業料等の減免には「学費等の免除」も含まれます。
- ・休学者に対して発生する在籍料について行っている減免は、奨学金としての減免でなければ含めない。ただし、休学者に対する授業料の一部を給付することは奨学金に該当します。
- ・系列の高校から入学してくる学生に対して、入学金の免除と授業料の減免を行っている場合、定義にあてはまる制度の場合には含めます。
- ・文部科学省の私費留学生の授業料減免は調査対象となりますので、回答に含めてください。

I 学内奨学金等制度に関する調査

●この調査は、貴大学における学内奨学金等制度による奨学金等の令和元年度の支給実績について調査するものです。なお、特待生制度を含む**授業料減免制度、学費免除制度**も調査対象となります。

＜回答上の留意点＞

- ・学内奨学金について、学部学生・大学院学生・留学生それぞれ対象のものがある場合、学部学生と大学院生の欄に留学生の数も含めて入力してください。実績が留学生しかない場合でも、回答調査票には実績を入力してください。支給対象が留学生のみの制度については、受入留学生の調査票③に入力します。
- ・調査回答表の右欄に「一人当たりの実績額」を算出する列がありますが、入力内容を確認するためのものです。参考にしてください。

1. 「①学内奨学金等制度（学部学生）－令和元年度実績－」及び「②学内奨学金等制度（大学院学生）－令和元年度実績－」について

(1) 「名称」

当該奨学金等制度の名称（正式名称がない場合には、学内で学生に周知している名称）を入力してください。

※1 当該奨学金等制度が同一の名称で給費・貸与の両方を含んでいるときには、「〇〇奨学金（給費）」、「〇〇奨学金（貸与）」として、分けて入力してください。（【記入例1】参照）

【記入例1】

I 学内奨学金等制度に関する調査

① 学内奨学金等制度（学部学生）－****年度実績－

大学名		〇〇〇大学		(金額単位:千円)	
****年度支給実績					
学内奨学金等制度					
名 称	継続状況	分類 (A～F)	奨学金 の種類	支給実績 (給費・貸与)	
				給 費	貸 与
人数	年間給付額 (給費・貸与)	人数	年間貸付額 (貸与)	人数	年間減免額
1 〇〇大学奨学金(給費)	継続	A	〇	100 80,000千円	
2 〇〇大学奨学金(貸与)	継続	A	×	100 7,000千円	
3 〇〇大学兼奨励奨学金	新設	C	×		10 9,600千円

※2 大学院学生に対する当該奨学金等制度において、支給対象となる課程が二つ以上あるときには、同一の名称で支給対象となる課程ごとに分けて入力してください。（【記入例2】参照）

【記入例2】

I 学内奨学金等制度に関する調査

② 学内奨学金等制度（大学院学生）－****年度実績－

学内奨学金等制度				****年度支給実績				大学名		(金額単位:千円)	
名 称	継続状況	支給対象 (学部・専攻)	分類 (A・B)	募集の有無	支給期間 (給費・貸与)		貸 与	減 免	〇〇〇大学		
					人数	年間給付額					
1 大学院給付奨学金	継続	法科大学院	C	○	2学期(国文学研究科)	5	5,000千円	5	5,000千円		
2 大学院給付奨学金	新設	文学部国文学研究科	C	○	2学期	5	5,000千円	5	5,000千円		
3 大学院給付奨学金	継続	経済学部経済学	C	○	2学期	5	3,000千円	5	3,000千円		
4 大学院給付奨学金	継続	博士前期課程	C	○	2学期	5	3,000千円	5	3,000千円		
5 大学院給付奨学金	継続	博士(医学)専攻	C	○	2学期	5	3,000千円	5	3,000千円		

(3) 「支給対象」

当該奨学金等制度の支給対象が学部学生の場合は「学部学生」、大学院学生の場合は「大学院学生」をプルダウンメニューより選択してください。

(4) 「分類 (1)」

分類 I をプルダウンメニューより選択してください。

【学内奨学金等制度分類表 (受入れ留学生)】 (※拡大版は、13頁をご参照ください。)

学内奨学金等制度分類表 (受入れ留学生)		【別表2】	
分類		支給	補足
1	受入れ留学生に関する奨学金等	受入れ留学生を対象とする奨学金等 (入学奨学金等、入学補助、授業料減免等を含む)	

- 【注】
1. 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料減免を含みます。
 2. 受入れ留学生に支給される奨学金等には、授業料減免が制度区分からこの奨学金に当て、一律支給・授業料減免とするもの(第3号)と、授業料減免が制度区分からこの奨学金に当て、一律支給・授業料減免とするもの(第4号)とがあります。
 3. 賞状や記念品などのように、明確な金額が規定しないものは除きます。商品券や図書券のように、換算する金額が明確なものには、奨学金として取り扱いいます。

(5) 「基金の有無」

当該奨学金等の原資の全部あるいは一部が、奨学基金 (第3号基本金引当資産) の果実である場合は「○」、そうでない場合には「×」をプルダウンメニューより選択してください。

(6) 「支給期間」

当該奨学金等制度によって給費される期間 (減免の場合は減免期間) を入力してください。たとえば、「○年間」「最短修業年限」「2年間または3年間」などを入力してください。

※ 各種奨励賞のような性格で奨励金として一時金を支給する制度等については、「1回」と入力してください。

(7) 「令和元年度支給実績」

当該奨学金等制度が給費制度であれば「令和元年度支給実績」の「給費」欄の「人数」及び「年間給費額」に、減免制度であれば「減免」欄の「人数」及び「年間減免額」に令和元年度実績を入力してください。

※1 制度は存在するが、令和元年度に支給実績がない場合は「学内奨学金等制度」の各欄に入力の上、当該奨学金等制度が給費制度であれば「給費」、減免制度であれば「減免」の各欄に「0」と入力してください。

※2 「令和元年度支給実績」の「年間給費額」、「年間減免額」の金額は、令和元年度 (令和元年4月から令和2年3月) に支払った「人数」全員への実支給総額 (令和元年度決算額、単位：千円) を入力してください (予算額ではありません)。

II 日本学生支援機構奨学金に関する調査

この調査は、貴大学における令和元年度日本学生支援機構奨学金新規採用実績および日本学生支援機構奨学生総件数 (新規および継続合計) について調査するものです。

- ・編入学生は、「定期の在学採用」となります。予約採用ではありません。
- ・予約採用後、取り消した場合でも人数に含めて回答してください。
- ・新規採用された後、一度奨学金を受け取った後で辞退した場合でも、採用件数としてカウントしてください。
- ・日本学生支援機構の奨学金に一度採用になった後、辞退や取消になった場合でも、カウントしてください。

※いずれも、採用実績がない場合でも、制度がある場合は「0」と回答してください。

1. 「①令和元年度新規採用実績」について

【学部】

(1) 第一種「定期 (予約採用)」、第二種「定期 (予約採用)」

新規採用件数を外数で入力してください。

(2) 第一種「定期 (在学採用)」、第二種「定期 (在学採用)」 ※追加・臨時採用含む

新規採用件数を入力してください。なお、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。

(3) 第一種「定期外 (緊急採用)」、第二種「定期外 (緊急採用)」

新規採用件数を入力してください。

(4) 「 (入学時特別増額)」

第一種、第二種の新規採用件数のうち、入学時特別増額貸与奨学金制度の増額採用となった件数を合算して入力してください。

(5) 「小計①」「小計②」「総件数 (①+②)」

入力の必要はありません。

(6) 「①のうち、所得連動返還方式」

第1種の「小計①」のうち、所得連動返還方式の採用数を入力してください。なお、所得連動返還方式の採用件数はスカラネットACの「申込・推薦データの処理、異動願 (届) 等」→採用データの取り込み→個人番号提出状況データ」で確認できるデータ数と同じ数字となります。

1. スカラネットACにアクセス。 <https://www.sas.jasso.go.jp/ac/>
2. 「奨学生一覧の確認」を押す

3. 以下の項目を設定

- ・返還方式:「2所停連動」
- ・採用年月:「201904～202003」
- ・学種状態:「奨学金振込中」「保留中」「休・停止中」にチェック。

4. 「④奨学生総件数（新規及び継続合計）（令和2年3月1日現在）」について

(1) 「学部」の「総件数」

第一種、第二種、給付型とにも、令和2年3月1日現在での奨学生総件数を入力してください。なお、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。

(2) 「大学院（課程別総件数）」

第一種、第二種とにも、令和2年3月1日現在での奨学生総件数を課程別に入力してください。なお、博士前期課程は「修士課程（専門職大学院を除く）」欄に入力してください。また、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。

(3) 「計」及び「合計」

入力が必要はありません。

【大学院】

- (1) 第一種「定期」、第二種「定期」 ※追加・臨時採用含む
「定期（予約採用）」新規採用件数と「定期（在学採用）」新規採用件数を合算して課程別に入力してください。なお、博士前期課程は「修士課程（専門職大学院を除く）」欄に入力してください。また、第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。

- (2) 第一種「定期外（緊急採用）」、第二種「定期外（応急採用）」
新規採用件数を課程別に入力してください。

(3) 「（入学時特別増額）」

第一種、第二種の新規採用件数のうち、入学時特別増額貸与奨学金制度の増額採用となった件数を課程別に合算して、入力してください。

- (4) 「小計①」「小計②」「総件数（①+②）」「合計」

入力が必要ありません。

2. 「②令和元年度『第二種奨学金（短期留学）』新規採用実績」について

(1) 「計」

令和元年度の「第二種奨学金（短期留学）」の新規採用総件数を入力してください。

※ 国内の大学等在学中に、外国の短期大学・大学・大学院に留学をするために奨学金を希望する人を対象とした「第二種奨学金（短期留学）」です。

国内の大学・高校を卒業後、諸外国の大学・大学院へ学位取得を目的とする留学のための奨学金を希望する人を対象とした「第二種奨学金（海外）」ではありません。

3. 「③令和元年度「給付型奨学金」新規採用実績」について

(1) 「計」

令和元年度の「給付型奨学金」の新規採用総件数を入力してください。

学内奨学金等制度分類表(学部学生・大学院学生)

区分	分類	定義	補足
奨学型	A	経済的理由により修学困難な学生を対象とする奨学金等(もっぱら学費に充てることを前提としたものであるが、教育ローンにかかる利子を補助するものや入学時貸与奨学金、家賃補助等を含む)	奨学生の選考にあたり、経済的要因を学業成績に優先して選考する奨学金
	A'	経済支援のための奨学金等【うち予約採用制度の奨学金】	分類Aのうち、入学手続き前の予約採用制度を取る奨学金等
	B	家計急変や災害援助等のための奨学金等	家計急変を主たる事由として奨学生を選考する奨学金等
	B'	家計急変や災害援助等のための奨学金等【うち自然災害等の被災者への対応】	※東日本大震災、福島第一原子力発電所事故への対応を含む ※上記「B」には含めず「B'」として回答ください。
育英型	C	学業成績優秀者を対象とした奨学金等	奨学生の選考にあたり、学業成績を経済的要因に優先して選考する奨学金等
	D	入試成績の優秀者を対象とした奨学金等	奨学生の選考にあたり、入学試験成績を他の要件に優先して選考する奨学金等
	E	特定の試験・研修の受検・受講者を対象とする奨学金や、学術実習・教育研究奨励を目的とする奨学金等	特定試験の受検を条件とする奨学金、または学業面で特に優れた成果をあげ学内外で表彰等を受けたことを選考の要件とする奨学金等
	F	スポーツ・文化・ボランティア活動の優秀者を対象とした奨学金等	スポーツ、文化、ボランティア活動等において顕著な成果をあげ、または貢献したことを、選考条件とする奨学金等
	G	派遣留学生に関する奨学金等	留学生として派遣されることを要件とする奨学金等
その他	H	その他の奨学金等	上記区分の「奨学型」と「育英型」のどちらにも該当しない奨学金等

- 【注】
- 経済支援のための奨学金等のうち、予約採用制度によるものについては、「A」には含めず「A'」として回答してください。
 - 家計急変や災害援助等のための奨学金等のうち、自然災害等の被災者への対応については、「B」には含めず「B'」として回答してください。
 - 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
 - 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外してください。
(例: 留年した学生に対して一律支給等するもの。当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
 - 奨学金や減免制度といった名称、支給業務の取扱部署、支給根拠規程等にかかわらず、表彰(制度等)による報奨金並びに商品券や図書券のように給費する金額が明確なものは奨学金として取り扱います(賞状や記念品等のように、明確な金額が確定しないものは除く)。

学内奨学金等制度分類表(受入れ留学生)

【別表2】

分類	定義	補足
I	受入れ留学生に関する奨学金等(入学金免除や奨励金、家賃補助、授業料減免等を含む)	

- 【注】
- 分類欄にある「奨学金等」には、奨学金および授業料等減免を含みます。
 - 学生本人等の申請の必要がなく、かつ選考・審査等も行われないものについては除外してください。
(例: 留年した学生に対して一律支給等するもの。当該大学または附属高校等からの進学者に対して一律支給・授業料等減免するもの等)
 - 賞状や記念品などのように、明確な金額が確定しないものは除外する。商品券や図書券のように、給費する金額が明確なものは、奨学金として取り扱います。

調査票記入例

I 学内奨学金等制度に関する調査

① 学内奨学金等制度(学部学生)－****年度実績－

大学名						〇〇〇大学		申請時の必要書類		選考過程で求める場合があるその他の書類					
(金額単位: 千円)															
学内奨学金等制度					****年度支給実績					分類B'の記録(家計急変や災害援助等のための奨学金【B'うち自然災害等の被災者への対応】)					
名 称	継続状況	分類(A~H)	基金の有無	支給期間(給費・貸与)	給 費			貸 与		減 免	被災状況	奨学金等給付金額の割合	提出資料	添付書類	
					人数	年間給費額	人数	年間貸与額	人数						年間減免額
1 〇〇大学奨学金(給費)	継続	A	○	1年間	100	80,000千円									
2 〇〇大学奨学金(貸与)	継続	A	×	1年間				100	7,000千円						
3 〇〇大学学業奨励奨学金	新設	C	×	1年間						10	9,600千円				
4 〇〇大学東日本大震災特別奨学金	新設	B'	×	1年間	5	5,000千円						家屋の全壊	授業料全額	申請書、申請票、家計状況資料、使途の経過報告書、振込口座届、父および母の所得証明書	罹災証明書(原本)
5 〇〇大学災害被災者支援特別奨学金	新設	B'	×	1年間	10	3,000千円						大規模地震、台風等の豪雨による家屋の一部損壊、家屋の床上、床下浸水等	授業料の50%の範囲内	申請書、申請票、家計状況資料、使途の経過報告書、振込口座届、父および母の所得証明書	罹災証明書(原本)、罹災証明書で認められた家屋修繕の領収書(コピー可)
6 〇〇大学入試特別措置	新設	B'	×	1回						5	1,000千円	福島第一原発事故のため避難区域に指定	入学金全額		
7															
8															
9															
10															

一つの奨学金等制度に対して、数ある被災状況が重複する場合には、被災状況ごとに分けて入力してください。

「被災状況」欄について
罹災人(家計支持者)の死亡等
家屋(住家、住居)の全壊(焼)、大規模半壊
家屋(住家、住居)の半壊(焼)
家屋(住家、住居)の一部損壊
大規模震災、台風等の豪雨で被災し、かつ家計が重篤な福島第一原発事故のため避難区域に指定等、対象となる被災状況を記入ください。

145															
146															
147															
148															
149															
150															

【テーマ設問】記入要項

調査票の記入方法、回答にあたってのお願いなどをまとめていますので、回答前にご一読いただき、その上で各調査票にご回答ください。

- (1) 調査票（エクセルファイル）の種類（1種類）
《エクセルファイル内のシート》
 - ・新型コロナウイルス禍における学生経済援助等に関するアンケート※調査票のダウンロード、提出に関しては、2頁の「【共通】回答方法」をご確認ください。
- (2) 調査回答上の留意点
○入力単位： 「円単位」。
○シート保護・解除： シート保護のパスワードを設定しています。以下の場合には事務局までご連絡ください。
(例) ・入力すべきところに入力できない場合
・8. (2) 及び9. (2) の回答にあたり、行が足りない場合 等
○必須項目： 回答いただきたい必須項目については、未入力の場合、セルの色が変化するように設定してあります。回答の際にご確認ください。

【テーマ設問】調査票入力項目について

I 新型コロナウイルス禍における学生経済援助等に関するアンケート

●このアンケートは、令和2年度の新型コロナウイルス禍における、貴大学のとられた対応・対策（主に学生への経済的援助）についてお伺いし、加盟大学で情報を共有し、今後の諸施策を検討される際の参考として役立てていただきたく、今年度の「奨学金等調査」にあわせて実施するものです。ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、回答については集計を行い、報告書に掲載するとともに、当連盟 web サイトにおいて公表します。個別大学の回答については、同サイトの加盟大学専用ページ内にある「データライブラリー」にのみ掲載します。回答者名、メールアドレス、電話番号等の取扱いについては当連盟の「個人情報保護方針」に沿って適切に行います。

1. メールアドレス

問い合わせ先メールアドレスを入力してください。

2. 大学名

大学名を入力してください。

3. 回答者 所属部署・役職等

回答者の所属部署及び役職等を入力してください。

4. 回答者 氏名

回答者の氏名を入力してください。

5. 回答者 連絡先電話番号

問い合わせ先電話番号を入力してください。

6. 令和2年度春学期の学部学生・大学院生向けの講義（授業）等について

- (1) 令和2年度春学期講義（授業）開始日を入力してください。
- (2) 令和2年度春学期講義（授業）実施方法について、「①ほぼ対面で実施」「②ほぼオンラインで実施」「③対面とオンライン併用で実施」「④その他」の中から、ブルダウンメニューより選択してください。
- (3) 上記6. (2) で「④その他」と回答の場合、その内容を簡単に記述してください。

7. 遠隔授業支援等

- (1) 遠隔講義を受ける環境を整えるための学生に対する支援として、貴大学では、パソコン、Wi-Fi ルーター等の支給・貸与、援助金の支給等があったかどうかについて、「①はい」「②いいえ」「③その他」の中から、ブルダウンメニューより選択してください。
- (2) 上記7. (1) で「①はい」と回答の場合、その支援内容を記述してください。また、「③その他」と回答の場合もその説明をお願いします。

8. 令和2年度春学期の困窮学生等支援

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮を来した学部学生・大学院生を対象に、貴大学独自の学費減免、給付奨学金等の支給があったかどうかについて、「①はい」「②いいえ」の中から、ブルダウンメニューより選択してください。
- (2) 上記8. (1) で「①はい」と回答の場合、その概要を制度（施策）ごとにご記入ください。回答にあたり、行が足りない場合は事務局までご連絡ください。
 - (2) - 1 「名称」
当該制度名を入力してください。
 - (2) - 2 「制度内容・対象・学年」
当該制度の制度内容及び対象並びに学年等について入力してください。
 - (2) - 3 「新設・既存制度拡充別」
当該制度が新設か既存制度拡充かについて、「①新設」「②制度拡充」の中から、ブルダウンメニューより選択してください。

- (2)－4 「給付・減免別」
当該制度が給付か減免かについて、「①給付」「②減免」の中から、ブルダウメンメニューより選択してください。
- (2)－5 「1人あたり 金額(円)」
当該制度の1人あたりの金額について入力してください。
- (2)－6 「人数(人)」
当該制度の採用人数について入力してください。
- (2)－7 「給付・減免額 計(円)」
当該制度の給付・減免額の合計について入力してください。
- (2)－8 「給付・減免額 総額(円)」
給付・減免額の総額について入力してください。
- 【記入例】(※拡大版は、19頁をご参照ください。)

(2) 上記8. (1) で「①はい」と回答の場合、その概要を制度(施策)ごとに下表にご記入ください。

名称	制度内容・対象・学生	新設・既存 制度(区分)	給付・減免別	1人あたり 金額(円)	人数(人)	給付・減免額 計(円)
緊急給付金	オンライン授業受講困難学生の科目ご一律に給付 対象：在学学生(学部生・大学院生) 全員(院 休学及び留学者は対象外)	①新設	①給付	30,000	8,000	240,000.000
緊急支援奨学金	家計事情で修学が困難な学生に返済義務のない奨学金を支給 対象：学部3年生(留学者は対象外)	②制度拡充	①給付	500,000	10	5,000.000
新型コロナウイルス感染症に係る学費減免制	新型コロナウイルスの影響で修学が困難となった学生の学費を減免 対象：心臓学研究室の大学院生(休学者は対象外)	③新設	②減免	300,000	5	1,500.000
(注記) 行が足りない場合は事務局までご連絡ください。						246,500.000

9. 令和2年度秋学期以降の困難学生等支援

- (1) 上記8. (2) のほかに、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、今後(令和2年度秋学期以降)に向けて新たな支援制度等を創設されるかどうかについて、「①はい」「②いいえ」の中から、ブルダウメンメニューより選択してください。
- (2) 上記9. (1) で「①はい」と回答の場合、その概要を制度(施策)ごとに表にご記入ください。回答にあたり、行が足りない場合は事務局までご連絡ください。

- (2)－1 「名称」
当該制度名を入力してください。
- (2)－2 「制度内容・対象・学年」

当該制度の制度内容及び対象並びに学年等について入力してください。

- (2)－3 「給付・減免別」
当該制度が給付か減免かについて、「①給付」「②減免」の中から、ブルダウメンメニューより選択してください。
- (2)－4 「1人あたり 金額(円)」
当該制度の1人あたりの金額について入力してください。
- (2)－5 「人数(人)」
当該制度の採用予定人数について入力してください。
- (2)－6 「予算額 計(円)」
当該制度の予算額の合計について入力してください。
- (2)－7 「予算総額(円)」
予算総額について入力してください。

10. 留学生への成績基準の適用

国の学生支援緊急給付金は、外国人留学生については原則として「成績基準」による審査が求められましたが、貴大学ではどのように対応されたかについて、「①要件に定められた成績基準を適用した」「②成績基準に拠らず実情に沿って大学で総合的に判断した」「③その他」の中から、ブルダウメンメニューより選択してください。

11. 学費(授業料、施設設備費等)の減額、返金等の措置

- (1) ほぼすべての講義(授業)をオンライン(遠隔)で実施した等の理由により、貴大学では、授業料や施設設備費の一部を減額、あるいは返金するなどの措置をとられたかどうかについて、「①はい」「②いいえ」の中から、ブルダウメンメニューより選択してください。
- (2) 上記11. (1) で「①はい」と回答の場合、その内容(減額・返金額、趣旨等)をご記入ください。

記入例

(2) 上記8. (1) で「①はい」と回答の場合、その概要を制度（施策）ごとに下表にご記入ください。

名称	制度内容・対象・学年	新設・既存 制度拡充別	給付・減免別	1人あたり 金額(円)	人数 (人)	給付・減免額 計 (円)
緊急給付金	オンライン授業受講環境整備の名目で一律に給付 対象：在学生（学部生・大学院生）全員※ 休学及び留学は対象外	①新設	①給付	30,000	8,000	240,000,000
緊急支援奨学金	家計事情で修学が困難な者に返済義務のない奨学金を支給 対象：学部1-3年生※留年生は対象外	②制度拡充	①給付	500,000	10	5,000,000
新型コロナウイルス感染症に係る学費減免制度	新型コロナウイルスの影響で修学が困難となった者の学費を減免 対象：心理学研究科の大学院生※休学は対象外	①新設	②減免	300,000	5	1,500,000
給付・減免 総額 (円)						246,500,000

(注記) 行が足りない場合は事務局までご連絡ください。



大学名	
-----	--

※ ご回答内容について、お問い合わせさせていただくことがありますので、すべての項目につきまして必ず入力してください。

① 学内奨学金等制度(学部学生)一令和元年度実績一

- 52 -

② 校内奨学金等制度(大学院生)一令和元年度実績一

I 学内奨学金等制度に関する調査

大学名

ご確認ください

II 日本学生支援機構奨学金に関する調査

大学名

①令和元年度貸与型新規採用実績

制度	学 部	
	採用の種類	新規採用件数
第一種	定期(予約採用)	
	定期(在学採用)	
	定期外(緊急採用)	
	小計①	
	①のうち、所得運動返還方式	
第二種	定期(予約採用)	
	定期(在学採用)	
	定期外(応急採用)	
	小計②	
	総件数(①+②)	
(入学時特別増額)		

(注)
1. 第一種、第二種併用の場合は、それぞれの件数に含めてください。
2. 「(入学時特別増額)」は、「第一種」「第二種」採用件数のうち、増額採用となった件数を入力してください。
3. 「修士課程」には博士前期課程を含みます。

②令和元年度「第二種奨学金(短期留学)」新規採用実績

	学部 (新規採用件数)	大学院 (新規採用件数)
計		

※「第二種奨学金(海外)」ではありません。

③令和元年度「給付型奨学金」新規採用実績

	学部 (新規採用件数)
計	

大 学 院							合 計
制度	採用の種類	課程別新規採用件数					
		修士課程 (専門職大学院を除く)	専門職大学院 (法科大学院を除く)	法科大学院	博士後期課程	博士(医・歯・薬・獣医)課程	
第一種	定期						
	定期外(緊急採用)						
	小計①						
	定期						
	定期外(応急採用)						
第二種	定期						
	定期外(緊急採用)						
	小計②						
	総件数(①+②)						
	(入学時特別増額)						

④奨学生総件数(新規及び継続合計)(令和2年3月1日現在)

制度	学部 総件数	大学院(課程別総件数)				合 計
		修士課程 (専門職大学院を除く)	専門職大学院 (法科大学院を除く)	法科大学院	博士後期課程 博士(医・歯・薬・獣医)課程	
第 一 種						
第 二 種						
給付型						
計						

新型コロナウイルス禍における学生経済援助等に関するアンケート

一般社団法人日本私立大学連盟
学生会委員会 奨学金等分科会

このアンケートは、令和2年度の新型コロナウイルス禍における、貴大学のとられた対応・対策（主に学生への経済的援助）についてお聞きし、加盟大学で情報を共有し、今後の諸施策を検討される際の参考として役立てていただきたく、今年度の「奨学金等調査」にあわせて実施するものです。ご協力をよろしくお願い申し上げます。
なお、回答については集計を行い、報告書に掲載するとともに、当連盟ウェブサイトにおいて公表します。個別大学の回答については、同サイトの加盟大学専用ページ内にある「データライブラリー」にのみ掲載します。回答者名、メールアドレス、電話番号等の取扱いについては当連盟の「個人情報保護方針」に沿って適切に行います。

【お問い合わせ先】 一般社団法人日本私立大学連盟 教学支援課 電話：03-3262-3603 メール：kyogaku@shidairen.or.jp

1. メールアドレス

2. 大学名

3. 回答者 所属部署・役職等

4. 回答者 氏名

5. 回答者 連絡先電話番号

6. 令和2年春季学期の学部学生・大学院生向けの講義（授業）等について
(1) 令和12年度春季学期講義（授業）開始日 月 日
令和12年 月 日
(2) 令和12年度春季学期講義（授業）実施方法
(選択肢：①ほぼ対面で実施、②ほぼオンラインで実施、③対面とオンライン併用で実施、④その他)
▼プルダウンで選択肢を選んで回答してください▼

(3) 上記6. (2) で「④その他」と回答の場合、その内容を簡単に記述してください。

7. 遠隔授業支援等
(1) 遠隔講義を受ける環境を整えるための学生に対する支援として、貴大学では、パソコン、Wi-Fiルーター等の支給・貸与、奨学金の支給等がありましたか？（選択肢：①はい、②いいえ、③その他）
▼プルダウンで選択肢を選んで回答してください▼

(2) 上記7. (1) で「①はい」と回答の場合、その支援内容を記述してください、また、「③その他」と回答の場合もその説明をお願いします。
▼プルダウンで選択肢を選んで回答してください▼

8. 令和2年度春季学期の国際学生等支援
(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に国際を来した学部学生・大学院生を対象に、貴大学独自の学費減免、給付奨学金等の支給がありましたか？（選択肢：①はい、②いいえ）
▼プルダウンで選択肢を選んで回答してください▼

(2) 上記8. (1) で「①はい」と回答の場合、その概要を制度（施策）ごとに下表にご記入ください。

名称	制度内容・対象・学年	新設・廃止 制度変更別	人数（人）	収入 金額（円）	支出・減金額 計（円）
収入・減額 総額（円）					

(注記) 行が足りない場合は事務局までご連絡ください。

9. 令和2年度秋季学期以降の国際学生等支援

(1) 上記8. (2) のほかに、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、今後（令和2年度秋季学期以降）に向けて新たな支援制度等を創設されましたか？（選択肢：①はい、②いいえ）

▼プルダウンで選択肢を選んで回答してください▼

(2) 上記9. (1) で「①はい」と回答の場合、その概要を制度（施策）ごとに下表にご記入ください。

名称	制度内容・対象・学年	人数（人）	収入 金額（円）	支出・減金額 計（円）
収入総額（円）				

(注記) 行が足りない場合は事務局までご連絡ください。

10. 留学生への成績基準の適用

国の学生支援緊急給付金は、外国人留学生については原則として「成績基準」による審査が求められましたが、貴大学ではどのように対応されましたか？（選択肢：①要件に定められた成績基準を適用した、②成績基準に拘らず実情に沿って大学で総合的に判断した、③その他）

▼プルダウンで選択肢を選んで回答してください▼

11. 学費（授業料、施設設備費等）の減額、返金等の措置

(1) ほぼすべての講義（授業）をオンライン（遠隔）で実施した等の理由により、貴大学では、授業料や施設設備費の一部を減額、あるいは返金するなどの措置をとられましたか？（選択肢：①はい、②いいえ）

▼プルダウンで選択肢を選んで回答してください▼

(2) 上記11. (1) で「①はい」と回答の場合、その内容（減額・返金額、趣旨等）をご記入ください。

令和2年度学生委員会委員

担当理事	田 中 愛 治	早 稲 田 大 学	総長
委 員 長	千 田 憲 孝	慶 應 義 塾	学生総合センター長・理工学部教授
委 員	高 橋 豊 治	中 央 大 学	副学長（学生総合支援担当）・学生部長・商学部教授
	下 楠 昌 哉	同 志 社	学生支援センター所長・文学部教授
	梶 井 昌 邦	福 岡 大 学	学生部長・経済学部教授
	福 武 慎太郎	上 智 学 院	学生センター長・総合グローバル学部教授
	笹 倉 淳 史	関 西 大 学	キャリアセンター所長・商学部教授
	本 郷 亮	関 西 学 院	学生支援機構副機構長（学生部長）・経済学部教授
	浜 本 牧 子	明 治 大 学	学生部長・農学部教授
	北 條 英 勝	武 蔵 野 大 学	副学長・人間科学部教授
	豊 島 明 子	南 山 学 園	学生部長・法務研究科教授
	安 達 栄 司	立 教 学 院	学生部長・法学部教授
	佐々木 宏	立 教 学 院	キャリアセンター部長・経営学部教授
	河 原 典 史	立 命 館	学生部長・文学部教授
	池 谷 知 明	早 稲 田 大 学	学生部長・社会科学総合学術院教授

（令和3年 3月現在）

令和2年度学生委員会奨学金等分科会委員

分科会長	高 橋 豊 治	中 央 大 学	副学長（学生総合支援担当）・学生部長・商学部教授
委 員	柏 木 宏 江	中 央 大 学	学生部事務室厚生課長
	高 橋 尚 人	法 政 大 学	学生センター厚生課長
	加 来 信 人	慶 應 義 塾	学生部福利厚生支援担当課長
	石 田 潤 子	立 教 学 院	学生部学生課担当課長
	古 島 夏 樹	立 命 館	学生部衣笠学生オフィス
	矢古宇 克 昌	早 稲 田 大 学	学生部奨学課長

（令和3年 3月現在）

担当事務局 教学支援課

課 長 相 坂 太 郎

課 員 萩 原 恵 子

課 員 佐 藤 諒

課 員 尾 崎 美恵子

専門職 船 渡 裕 太（令和2年4月1日～ 中京大学より出向）

一般社団法人日本私立大学連盟加盟大学一覧

(大学名ABC順)

(125大学 令和3年4月現在)

愛知大学	城西国際大学	武蔵野大学	昭和女子大学
亜細亜大学	順天堂大学	武蔵野美術大学	園田学園女子大学
青山学院大学	金沢星稜大学	名古屋学院大学	創価大学
跡見学園女子大学	関西大学	南山大学	大正大学
梅花女子大学	関西学院大学	日本大学	拓殖大学
文教大学	関東学園大学	日本女子大学	天理大学
筑紫女学園大学	関東学院大学	ノートルダム清心女子大学	東邦大学
中央大学	慶應義塾大学	大阪学院大学	東北学院大学
中央大学	恵泉女学園大学	大阪医科薬科大学	東北公益文科大学
大東文化大学	敬和学園大学	大阪女学院大学	東海大学
獨協大学	神戸女学院大学	大谷大学	常磐大学
獨協医科大学	神戸海星女子学院大学	追手門学院大学	東京医療保健大学
同志社大学	皇學館大学	立教大学	東京情報大学
同志社女子大学	國學院大学	立正大学	東京女子大学
フェリス女学院大学	国際武道大学	立命館大学	東京女子医科大学
福岡大学	国際基督教大学	立命館アジア太平洋大学	東京経済大学
福岡女学院大学	駒澤大学	龍谷大学	東京国際大学
福岡女学院看護大学	甲南大学	流通科学大学	東京農業大学
学習院大学	久留米大学	流通経済大学	東京歯科大学
学習院女子大学	共立女子大学	西武文理大学	東洋大学
白鷗大学	京都産業大学	聖学院大学	東洋英和女学院大学
阪南大学	京都精華大学	成城大学	東洋学園大学
姫路獨協大学	京都橘大学	聖カタリナ大学	豊田工業大学
広島女学院大学	九州産業大学	成蹊大学	津田塾大学
広島修道大学	松山大学	西南学院大学	和光大学
法政大学	松山東雲女子大学	聖路加国際大学	早稲田大学
兵庫医科大学	明治大学	清泉女子大学	山梨英和大学
兵庫医療大学	明治学院大学	聖心女子大学	四日市大学
石巻専修大学	宮城学院女子大学	仙台白百合女子大学	四日市看護医療大学
実践女子大学	桃山学院大学	専修大学	
上智大学	桃山学院教育大学	芝浦工業大学	
城西大学	武蔵大学	白百合女子大学	

令和2年度奨学金等分科会報告書

令和3年5月発行

編集者	奨学金等分科会 分科会長 高橋 豊治
発行者	学生委員会 担当理事 田中 愛治 委員長 千田 憲孝
発行所	一般社団法人日本私立大学連盟 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館 電話 03-3262-3603 FAX 03-3262-3604 https://www.shidairen.or.jp/
印刷所	株式会社双葉レイアウト 〒106-0041 東京都港区麻布台2-2-12 三貴ビル 電話 03-3586-9422 FAX 03-3584-3798

© The Japan Association of Private Universities and Colleges, 2021

*無断転載を禁じます。



日本私立大学連盟